

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅠ	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と演習	
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	民間企業実務経験を持つ教員による講義を基にした演習	
授業計画	1	面接の基本
	2	入退室の仕方
	3	スーツの着こなし、身嗜み確認
	4	自己PR作成①
	5	自己PR作成②
	6	自己PR作成③
	7	会計事務所・企業研究①
	8	会計事務所・企業研究②
	9	会計事務所・企業研究③
	10	会計事務所・企業研究④
	11	会計事務所・企業研究⑤
	12	模擬面接練習①
	13	模擬面接練習②
	14	模擬面接練習③
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習	
授業の進め方	テキストによる講義により、基本的な手法を学ぶ	
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	民間企業で営業企画経験のある職員が、就職活動を行う際に必要な業界及び企業研究の進め方、履歴書の作成方法等、また新入社員として最低限必要な電話応対やビジネスマナー等を実例をあげながら講義する	
授業計画	1	就職活動の進め方①
	2	就職活動の進め方②
	3	自己分析①
	4	自己分析②
	5	会社選びの基礎知識
	6	企業研究①
	7	企業研究②
	8	応募書類の作成方法①
	9	応募書類の作成方法②
	10	企業へのアクセス①
	11	企業へのアクセス②
	12	企業へのアクセス③
	13	企業へのアクセス④
	14	企業へのアクセス⑤
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習基礎 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	簿記の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	簿記の概要 I ①（入門編）	31	退職給付会計 I ④（入門編）
	2	簿記の概要 I ②（入門編）	32	税金 I ①（入門編）
	3	簿記の概要 I ③（入門編）	33	税金 I ②（入門編）
	4	簿記の概要 I ④（入門編）	34	社債 I ①（入門編）
	5	現金預金 I ①（入門編）	35	社債 I ②（入門編）
	6	現金預金 I ②（入門編）	36	社債 I ③（入門編）
	7	現金預金 I ③（入門編）	37	純資産会計 I ①（入門編）
	8	債権債務 I ①（入門編）	38	純資産会計 I ②（入門編）
	9	債権債務 I ②（入門編）	39	純資産会計 I ③（入門編）
	10	商品売買 I ①（入門編）	40	純資産会計 I ④（入門編）
	11	商品売買 I ②（入門編）	41	有価証券 I ①（入門編）
	12	商品売買 I ③（入門編）	42	有価証券 I ②（入門編）
	13	給料等 I ①（入門編）	43	有価証券 I ③（入門編）
	14	給料等 I ②（入門編）	44	有価証券 I ④（入門編）
	15	固定資産 I ①（入門編）	45	確認テスト
	16	固定資産 I ②（入門編）		
	17	固定資産 I ③（入門編）		
	18	固定資産 I ④（入門編）		
	19	固定資産 I ⑤（入門編）		
	20	ソフトウェア I ①（入門編）		
	21	ソフトウェア I ②（入門編）		
	22	債権債務 I ①（入門編）		
	23	債権債務 I ②（入門編）		
	24	債権債務 I ③（入門編）		
	25	貸倒れ I ①（入門編）		
	26	貸倒れ I ②（入門編）		
	27	貸倒れ I ③（入門編）		
	28	退職給付会計 I ①（入門編）		
	29	退職給付会計 I ②（入門編）		
	30	退職給付会計 I ③（入門編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習応用 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	税効果会計 I ①（入門編）	31	外貨建会計 I ⑤（入門編）
	2	税効果会計 I ②（入門編）	32	外貨建会計 I ⑥（入門編）
	3	税効果会計 I ③（入門編）	33	リース会計 I ①（入門編）
	4	税効果会計 I ④（入門編）	34	リース会計 I ②（入門編）
	5	税効果会計 I ⑤（入門編）	35	リース会計 I ③（入門編）
	6	税効果会計 I ⑥（入門編）	36	リース会計 I ④（入門編）
	7	税効果会計 I ⑦（入門編）	37	リース会計 I ⑤（入門編）
	8	税効果会計 I ⑧（入門編）	38	リース会計 I ⑥（入門編）
	9	現在価値計算 I ①（入門編）	39	試用販売 I ①（入門編）
	10	現在価値計算 I ②（入門編）	40	試用販売 I ②（入門編）
	11	現在価値計算 I ③（入門編）	41	試用販売 I ③（入門編）
	12	保険金 I ①（入門編）	42	試用販売 I ④（入門編）
	13	保険金 I ②（入門編）	43	試用販売 I ⑤（入門編）
	14	保険金 I ③（入門編）	44	試用販売 I ⑥（入門編）
	15	新株予約権付社債 I ①（入門編）	45	割賦販売 I ①（入門編）
	16	新株予約権付社債 I ②（入門編）	46	割賦販売 I ②（入門編）
	17	新株予約権付社債 I ③（入門編）	47	割賦販売 I ③（入門編）
	18	新株予約権付社債 I ④（入門編）	48	割賦販売 I ④（入門編）
	19	新株予約権付社債 I ⑤（入門編）	49	割賦販売 I ⑤（入門編）
	20	新株予約権付社債 I ⑥（入門編）	50	割賦販売 I ⑥（入門編）
	21	減損会計 I ①（入門編）	51	未着品販売 I ①（入門編）
	22	減損会計 I ②（入門編）	52	未着品販売 I ②（入門編）
	23	減損会計 I ③（入門編）	53	未着品販売 I ③（入門編）
	24	減損会計 I ④（入門編）	54	未着品販売 I ④（入門編）
	25	資産除去債務 I ①（入門編）	55	委託販売・受託販売 I ①（入門編）
	26	資産除去債務 I ②（入門編）	56	委託販売・受託販売 I ②（入門編）
	27	外貨建会計 I ①（入門編）	57	委託販売・受託販売 I ③（入門編）
	28	外貨建会計 I ②（入門編）	58	委託販売・受託販売 I ④（入門編）
	29	外貨建会計 I ③（入門編）	59	委託販売・受託販売 I ⑤（入門編）
	30	外貨建会計 I ④（入門編）	60	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習総合 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	本支店会計 I ①（入門編）	31	商品売買 II ②（入門編）
	2	本支店会計 I ②（入門編）	32	固定資産 II ①（入門編）
	3	本支店会計 I ③（入門編）	33	固定資産 II ②（入門編）
	4	本支店会計 I ④（入門編）	34	退職給付会計 II ①（入門編）
	5	本支店会計 I ⑤（入門編）	35	退職給付会計 II ②（入門編）
	6	本支店会計 I ⑥（入門編）	36	試用販売 II ①（入門編）
	7	組織再編会計 I ①（入門編）	37	試用販売 II ②（入門編）
	8	組織再編会計 I ②（入門編）	38	割賦販売 II ①（入門編）
	9	組織再編会計 I ③（入門編）	39	割賦販売 II ②（入門編）
	10	組織再編会計 I ④（入門編）	40	本支店会計 II ①（入門編）
	11	建設業会計 I ①（入門編）	41	本支店会計 II ②（入門編）
	12	建設業会計 I ②（入門編）	42	組織再編会計 II ①（入門編）
	13	連結会計 I ①（入門編）	43	組織再編会計 II ②（入門編）
	14	連結会計 I ②（入門編）	44	連結会計 II ①（入門編）
	15	連結会計 I ③（入門編）	45	確認テスト
	16	連結会計 I ④（入門編）		
	17	製造業会計 I ①（入門編）		
	18	製造業会計 I ②（入門編）		
	19	製造業会計 I ③（入門編）		
	20	製造業会計 I ④（入門編）		
	21	キャッシュ・フロー計算書 I ①（入門編）		
	22	キャッシュ・フロー計算書 I ②（入門編）		
	23	キャッシュ・フロー計算書 I ③（入門編）		
	24	キャッシュ・フロー計算書 I ④（入門編）		
	25	繰延資産 I ①（入門編）		
	26	繰延資産 I ②（入門編）		
	27	圧縮記帳 I ①（入門編）		
	28	圧縮記帳 I ②（入門編）		
	29	ストック・オプション I（入門編）		
	30	商品売買 II ①（入門編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習総合Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	項目別答練①（入門編）	31	過去問演習⑥（入門編）
	2	項目別答練②（入門編）	32	過去問演習⑦（入門編）
	3	項目別答練③（入門編）	33	過去問演習⑧（入門編）
	4	項目別答練④（入門編）	34	過去問演習⑨（入門編）
	5	項目別答練⑤（入門編）	35	過去問演習⑩（入門編）
	6	基礎答練①（入門編）	36	問題演習実践①（入門編）
	7	基礎答練②（入門編）	37	問題演習実践②（入門編）
	8	基礎答練③（入門編）	38	問題演習実践③（入門編）
	9	基礎答練④（入門編）	39	問題演習実践④（入門編）
	10	基礎答練⑤（入門編）	40	問題演習実践⑤（入門編）
	11	基礎答練⑥（入門編）	41	問題演習実践⑥（入門編）
	12	基礎答練⑦（入門編）	42	問題演習実践⑦（入門編）
	13	基礎答練⑧（入門編）	43	問題演習実践⑧（入門編）
	14	基礎答練⑨（入門編）	44	問題演習実践⑨（入門編）
	15	基礎答練⑩（入門編）	45	模擬試験
	16	応用答練①（入門編）		
	17	応用答練②（入門編）		
	18	応用答練③（入門編）		
	19	応用答練④（入門編）		
	20	応用答練⑤（入門編）		
	21	応用答練⑥（入門編）		
	22	応用答練⑦（入門編）		
	23	応用答練⑧（入門編）		
	24	応用答練⑨（入門編）		
	25	応用答練⑩（入門編）		
	26	過去問演習①（入門編）		
	27	過去問演習②（入門編）		
	28	過去問演習③（入門編）		
	29	過去問演習④（入門編）		
	30	過去問演習⑤（入門編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論入門 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の概要 I ①（入門編）
	2	簿記の概要 I ②（入門編）
	3	簿記の概要 I ③（入門編）
	4	簿記の概要 I ④（入門編）
	5	現金預金 I ①（入門編）
	6	現金預金 I ②（入門編）
	7	現金預金 I ③（入門編）
	8	債権債務 I ①（入門編）
	9	債権債務 I ②（入門編）
	10	商品売買 I ①（入門編）
	11	商品売買 I ②（入門編）
	12	商品売買 I ③（入門編）
	13	給料等 I ①（入門編）
	14	給料等 I ②（入門編）
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	簿記論入門Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）		
履修年次	1年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
単位数	3単位		
授業回数	45回		
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	オリジナルテキスト	31 社債Ⅰ①（入門編）
	2	固定資産Ⅰ②（入門編）	32 社債Ⅰ②（入門編）
	3	固定資産Ⅰ③（入門編）	33 社債Ⅰ③（入門編）
	4	固定資産Ⅰ④（入門編）	34 社債Ⅰ④（入門編）
	5	固定資産Ⅰ⑤（入門編）	35 社債Ⅰ⑤（入門編）
	6	固定資産Ⅰ⑥（入門編）	36 社債Ⅰ⑥（入門編）
	7	固定資産Ⅰ⑦（入門編）	37 純資産会計Ⅰ①（入門編）
	8	固定資産Ⅰ⑧（入門編）	38 純資産会計Ⅰ②（入門編）
	9	固定資産Ⅰ⑨（入門編）	39 純資産会計Ⅰ③（入門編）
	10	固定資産Ⅰ⑩（入門編）	40 純資産会計Ⅰ④（入門編）
	11	ソフトウェアⅠ①（入門編）	41 有価証券Ⅰ①（入門編）
	12	ソフトウェアⅠ②（入門編）	42 有価証券Ⅰ②（入門編）
	13	債権債務Ⅰ①（入門編）	43 有価証券Ⅰ③（入門編）
	14	債権債務Ⅰ②（入門編）	44 有価証券Ⅰ④（入門編）
	15	債権債務Ⅰ③（入門編）	45 確認テスト
	16	貸倒れⅠ①（入門編）	
	17	貸倒れⅠ②（入門編）	
	18	貸倒れⅠ③（入門編）	
	19	退職給付会計Ⅰ①（入門編）	
	20	退職給付会計Ⅰ②（入門編）	
	21	退職給付会計Ⅰ③（入門編）	
	22	退職給付会計Ⅰ④（入門編）	
	23	退職給付会計Ⅰ⑤（入門編）	
	24	退職給付会計Ⅰ⑥（入門編）	
	25	退職給付会計Ⅰ⑦（入門編）	
	26	退職給付会計Ⅰ⑧（入門編）	
	27	税金Ⅰ①（入門編）	
	28	税金Ⅰ②（入門編）	
	29	税金Ⅰ③（入門編）	
	30	税金Ⅰ④（入門編）	
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論基礎 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	税効果会計 I ①（入門編）	31	外貨建会計 I ⑤（入門編）
	2	税効果会計 I ②（入門編）	32	外貨建会計 I ⑥（入門編）
	3	税効果会計 I ③（入門編）	33	リース会計 I ①（入門編）
	4	税効果会計 I ④（入門編）	34	リース会計 I ②（入門編）
	5	税効果会計 I ⑤（入門編）	35	リース会計 I ③（入門編）
	6	税効果会計 I ⑥（入門編）	36	リース会計 I ④（入門編）
	7	税効果会計 I ⑦（入門編）	37	リース会計 I ⑤（入門編）
	8	税効果会計 I ⑧（入門編）	38	リース会計 I ⑥（入門編）
	9	現在価値計算 I ①（入門編）	39	試用販売 I ①（入門編）
	10	現在価値計算 I ②（入門編）	40	試用販売 I ②（入門編）
	11	現在価値計算 I ③（入門編）	41	試用販売 I ③（入門編）
	12	保険金 I ①（入門編）	42	試用販売 I ④（入門編）
	13	保険金 I ②（入門編）	43	試用販売 I ⑤（入門編）
	14	保険金 I ③（入門編）	44	試用販売 I ⑥（入門編）
	15	新株予約権付社債 I ①（入門編）	45	割賦販売 I ①（入門編）
	16	新株予約権付社債 I ②（入門編）	46	割賦販売 I ②（入門編）
	17	新株予約権付社債 I ③（入門編）	47	割賦販売 I ③（入門編）
	18	新株予約権付社債 I ④（入門編）	48	割賦販売 I ④（入門編）
	19	新株予約権付社債 I ⑤（入門編）	49	割賦販売 I ⑤（入門編）
	20	新株予約権付社債 I ⑥（入門編）	50	割賦販売 I ⑥（入門編）
	21	減損会計 I ①（入門編）	51	未着品販売 I ①（入門編）
	22	減損会計 I ②（入門編）	52	未着品販売 I ②（入門編）
	23	減損会計 I ③（入門編）	53	未着品販売 I ③（入門編）
	24	減損会計 I ④（入門編）	54	未着品販売 I ④（入門編）
	25	資産除去債務 I ①（入門編）	55	委託販売・受託販売 I ①（入門編）
	26	資産除去債務 I ②（入門編）	56	委託販売・受託販売 I ②（入門編）
	27	外貨建会計 I ①（入門編）	57	委託販売・受託販売 I ③（入門編）
	28	外貨建会計 I ②（入門編）	58	委託販売・受託販売 I ④（入門編）
	29	外貨建会計 I ③（入門編）	59	委託販売・受託販売 I ⑤（入門編）
	30	外貨建会計 I ④（入門編）	60	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）	31	貸倒れⅠ①（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）	32	貸倒れⅠ②（入門編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）	33	貸倒れⅠ③（入門編）
	4	簿記の概要Ⅰ④（入門編）	34	退職給付会計Ⅰ①（入門編）
	5	現金預金Ⅰ①（入門編）	35	退職給付会計Ⅰ②（入門編）
	6	現金預金Ⅰ②（入門編）	36	退職給付会計Ⅰ③（入門編）
	7	現金預金Ⅰ③（入門編）	37	退職給付会計Ⅰ④（入門編）
	8	債権債務Ⅰ①（入門編）	38	退職給付会計Ⅰ⑤（入門編）
	9	債権債務Ⅰ②（入門編）	39	退職給付会計Ⅰ⑥（入門編）
	10	商品売買Ⅰ①（入門編）	40	退職給付会計Ⅰ⑦（入門編）
	11	商品売買Ⅰ②（入門編）	41	退職給付会計Ⅰ⑧（入門編）
	12	商品売買Ⅰ③（入門編）	42	税金Ⅰ①（入門編）
	13	給料等Ⅰ①（入門編）	43	税金Ⅰ②（入門編）
	14	給料等Ⅰ②（入門編）	44	税金Ⅰ③（入門編）
	15	給料等Ⅰ③（入門編）	45	税金Ⅰ④（入門編）
	16	固定資産Ⅰ①（入門編）	46	社債Ⅰ①（入門編）
	17	固定資産Ⅰ②（入門編）	47	社債Ⅰ②（入門編）
	18	固定資産Ⅰ③（入門編）	48	社債Ⅰ③（入門編）
	19	固定資産Ⅰ④（入門編）	49	社債Ⅰ④（入門編）
	20	固定資産Ⅰ⑤（入門編）	50	社債Ⅰ⑤（入門編）
	21	固定資産Ⅰ⑥（入門編）	51	社債Ⅰ⑥（入門編）
	22	固定資産Ⅰ⑦（入門編）	52	純資産会計Ⅰ①（入門編）
	23	固定資産Ⅰ⑧（入門編）	53	純資産会計Ⅰ②（入門編）
	24	固定資産Ⅰ⑨（入門編）	54	純資産会計Ⅰ③（入門編）
	25	固定資産Ⅰ⑩（入門編）	55	純資産会計Ⅰ④（入門編）
	26	ソフトウェアⅠ①（入門編）	56	有価証券Ⅰ①（入門編）
	27	ソフトウェアⅠ②（入門編）	57	有価証券Ⅰ②（入門編）
	28	債権債務Ⅰ①（入門編）	58	有価証券Ⅰ③（入門編）
	29	債権債務Ⅰ②（入門編）	59	有価証券Ⅰ④（入門編）
	30	債権債務Ⅰ③（入門編）	60	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論入門 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会計学の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門）
	2	個別注記表（入門）
	3	現金及び預金（入門）
	4	債権債務（入門）
	5	関係会社概念（入門）
	6	売上原価の算定（入門）
	7	貸倒れ（入門）
	8	給料等（入門）
	9	その他の引当金（入門）
	10	退職給付会計（入門）
	11	有形固定資産（入門）
	12	無形固定資産（入門）
	13	株主資本（入門）
	14	財務諸表論の基礎概念（入門）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	会計基準の入門概要を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	売買目的有価証券（入門）	31	ゴルフ会員権（入門）
	2	満期保有目的の債券（入門）	32	売価還元法（入門）
	3	子会社株式・関連会社株式（入門）	33	製造業会計（入門）
	4	その他有価証券（入門）	34	研究開発費（入門）
	5	ソフトウェア（入門）	35	新株予約権（入門）
	6	法人税等・追徴還付（入門）	36	キャッシュ・フロー計算書（入門）
	7	現在価値計算（入門）	37	損益計算書総論（入門）
	8	社債（入門）	38	貸借対照表総論（入門）
	9	利益剰余金（入門）	39	資産総論（入門）
	10	自己株式（入門）	40	棚卸資産に関する会計基準（入門）
	11	配当（入門）	41	連続意見書（入門）
	12	外形基準、租税公課（入門）	42	引当金（入門）
	13	源泉所得税、社会保険料（入門）	43	会計観（入門）
	14	税効果会計（入門）	44	金融商品（入門）
	15	税効果注記（入門）	45	確認テスト(理論)
	16	源泉所得税、社会保険料（入門）		
	17	株主資本等変動計算書（入門）		
	18	減損会計（入門）		
	19	配当を受けた株主の処理（入門）		
	20	圧縮記帳（入門）		
	21	外貨建取引（入門）		
	22	退職給付会計簡便法（入門）		
	23	繰延資産（入門）		
	24	為替予約（入門）		
	25	仕入・売上げの計上基準（入門）		
	26	消費税等（入門）		
	27	他勘定振替（入門）		
	28	外貨建有価証券（入門）		
	29	リース会計（入門）		
	30	証券投資信託（入門）		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	金融商品取引法の概要入門を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門）	31	純資産会計①（入門）
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門）	32	純資産会計②（入門）
	3	会計上の変更及び誤謬の訂正③（入門）	33	純資産会計③（入門）
	4	会計上の変更及び誤謬の訂正④（入門）	34	純資産会計④（入門）
	5	会計上の変更及び誤謬の訂正⑤（入門）	35	純資産会計⑤（入門）
	6	分配可能額①（入門）	36	企業結合会計①（入門）
	7	分配可能額②（入門）	37	企業結合会計②（入門）
	8	分配可能額③（入門）	38	企業結合会計③（入門）
	9	分配可能額④（入門）	39	企業結合会計④（入門）
	10	分配可能額⑤（入門）	40	企業結合会計⑤（入門）
	11	ストック・オプション①（入門）	41	事業分離会計①（入門）
	12	ストック・オプション②（入門）	42	事業分離会計②（入門）
	13	ストック・オプション③（入門）	43	事業分離会計③（入門）
	14	ストック・オプション④（入門）	44	事業分離会計④（入門）
	15	ストック・オプション⑤（入門）	45	事業分離会計⑤（入門）
	16	セール&リースバック①（入門）	46	四半期財務諸表①（入門）
	17	セール&リースバック②（入門）	47	四半期財務諸表②（入門）
	18	セール&リースバック③（入門）	48	四半期財務諸表③（入門）
	19	セール&リースバック④（入門）	49	四半期財務諸表④（入門）
	20	セール&リースバック⑤（入門）	50	四半期財務諸表⑤（入門）
	21	財務諸表等規則①（入門）	51	ヘッジ会計①（入門）
	22	財務諸表等規則②（入門）	52	ヘッジ会計②（入門）
	23	財務諸表等規則③（入門）	53	ヘッジ会計③（入門）
	24	財務諸表等規則④（入門）	54	ヘッジ会計④（入門）
	25	財務諸表等規則⑤（入門）	55	ヘッジ会計⑤（入門）
	26	負債①（入門）	56	包括利益①（入門）
	27	負債②（入門）	57	包括利益②（入門）
	28	負債③（入門）	58	包括利益③（入門）
	29	負債④（入門）	59	包括利益④（入門）
	30	負債⑤（入門）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	会計学の入門・基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門・基礎）	31	株主資本等変動計算書（入門・基礎）
	2	個別注記表（入門・基礎）	32	減損会計（入門・基礎）
	3	現金及び預金（入門・基礎）	33	配当を受けた株主の処理（入門・基礎）
	4	債権債務（入門・基礎）	34	圧縮記帳（入門・基礎）
	5	関係会社概念（入門・基礎）	35	外貨建取引（入門・基礎）
	6	売上原価の算定（入門・基礎）	36	退職給付会計簡便法（入門・基礎）
	7	貸倒れ（入門・基礎）	37	繰延資産（入門・基礎）
	8	給料等（入門・基礎）	38	為替予約（入門・基礎）
	9	その他の引当金（入門・基礎）	39	仕入・売上げの計上基準（入門・基礎）
	10	退職給付会計（入門・基礎）	40	消費税等（入門・基礎）
	11	有形固定資産（入門・基礎）	41	他勘定振替（入門・基礎）
	12	無形固定資産（入門・基礎）	42	外貨建有価証券（入門・基礎）
	13	株主資本（入門・基礎）	43	リース会計（入門・基礎）
	14	財務諸表論の基礎概念（入門・基礎）	44	証券投資信託（入門・基礎）
	15	売買目的有価証券（入門・基礎）	45	ゴルフ会員権（入門・基礎）
	16	満期保有目的の債券（入門・基礎）	46	売価還元法（入門・基礎）
	17	子会社株式・関連会社株式（入門・基礎）	47	製造業会計（入門・基礎）
	18	その他有価証券（入門・基礎）	48	研究開発費（入門・基礎）
	19	ソフトウェア（入門・基礎）	49	新株予約権（入門・基礎）
	20	法人税等・追徴還付（入門・基礎）	50	キャッシュ・フロー計算書（入門・基礎）
	21	現在価値計算（入門・基礎）	51	損益計算書総論（入門・基礎）
	22	社債（入門・基礎）	52	貸借対照表総論（入門・基礎）
	23	利益剰余金（入門・基礎）	53	資産総論（入門・基礎）
	24	自己株式（入門・基礎）	54	棚卸資産に関する会計基準（入門・基礎）
	25	配当（入門・基礎）	55	連続意見書（入門・基礎）
	26	外形基準、租税公課（入門・基礎）	56	引当金（入門・基礎）
	27	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	57	会計観（入門・基礎）
	28	税効果会計（入門・基礎）	58	金融商品（入門・基礎）
	29	税効果注記（入門・基礎）	59	収益性の低下（入門・基礎）
	30	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法入門 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の考え方を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標		
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	課税の対象①（入門編）
	3	課税の対象②（入門編）
	4	課税の対象③（入門編）
	5	課税の対象④（入門編）
	6	非課税①（入門編）
	7	非課税②（入門編）
	8	非課税③（入門編）
	9	非課税④（入門編）
	10	輸出免税等①（入門編）
	11	輸出免税等②（入門編）
	12	輸出免税等③（入門編）
	13	輸出免税等④（入門編）
	14	資産の譲渡等の時期（入門編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習入門 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の考え方を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	課税の対象①（入門編）
	3	課税の対象②（入門編）
	4	非課税①（入門編）
	5	非課税②（入門編）
	6	輸出免税等①（入門編）
	7	輸出免税等②（入門編）
	8	資産の譲渡等の時期（入門編）
	9	控除対象仕入税額①（入門編）
	10	控除対象仕入税額②（入門編）
	11	売上げに係る対価の返還等（入門編）
	12	貸倒れが生じた場合（入門編）
	13	課税仕入れの範囲①（入門編）
	14	課税仕入れの範囲②（入門編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	控除税額を中心とした考え方を学習する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	控除対象仕入税額①（入門編）	31	課税期間における課税売上高①（入門編）
	2	控除対象仕入税額②（入門編）	32	課税期間における課税売上高②（入門編）
	3	控除対象仕入税額③（入門編）	33	課税期間における課税売上高③（入門編）
	4	控除対象仕入税額④（入門編）	34	課税売上割合に準ずる割合①（入門編）
	5	控除対象仕入税額⑤（入門編）	35	課税売上割合に準ずる割合②（入門編）
	6	控除対象仕入税額⑥（入門編）	36	課税売上割合に準ずる割合③（入門編）
	7	売上げに係る対価の返還等①（入門編）	37	仕入れに係る対価の返還等①（入門編）
	8	売上げに係る対価の返還等②（入門編）	38	仕入れに係る対価の返還等②（入門編）
	9	売上げに係る対価の返還等③（入門編）	39	仕入れに係る対価の返還等③（入門編）
	10	貸倒れが生じた場合①（入門編）	40	納税義務の免除①（入門編）
	11	貸倒れが生じた場合②（入門編）	41	納税義務の免除②（入門編）
	12	貸倒れが生じた場合③（入門編）	42	納税義務の免除③（入門編）
	13	課税仕入れの範囲①（入門編）	43	納税義務の免除④（入門編）
	14	課税仕入れの範囲②（入門編）	44	納税義務の免除⑤（入門編）
	15	課税仕入れの範囲③（入門編）	45	確認テスト(理論)
	16	課税仕入れの範囲④（入門編）		
	17	課税仕入れの範囲⑤（入門編）		
	18	課税仕入れの範囲⑥（入門編）		
	19	課税仕入れ等の時期①（入門編）		
	20	課税仕入れ等の時期②（入門編）		
	21	課税仕入れ等の時期③（入門編）		
	22	課税仕入れ等の時期④（入門編）		
	23	課税仕入れ等の時期⑤（入門編）		
	24	課税売上割合①（入門編）		
	25	課税売上割合②（入門編）		
	26	課税売上割合③（入門編）		
	27	課税売上割合④（入門編）		
	28	課税売上割合⑤（入門編）		
	29	課税売上割合⑥（入門編）		
	30	課税売上割合⑦（入門編）		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした考え方を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	課税仕入れ等の時期①（入門編）
	2	課税仕入れ等の時期②（入門編）
	3	課税売上割合①（入門編）
	4	課税売上割合②（入門編）
	5	課税期間における課税売上高①（入門編）
	6	課税期間における課税売上高②（入門編）
	7	課税売上割合に準ずる割合①（入門編）
	8	課税売上割合に準ずる割合②（入門編）
	9	仕入れに係る対価の返還等（入門編）
	10	納税義務の免除（入門編）
	11	国境を越えた役務の提供①（入門編）
	12	国境を越えた役務の提供②（入門編）
	13	国境を越えた役務の提供③（入門編）
	14	中間申告に係る納付税額の計算（入門編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法基礎 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	納税義務判定の特例や、仕入税額控除の特例などの考え方を学習する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	国境を越えた役務の提供①（入門編）	31	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）
	2	国境を越えた役務の提供②（入門編）	32	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）
	3	国境を越えた役務の提供③（入門編）	33	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算③（入門編）
	4	国境を越えた役務の提供④（入門編）	34	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算④（入門編）
	5	国境を越えた役務の提供⑤（入門編）	35	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）
	6	中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）	36	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）
	7	中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）	37	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編）
	8	課税仕入れ等の分類①（入門編）	38	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整④（入門編）
	9	課税仕入れ等の分類②（入門編）	39	課税標準①（入門編）
	10	課税仕入れ等の分類③（入門編）	40	課税標準②（入門編）
	11	課税仕入れ等の分類④（入門編）	41	課税標準③（入門編）
	12	課税仕入れ等の分類⑤（入門編）	42	課税標準④（入門編）
	13	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①（入門編）	43	課税標準⑤（入門編）
	14	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②（入門編）	44	課税標準⑥（入門編）
	15	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③（入門編）	45	簡易課税制度①（入門編）
	16	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）	46	簡易課税制度②（入門編）
	17	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）	47	簡易課税制度③（入門編）
	18	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編）	48	簡易課税制度④（入門編）
	19	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④（入門編）	49	簡易課税制度⑤（入門編）
	20	納税義務の免除の特例①（入門編）	50	簡易課税制度⑥（入門編）
	21	納税義務の免除の特例②（入門編）	51	簡易課税制度⑦（入門編）
	22	納税義務の免除の特例③（入門編）	52	簡易課税制度⑧（入門編）
	23	納税義務の免除の特例④（入門編）	53	簡易課税制度⑨（入門編）
	24	納税義務の免除の特例⑤（入門編）	54	簡易課税制度⑩（入門編）
	25	納税義務の免除の特例⑥（入門編）	55	簡易課税制度⑪（入門編）
	26	納税義務の免除の特例⑦（入門編）	56	簡易課税制度⑫（入門編）
	27	納税義務の免除の特例⑧（入門編）	57	簡易課税制度⑬（入門編）
	28	納税義務の免除の特例⑨（入門編）	58	簡易課税制度⑭（入門編）
	29	納税義務の免除の特例⑩（入門編）	59	簡易課税制度⑮（入門編）
	30	納税義務の免除の特例⑪（入門編）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習応用 I
実務家教員	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例の考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 課税仕入れ等の分類①（入門編）
	2 課税仕入れ等の分類②（入門編）
	3 課税仕入れ等の分類③（入門編）
	4 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例（入門編）
	5 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）
	6 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）
	7 納税義務の免除の特例①（入門編）
	8 納税義務の免除の特例②（入門編）
	9 納税義務の免除の特例③（入門編）
	10 納税義務の免除の特例④（入門編）
	11 納税義務の免除の特例⑤（入門編）
	12 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）
	13 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）
	14 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目②（入門編）
	15 課税標準①（入門編）
	16 課税標準②（入門編）
	17 簡易課税制度①（入門編）
	18 簡易課税制度②（入門編）
	19 簡易課税制度③（入門編）
	20 簡易課税制度④（入門編）
	21 軽減税率①（入門編）
	22 軽減税率②（入門編）
	23 旧税率に関する経過措置①（入門編）
	24 旧税率に関する経過措置②（入門編）
	25 複数税率の場合の計算①（入門編）
	26 複数税率の場合の計算②（入門編）
	27 国等に対する特例①（入門編）
	28 国等に対する特例②（入門編）
	29 特殊項目③（税抜経理方式）（入門編）
	30 確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続税法入門 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	相続税および贈与税の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（入門）	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	相続税法の概要（入門）
	3	相続税法と民法（入門）
	4	相続人、代襲相続（入門）
	5	養子の子の取扱い（入門）
	6	相続の承認と放棄（入門）
	7	相続分（法定相続分、代襲相続分）（入門）
	8	遺言による財産の取得（入門）
	9	相続税の納税義務者（入門）
	10	生命保険金等（入門）
	11	相続税の非課税財産（入門）
	12	相続税額の計算方法（入門）
	13	生命保険金等の非課税金額（入門）
	14	退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（入門）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	相続税法入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	相続税、贈与税の入門的な問題の理解			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	贈与税の概要（入門）	31	貸宅地（入門）
	2	贈与税の納税義務者（入門）	32	貸家建付地（入門）
	3	弔慰金等（入門）	33	貸家建付借地権（入門）
	4	債務控除（入門）	34	貸家（入門）
	5	相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（入門）	35	一般動産（入門）
	6	相続時精算課税適用財産（入門）	36	たな卸商品等（入門）
	7	生前贈与加算相続税の総額（入門）	37	書画骨とう品（入門）
	8	算出相続税額の計算（入門）	38	預貯金（入門）
	9	相続税額の加算（入門）	39	上場株式（入門）
	10	贈与税額控除（暦年）（入門）	40	構築物（入門）
	11	配偶者の税額軽減（入門）	41	貸付金債権等（入門）
	12	未成年者控除（入門）	42	受取手形等（入門）
	13	障害者控除（入門）	43	間口が狭小な宅地等（入門）
	14	確認テスト①(理論)	44	角切り宅地の間口距離（入門）
	15	特定納税義務者（入門）	45	確認テスト②(理論)
	16	特定納税義務者の債務控除（入門）		
	17	特定納税義務者の障害者控除（入門）		
	18	贈与税額控除（精算）（入門）		
	19	自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（入門）		
	20	自家用屋（入門）		
	21	家屋と構造上一体となっている設備（入門）		
	22	特別養子制度（入門）		
	23	生命保険契約に関する権利（入門）		
	24	被保険者でない保険契約者が死亡した場合（入門）		
	25	法定相続人の数（入門）		
	26	本来の財産（入門）		
	27	自用地（路線に2以上の路線価が付されている宅地）（入門）		
	28	地区区分の異なる宅地（入門）		
	29	側方路線等に宅地の一部が接している場合（入門）		
	30	普通借地権（自用借地権）（入門）		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	相続税法基礎 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	相続税、贈与税の入門的な知識を網羅し文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	使用貸借により借り受けた宅地等(基礎)	31	地積規模の大きな宅地(基礎)
	2	使用貸借により貸し付けられた宅地等(基礎)	32	がけ地等を有する宅地(基礎)
	3	使用貸借により貸し付けられた家屋(基礎)	33	旗竿状の宅地等(基礎)
	4	小規模宅地等の減額①(基礎)	34	容積率の異なる宅地(基礎)
	5	小規模宅地等の減額②(基礎)	35	都市計画道路予定地の区域内にある宅地(基礎)
	6	小規模宅地等の減額③(基礎)	36	確認テスト②(理論)
	7	小規模宅地等の減額④(基礎)	37	私道の用に供されている宅地(基礎)
	8	小規模宅地等の減額⑤(基礎)	38	セットバックを必要とする宅地(基礎)
	9	小規模宅地等の減額⑥(基礎)	39	上場株式(権利落)(基礎)
	10	確認テスト①(理論)	40	株式の割り当てを受ける権利(基礎)
	11	取引相場のない株式①(基礎)	41	宅地等の評価単位(基礎)
	12	取引相場のない株式②(基礎)	42	純農地、中間農地、純山林、中間山林(基礎)
	13	取引相場のない株式③(基礎)	43	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林(基礎)
	14	取引相場のない株式④(基礎)	44	立木、立木の評価減(基礎)
	15	取引相場のない株式⑤(基礎)	45	配当期待権(基礎)
	16	取引相場のない株式⑥(基礎)	46	贈与税が課税される場合(基礎)
	17	取引相場のない株式⑦(基礎)	47	相続税が課税される場合(基礎)
	18	取引相場のない株式⑧(基礎)	48	負担付遺贈・贈与(基礎)
	19	取引相場のない株式⑨(基礎)	49	贈与税の非課税財産(基礎)
	20	取引相場のない株式⑩(基礎)	50	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税(基礎)
	21	取引相場のない株式⑪(基礎)	51	契約者貸付金等がある場合の保険金(基礎)
	22	取引相場のない株式⑫(基礎)	52	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例(基礎)
	23	取引相場のない株式⑬(基礎)	53	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税(基礎)
	24	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等(基礎)	54	証券投資信託受益証券(基礎)
	25	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地(基礎)	55	ゴルフ会員権(基礎)
	26	相当の地代を支払っている場合の借地権(基礎)	56	不動産投資信託証券(基礎)
	27	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地(基礎)	57	措法70の非課税(基礎)
	28	利用区分が異なる建物(基礎)	58	権利義務の承継(基礎)
	29	建築中の家屋(基礎)	59	贈与税の配偶者控除(基礎)
	30	不整形地(基礎)	60	確認テスト③(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法入門 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	法人税法の計算体系の理解を目的とする。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	基本的な部分の学習を行い、初級問題の解法を習得する。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス（初級）
	2	納税義務者（初級）
	3	課税所得の範囲（初級）
	4	交際費等の損金不算入 I（初級）
	5	減価償却 I（初級）
	6	減価償却 II（初級）
	7	減価償却 III（初級）
	8	受取配当等の益金不算入 I（初級）
	9	寄附金の損金不算入 I（初級）
	10	租税公課等（初級）
	11	納税充当金 I（初級）
	12	納税充当金 II（初級）
	13	別表四の作成（初級）
	14	事業年度（初級）
	15	確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	貸倒引当金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ。			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。			
教科書	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。			
特記				
授業計画	1	貸倒損失Ⅰ（基礎）	31	国庫補助金等Ⅲ（基礎）
	2	貸倒損失Ⅱ（基礎）	32	国庫補助金等Ⅳ（基礎）
	3	貸倒損失Ⅲ（基礎）	33	別表五(一)の作成Ⅰ（基礎）
	4	貸倒損失Ⅳ（基礎）	34	別表五(一)の作成Ⅱ（基礎）
	5	貸倒引当金Ⅰ（基礎）	35	別表五(一)の作成Ⅲ（基礎）
	6	貸倒引当金Ⅱ（基礎）	36	別表五(一)の作成Ⅳ（基礎）
	7	貸倒引当金Ⅲ（基礎）	37	圧縮記帳Ⅰ（基礎）
	8	貸倒引当金Ⅳ（基礎）	38	圧縮記帳Ⅱ（基礎）
	9	欠損金Ⅰ（基礎）	39	圧縮記帳Ⅲ（基礎）
	10	欠損金Ⅱ（基礎）	40	圧縮記帳Ⅳ（基礎）
	11	欠損金Ⅲ（基礎）	41	圧縮記帳Ⅴ（基礎）
	12	欠損金Ⅳ（基礎）	42	圧縮記帳Ⅵ（基礎）
	13	外貨建取引Ⅰ（基礎）	43	圧縮記帳Ⅶ（基礎）
	14	外貨建取引Ⅱ（基礎）	44	圧縮記帳Ⅷ（基礎）
	15	外貨建取引Ⅲ（基礎）	45	確認テスト（理論）
	16	外貨建取引Ⅳ（基礎）		
	17	有価証券Ⅰ（基礎）		
	18	有価証券Ⅱ（基礎）		
	19	有価証券Ⅲ（基礎）		
	20	有価証券Ⅳ（基礎）		
	21	収用等Ⅰ（基礎）		
	22	収用等Ⅱ（基礎）		
	23	収用等Ⅲ（基礎）		
	24	収用等Ⅳ（基礎）		
	25	所得税額控除Ⅰ（基礎）		
	26	所得税額控除Ⅱ（基礎）		
	27	所得税額控除Ⅲ（基礎）		
	28	所得税額控除Ⅳ（基礎）		
	29	国庫補助金等Ⅰ（基礎）		
	30	国庫補助金等Ⅱ（基礎）		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法基礎 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	役員判定、役員給与を中心とした法人税法の体系を学ぶ。			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	各項目の入門部分を学び、各体系の解法を習得する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	役員判定 I（入門）	31	保険料 I（入門）
	2	役員判定 II（入門）	32	保険料 II（入門）
	3	役員給与 I（入門）	33	設立事業年度 I（入門）
	4	役員給与 II（入門）	34	設立事業年度 II（入門）
	5	使用人給与 I（入門）	35	組織再編税制 I（入門）
	6	使用人給与 II（入門）	36	組織再編税制 II（入門）
	7	特定資産の買換え I（入門）	37	工事の請負 I（入門）
	8	特定資産の買換え II（入門）	38	工事の請負 II（入門）
	9	外国税額控除 I（入門）	39	修正申告 I（入門）
	10	外国税額控除 II（入門）	40	修正申告 II（入門）
	11	外国子会社から受ける配当等の益金不算入 I（入門）	41	税効果会計 I（入門）
	12	外国子会社から受ける配当等の益金不算入 II（入門）	42	税効果会計 II（入門）
	13	みなし配当金 I（入門）	43	賃上げ・投資促進税制 I（入門）
	14	みなし配当金 II（入門）	44	賃上げ・投資促進税制 II（入門）
	15	資本等取引 I（入門）	45	スピントフ税制 I（入門）
	16	資本等取引 II（入門）	46	スピントフ税制 II（入門）
	17	交換差益 I（入門）	47	特定同族会社の特別税率 I（入門）
	18	交換差益 II（入門）	48	特定同族会社の特別税率 II（入門）
	19	別表五(二) I（入門）	49	適用除外事業者 I（入門）
	20	別表五(二) II（入門）	50	適用除外事業者 II（入門）
	21	リース取引 I（入門）	51	地方法人税 I（入門）
	22	リース取引 II（入門）	52	地方法人税 II（入門）
	23	繰延資産 I（入門）	53	外国子会社配当 I（入門）
	24	繰延資産 II（入門）	54	外国子会社配当 II（入門）
	25	確定決算型 I（入門）	55	借地権等 I（入門）
	26	確定決算型 II（入門）	56	借地権等 II（入門）
	27	グループ法人税制 I（入門）	57	償還差損益 I（入門）
	28	グループ法人税制 II（入門）	58	償還差損益 II（入門）
	29	資産の評価損益 I（入門）	59	未収還付税金 I（入門）
	30	資産の評価損益 II（入門）	60	確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法速習基礎 I
実務家教員	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	租税と私債権の競合における配当計算を中心とした税法理論を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、初級問題を読解できるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 国税徴収法の目的(初級)
	2 納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで(初級)
	3 強制換価手続(初級)
	4 担保の種類(初級)
	5 滞納処分の概要(初級)
	6 国税に優先する権利(初級)
	7 国税相互間の優先関係(初級)
	8 財産の調査(初級)
	9 最優先される被担保債権(初級)
	10 法定納期限等(期限内申告に係る国税)(初級)
	11 法定納期限等以前の抵当権及び質権(初級)
	12 不動産賃貸の先取特権等(初級)
	13 法定納期限等(期限後・修正、更正・決定等)(初級)
	14 譲受前にある担保権(初級)
	15 担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収(初級)
	16 差押の制限等、解除(初級)
	17 差押の共通手続(初級)
	18 第三者からの差押換え(初級)
	19 差押換え(換価申立ての細部)(初級)
	20 相続人からの差押換え(初級)
	21 動産又は有価証券の差押え(初級)
	22 第三者が占有する動産等の差押手続(初級)
	23 引渡命令を受けた第三者等の権利の保護(初級)
	24 国税徴収法第26条の計算(初級)
	25 債権の差押え(初級)
	26 不動産等の差押え(初級)
	27 第三債務者等がない無体財産権等の差押え(初級)
	28 第三債務者等がある無体財産権等の差押え(初級)
	29 国税徴収法第24条(譲渡担保)(初級)
	30 確認テスト(初級)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	国税徴収法速習総合 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	交付要求、参加差押えの相違を中心とした国税徴収法の体系を学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める			
達成目標	的確な解法で基礎問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例(基礎)	31	総合理論対策1(基礎)
	2	交付要求及び督促時効(基礎)	32	総合理論対策2(基礎)
	3	参加差押え(基礎)	33	総合理論対策3(基礎)
	4	国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係(基礎)	34	総合理論対策4(基礎)
	5	換価配当(基礎)	35	総合理論対策5(基礎)
	6	担保のための仮登記(基礎)	36	総合理論対策6(基礎)
	7	物上代位権との調整(基礎)	37	総合理論対策7(基礎)
	8	納期限未到来の納税の猶予(基礎)	38	総合理論対策8(基礎)
	9	災害等による一般の納税の猶予(基礎)	39	総合理論対策9(基礎)
	10	換価の猶予(基礎)	40	総合問題演習1(基礎)
	11	確定手続が遅延した場合の納税の猶予(基礎)	41	総合問題演習1(基礎)
	12	納税の猶予の効果、取消、短縮(基礎)	42	総合問題演習2(基礎)
	13	納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税(基礎)	43	総合問題演習2(基礎)
	14	保証人に対する滞納処分(法定納期限等)(基礎)	44	総合問題演習3(基礎)
	15	国税の担保(基礎)	45	総合問題演習3(基礎)
	16	差押効力(果実・保険金)、滞納処分の引継(基礎)		
	17	保全措置(基礎)		
	18	滞納処分の停止(基礎)		
	19	納付委託・弁済委託(基礎)		
	20	第二次納税義務(通則)(基礎)		
	21	第二次納税義務(人的限度)(基礎)		
	22	第二次納税義務(物的限度)(基礎)		
	23	不服申立(基礎)		
	24	滞納処分費(基礎)		
	25	納付義務の承継(基礎)		
	26	質権及び抵当権の優先額の限度(基礎)		
	27	増額登記(基礎)		
	28	質権の証明と優先権行使の否認(基礎)		
	29	国税徴収法第26条準用(基礎)		
	30	差押禁止財産(給料等の差押禁止額の計算)(基礎)		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法基礎 I
実務家教員	○
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	納税義務の確定から滞納までの流れを中心に学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、入門問題を読解できるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 国税徴収法の目的(入門)
	2 納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで(入門)
	3 強制換価手続(入門)
	4 担保の種類(入門)
	5 滞納処分の概要(入門)
	6 国税に優先する権利(入門)
	7 国税相互間の優先関係(入門)
	8 財産の調査(入門)
	9 最優先される被担保債権(入門)
	10 法定納期限等(期限内申告に係る国税)(入門)
	11 法定納期限等以前の抵当権及び質権(入門)
	12 不動産賃貸の先取特権等(入門)
	13 法定納期限等(期限後・修正、更正・決定等)(入門)
	14 譲受前にある担保権(入門)
	15 担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収(入門)
	16 差押の制限等、解除(入門)
	17 差押の共通手続(入門)
	18 第三者からの差押換え(入門)
	19 差押換え(換価申立ての細部)(入門)
	20 相続人からの差押換え(入門)
	21 動産又は有価証券の差押え(入門)
	22 第三者が占有する動産等の差押手続(入門)
	23 引渡命令を受けた第三者等の権利の保護(入門)
	24 国税徴収法第26条の計算(入門)
	25 債権の差押え(入門)
	26 不動産等の差押え(入門)
	27 第三債務者等がない無体財産権等の差押え(入門)
	28 第三債務者等がある無体財産権等の差押え(入門)
	29 国税徴収法第24条(譲渡担保)(入門)
	30 確認テスト(入門)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論応用 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	本支店会計 I ①(入門編)	21	キャッシュ・フロー計算書 I ①(入門編)
	2	本支店会計 I ②(入門編)	22	キャッシュ・フロー計算書 I ②(入門編)
	3	本支店会計 I ③(入門編)	23	キャッシュ・フロー計算書 I ③(入門編)
	4	本支店会計 I ④(入門編)	24	キャッシュ・フロー計算書 I ④(入門編)
	5	本支店会計 I ⑤(入門編)	25	繰延資産 I ①(入門編)
	6	本支店会計 I ⑥(入門編)	26	繰延資産 I ②(入門編)
	7	組織再編会計 I ①(入門編)	27	圧縮記帳 I ①(入門編)
	8	組織再編会計 I ②(入門編)	28	圧縮記帳 I ②(入門編)
	9	組織再編会計 I ③(入門編)	29	ストック・オプション I (入門編)
	10	組織再編会計 I ④(入門編)	30	確認テスト
	11	建設業会計 I ①(入門編)		
	12	建設業会計 I ②(入門編)		
	13	連結会計 I ①(入門編)		
	14	連結会計 I ②(入門編)		
	15	連結会計 I ③(入門編)		
	16	連結会計 I ④(入門編)		
	17	製造業会計 I ①(入門編)		
	18	製造業会計 I ②(入門編)		
	19	製造業会計 I ③(入門編)		
	20	製造業会計 I ④(入門編)		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論総合 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	6単位			
授業回数	90回			
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	現金預金Ⅱ①(入門編)	46	項目別答練②(入門編)
	2	債権債務Ⅱ①(入門編)	47	項目別答練③(入門編)
	3	商品売買Ⅱ①(入門編)	48	項目別答練④(入門編)
	4	商品売買Ⅱ②(入門編)	49	項目別答練⑤(入門編)
	5	商品売買Ⅱ③(入門編)	50	項目別答練⑥(入門編)
	6	固定資産Ⅱ①(入門編)	51	基礎答練①(入門編)
	7	固定資産Ⅱ②(入門編)	52	基礎答練②(入門編)
	8	固定資産Ⅱ③(入門編)	53	基礎答練③(入門編)
	9	退職給付会計Ⅱ①(入門編)	54	基礎答練④(入門編)
	10	退職給付会計Ⅱ②(入門編)	55	基礎答練⑤(入門編)
	11	退職給付会計Ⅱ③(入門編)	56	基礎答練⑥(入門編)
	12	債権債務Ⅱ①(入門編)	57	基礎答練⑦(入門編)
	13	債権債務Ⅱ②(入門編)	58	基礎答練⑧(入門編)
	14	税金Ⅱ①(入門編)	59	基礎答練⑨(入門編)
	15	社債Ⅱ①(入門編)	60	基礎答練⑩(入門編)
	16	社債Ⅱ②(入門編)	61	応用答練①(入門編)
	17	社債Ⅱ③(入門編)	62	応用答練②(入門編)
	18	純資産会計Ⅱ①(入門編)	63	応用答練③(入門編)
	19	純資産会計Ⅱ②(入門編)	64	応用答練④(入門編)
	20	純資産会計Ⅱ③(入門編)	65	応用答練⑤(入門編)
	21	有価証券Ⅱ①(入門編)	66	応用答練⑥(入門編)
	22	有価証券Ⅱ②(入門編)	67	応用答練⑦(入門編)
	23	有価証券Ⅱ③(入門編)	68	応用答練⑧(入門編)
	24	外貨建会計Ⅱ①(入門編)	69	応用答練⑨(入門編)
	25	外貨建会計Ⅱ②(入門編)	70	応用答練⑩(入門編)
	26	リース会計Ⅱ①(入門編)	71	過去問演習①(入門編)
	27	リース会計Ⅱ②(入門編)	72	過去問演習②(入門編)
	28	試用販売Ⅱ①(入門編)	73	過去問演習③(入門編)
	29	試用販売Ⅱ②(入門編)	74	過去問演習④(入門編)
	30	割賦販売Ⅱ①(入門編)	75	過去問演習⑤(入門編)
	31	割賦販売Ⅱ②(入門編)	76	過去問演習⑥(入門編)
	32	割賦販売Ⅱ③(入門編)	77	過去問演習⑦(入門編)
	33	未着品販売Ⅱ①(入門編)	78	過去問演習⑧(入門編)
	34	未着品販売Ⅱ②(入門編)	79	過去問演習⑨(入門編)
	35	委託販売・受託販売Ⅱ①(入門編)	80	過去問演習⑩(入門編)
	36	委託販売・受託販売Ⅱ②(入門編)	81	問題演習実践①(入門編)
	37	本支店会計Ⅱ①(入門編)	82	問題演習実践②(入門編)
	38	本支店会計Ⅱ②(入門編)	83	問題演習実践③(入門編)
	39	組織再編会計Ⅱ①(入門編)	84	問題演習実践④(入門編)
	40	組織再編会計Ⅱ②(入門編)	85	問題演習実践⑤(入門編)
	41	連結会計Ⅱ①(入門編)	86	問題演習実践⑥(入門編)
	42	連結会計Ⅱ②(入門編)	87	問題演習実践⑦(入門編)
	43	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ①(入門編)	88	問題演習実践⑧(入門編)
	44	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ②(入門編)	89	問題演習実践⑨(入門編)
	45	項目別答練①(入門編)	90	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論応用Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①(入門編)	21	試用販売Ⅰ③(入門編)
	2	税効果会計Ⅰ②(入門編)	22	割賦販売Ⅰ①(入門編)
	3	税効果会計Ⅰ③(入門編)	23	割賦販売Ⅰ②(入門編)
	4	現在価値計算Ⅰ①(入門編)	24	割賦販売Ⅰ③(入門編)
	5	現在価値計算Ⅰ②(入門編)	25	未着品販売Ⅰ①(入門編)
	6	保険金Ⅰ①(入門編)	26	未着品販売Ⅰ②(入門編)
	7	保険金Ⅰ②(入門編)	27	未着品販売Ⅰ③(入門編)
	8	新株予約権付社債Ⅰ①(入門編)	28	委託販売・受託販売Ⅰ①(入門編)
	9	新株予約権付社債Ⅰ②(入門編)	29	委託販売・受託販売Ⅰ②(入門編)
	10	減損会計Ⅰ①(入門編)	30	確認テスト
	11	減損会計Ⅰ②(入門編)		
	12	資産除去債務Ⅰ①(入門編)		
	13	資産除去債務Ⅰ②(入門編)		
	14	外貨建会計Ⅰ①(入門編)		
	15	外貨建会計Ⅰ②(入門編)		
	16	外貨建会計Ⅰ③(入門編)		
	17	リース会計Ⅰ①(入門編)		
	18	リース会計Ⅰ②(入門編)		
	19	試用販売Ⅰ①(入門編)		
	20	試用販売Ⅰ②(入門編)		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論総合Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	6単位			
授業回数	90回			
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	本支店会計Ⅰ①(入門編)	46	純資産会計Ⅱ②(入門編)
	2	本支店会計Ⅰ②(入門編)	47	有価証券Ⅱ①(入門編)
	3	本支店会計Ⅰ③(入門編)	48	有価証券Ⅱ②(入門編)
	4	本支店会計Ⅰ④(入門編)	49	外貨建会計Ⅱ①(入門編)
	5	本支店会計Ⅰ⑤(入門編)	50	外貨建会計Ⅱ②(入門編)
	6	本支店会計Ⅰ⑥(入門編)	51	リース会計Ⅱ①(入門編)
	7	組織再編会計Ⅰ①(入門編)	52	リース会計Ⅱ②(入門編)
	8	組織再編会計Ⅰ②(入門編)	53	試用販売Ⅱ①(入門編)
	9	組織再編会計Ⅰ③(入門編)	54	試用販売Ⅱ②(入門編)
	10	組織再編会計Ⅰ④(入門編)	55	割賦販売Ⅱ①(入門編)
	11	建設業会計Ⅰ①(入門編)	56	割賦販売Ⅱ②(入門編)
	12	建設業会計Ⅰ②(入門編)	57	未着品販売Ⅱ①(入門編)
	13	連結会計Ⅰ①(入門編)	58	未着品販売Ⅱ②(入門編)
	14	連結会計Ⅰ②(入門編)	59	委託販売・受託販売Ⅱ①(入門編)
	15	連結会計Ⅰ③(入門編)	60	委託販売・受託販売Ⅱ②(入門編)
	16	連結会計Ⅰ④(入門編)	61	本支店会計Ⅱ①(入門編)
	17	製造業会計Ⅰ①(入門編)	62	本支店会計Ⅱ②(入門編)
	18	製造業会計Ⅰ②(入門編)	63	組織再編会計Ⅱ①(入門編)
	19	製造業会計Ⅰ③(入門編)	64	組織再編会計Ⅱ②(入門編)
	20	製造業会計Ⅰ④(入門編)	65	連結会計Ⅱ①(入門編)
	21	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①(入門編)	66	連結会計Ⅱ②(入門編)
	22	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②(入門編)	67	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ①(入門編)
	23	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③(入門編)	68	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ②(入門編)
	24	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④(入門編)	69	項目別答練①(入門編)
	25	繰延資産Ⅰ①(入門編)	70	項目別答練②(入門編)
	26	繰延資産Ⅰ②(入門編)	71	項目別答練③(入門編)
	27	圧縮記帳Ⅰ①(入門編)	72	項目別答練④(入門編)
	28	圧縮記帳Ⅰ②(入門編)	73	項目別答練⑤(入門編)
	29	ストック・オプションⅠ①(入門編)	74	項目別答練⑥(入門編)
	30	ストック・オプションⅠ②(入門編)	75	基礎答練①(入門編)
	31	現金預金Ⅱ①(入門編)	76	基礎答練②(入門編)
	32	債権債務Ⅱ①(入門編)	77	基礎答練③(入門編)
	33	商品売買Ⅱ①(入門編)	78	応用答練①(入門編)
	34	商品売買Ⅱ②(入門編)	79	応用答練②(入門編)
	35	商品売買Ⅱ③(入門編)	80	応用答練③(入門編)
	36	固定資産Ⅱ①(入門編)	81	過去問演習①(入門編)
	37	固定資産Ⅱ②(入門編)	82	過去問演習②(入門編)
	38	退職給付会計Ⅱ①(入門編)	83	過去問演習③(入門編)
	39	退職給付会計Ⅱ②(入門編)	84	過去問演習④(入門編)
	40	債権債務Ⅱ①(入門編)	85	過去問演習⑤(入門編)
	41	債権債務Ⅱ②(入門編)	86	問題演習実践①(入門編)
	42	税金Ⅱ①(入門編)	87	問題演習実践②(入門編)
	43	社債Ⅱ①(入門編)	88	問題演習実践③(入門編)
	44	社債Ⅱ②(入門編)	89	問題演習実践④(入門編)
	45	純資産会計Ⅱ①(入門編)	90	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	簿記の応用知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①(応用編)	31	債権債務Ⅰ⑤(応用編)
	2	簿記の概要Ⅰ②(応用編)	32	債権債務Ⅰ⑥(応用編)
	3	簿記の概要Ⅰ③(応用編)	33	債権債務Ⅰ⑦(応用編)
	4	簿記の概要Ⅰ④(応用編)	34	債権債務Ⅰ⑧(応用編)
	5	現金預金Ⅰ①(応用編)	35	貸倒れⅠ①(応用編)
	6	現金預金Ⅰ②(応用編)	36	貸倒れⅠ②(応用編)
	7	現金預金Ⅰ③(応用編)	37	貸倒れⅠ③(応用編)
	8	現金預金Ⅰ④(応用編)	38	貸倒れⅠ④(応用編)
	9	債権債務Ⅰ①(応用編)	39	退職給付会計Ⅰ①(応用編)
	10	債権債務Ⅰ②(応用編)	40	退職給付会計Ⅰ②(応用編)
	11	債権債務Ⅰ③(応用編)	41	退職給付会計Ⅰ③(応用編)
	12	債権債務Ⅰ④(応用編)	42	退職給付会計Ⅰ④(応用編)
	13	商品売買Ⅰ①(応用編)	43	退職給付会計Ⅰ⑤(応用編)
	14	商品売買Ⅰ②(応用編)	44	税金Ⅰ①(応用編)
	15	商品売買Ⅰ③(応用編)	45	税金Ⅰ②(応用編)
	16	商品売買Ⅰ④(応用編)	46	税金Ⅰ③(応用編)
	17	商品売買Ⅰ⑤(応用編)	47	税金Ⅰ④(応用編)
	18	給料等Ⅰ①(応用編)	48	社債Ⅰ①(応用編)
	19	給料等Ⅰ②(応用編)	49	社債Ⅰ②(応用編)
	20	給料等Ⅰ③(応用編)	50	社債Ⅰ③(応用編)
	21	給料等Ⅰ④(応用編)	51	社債Ⅰ④(応用編)
	22	固定資産Ⅰ①(応用編)	52	純資産会計Ⅰ①(応用編)
	23	固定資産Ⅰ②(応用編)	53	純資産会計Ⅰ②(応用編)
	24	固定資産Ⅰ③(応用編)	54	純資産会計Ⅰ③(応用編)
	25	固定資産Ⅰ④(応用編)	55	純資産会計Ⅰ④(応用編)
	26	固定資産Ⅰ⑤(応用編)	56	有価証券Ⅰ①(応用編)
	27	ソフトウェアⅠ①(応用編)	57	有価証券Ⅰ②(応用編)
	28	ソフトウェアⅠ②(応用編)	58	有価証券Ⅰ③(応用編)
	29	ソフトウェアⅠ③(応用編)	59	有価証券Ⅰ④(応用編)
	30	ソフトウェアⅠ④(応用編)	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習応用Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の応用知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①(応用編)	31	外貨建会計Ⅴ⑤(応用編)
	2	税効果会計Ⅰ②(応用編)	32	外貨建会計Ⅴ⑥(応用編)
	3	税効果会計Ⅰ③(応用編)	33	リース会計Ⅰ①(応用編)
	4	税効果会計Ⅰ④(応用編)	34	リース会計Ⅰ②(応用編)
	5	税効果会計Ⅰ⑤(応用編)	35	リース会計Ⅰ③(応用編)
	6	税効果会計Ⅰ⑥(応用編)	36	リース会計Ⅰ④(応用編)
	7	税効果会計Ⅰ⑦(応用編)	37	リース会計Ⅰ⑤(応用編)
	8	税効果会計Ⅰ⑧(応用編)	38	リース会計Ⅰ⑥(応用編)
	9	現在価値計算Ⅰ①(応用編)	39	試用販売Ⅰ①(応用編)
	10	現在価値計算Ⅰ②(応用編)	40	試用販売Ⅰ②(応用編)
	11	現在価値計算Ⅰ③(応用編)	41	試用販売Ⅰ③(応用編)
	12	保険金Ⅰ①(応用編)	42	試用販売Ⅰ④(応用編)
	13	保険金Ⅰ②(応用編)	43	試用販売Ⅰ⑤(応用編)
	14	保険金Ⅰ③(応用編)	44	試用販売Ⅰ⑥(応用編)
	15	新株予約権付社債Ⅰ①(応用編)	45	割賦販売Ⅰ①(応用編)
	16	新株予約権付社債Ⅰ②(応用編)	46	割賦販売Ⅰ②(応用編)
	17	新株予約権付社債Ⅰ③(応用編)	47	割賦販売Ⅰ③(応用編)
	18	新株予約権付社債Ⅰ④(応用編)	48	割賦販売Ⅰ④(応用編)
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤(応用編)	49	割賦販売Ⅰ⑤(応用編)
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥(応用編)	50	割賦販売Ⅰ⑥(応用編)
	21	減損会計Ⅰ①(応用編)	51	未着品販売Ⅰ①(応用編)
	22	減損会計Ⅰ②(応用編)	52	未着品販売Ⅰ②(応用編)
	23	減損会計Ⅰ③(応用編)	53	未着品販売Ⅰ③(応用編)
	24	減損会計Ⅰ④(応用編)	54	未着品販売Ⅰ④(応用編)
	25	資産除去債務Ⅰ①(応用編)	55	委託販売・受託販売Ⅰ①(応用編)
	26	資産除去債務Ⅰ②(応用編)	56	委託販売・受託販売Ⅰ②(応用編)
	27	外貨建会計Ⅰ①(応用編)	57	委託販売・受託販売Ⅰ③(応用編)
	28	外貨建会計Ⅰ②(応用編)	58	委託販売・受託販売Ⅰ④(応用編)
	29	外貨建会計Ⅰ③(応用編)	59	委託販売・受託販売Ⅰ⑤(応用編)
	30	外貨建会計Ⅰ④(応用編)	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習総合Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	総合問題論点の応用知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	本支店会計Ⅰ①(応用編)	31	製造業会計Ⅰ④(応用編)
	2	本支店会計Ⅰ②(応用編)	32	製造業会計Ⅰ⑤(応用編)
	3	本支店会計Ⅰ③(応用編)	33	製造業会計Ⅰ⑥(応用編)
	4	本支店会計Ⅰ④(応用編)	34	製造業会計Ⅰ⑦(応用編)
	5	本支店会計Ⅰ⑤(応用編)	35	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①(応用編)
	6	本支店会計Ⅰ⑥(応用編)	36	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②(応用編)
	7	組織再編会計Ⅰ①(応用編)	37	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③(応用編)
	8	組織再編会計Ⅰ②(応用編)	38	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④(応用編)
	9	組織再編会計Ⅰ③(応用編)	39	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ⑤(応用編)
	10	組織再編会計Ⅰ④(応用編)	40	繰延資産Ⅰ①(応用編)
	11	組織再編会計Ⅰ⑤(応用編)	41	繰延資産Ⅰ②(応用編)
	12	組織再編会計Ⅰ⑥(応用編)	42	圧縮記帳Ⅰ①(応用編)
	13	組織再編会計Ⅰ⑦(応用編)	43	圧縮記帳Ⅰ②(応用編)
	14	建設業会計Ⅰ①(応用編)	44	ストック・オプションⅠ(応用編)
	15	建設業会計Ⅰ②(応用編)	45	商品売買Ⅱ①(応用編)
	16	建設業会計Ⅰ③(応用編)	46	商品売買Ⅱ②(応用編)
	17	建設業会計Ⅰ④(応用編)	47	固定資産Ⅱ①(応用編)
	18	建設業会計Ⅰ⑤(応用編)	48	固定資産Ⅱ②(応用編)
	19	建設業会計Ⅰ⑥(応用編)	49	退職給付会計Ⅱ①(応用編)
	20	建設業会計Ⅰ⑦(応用編)	50	退職給付会計Ⅱ②(応用編)
	21	連結会計Ⅰ①(応用編)	51	試用販売Ⅱ①(応用編)
	22	連結会計Ⅰ②(応用編)	52	試用販売Ⅱ②(応用編)
	23	連結会計Ⅰ③(応用編)	53	割賦販売Ⅱ①(応用編)
	24	連結会計Ⅰ④(応用編)	54	割賦販売Ⅱ②(応用編)
	25	連結会計Ⅰ⑤(応用編)	55	本支店会計Ⅱ①(応用編)
	26	連結会計Ⅰ⑥(応用編)	56	本支店会計Ⅱ②(応用編)
	27	連結会計Ⅰ⑦(応用編)	57	組織再編会計Ⅱ①(応用編)
	28	製造業会計Ⅰ①(応用編)	58	組織再編会計Ⅱ②(応用編)
	29	製造業会計Ⅰ②(応用編)	59	連結会計Ⅱ①(応用編)
	30	製造業会計Ⅰ③(応用編)	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習総合Ⅳ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	項目別答練①(入門編)	31	応用答練⑩(入門編)
	2	項目別答練②(入門編)	32	応用答練⑪(入門編)
	3	項目別答練③(入門編)	33	応用答練⑫(入門編)
	4	項目別答練④(入門編)	34	応用答練⑬(入門編)
	5	項目別答練⑤(入門編)	35	過去問演習①(入門編)
	6	項目別答練⑥(入門編)	36	過去問演習②(入門編)
	7	項目別答練⑦(入門編)	37	過去問演習③(入門編)
	8	項目別答練⑧(入門編)	38	過去問演習④(入門編)
	9	基礎答練①(入門編)	39	過去問演習⑤(入門編)
	10	基礎答練②(入門編)	40	過去問演習⑥(入門編)
	11	基礎答練③(入門編)	41	過去問演習⑦(入門編)
	12	基礎答練④(入門編)	42	過去問演習⑧(入門編)
	13	基礎答練⑤(入門編)	43	過去問演習⑨(入門編)
	14	基礎答練⑥(入門編)	44	過去問演習⑩(入門編)
	15	基礎答練⑦(入門編)	45	過去問演習⑪(入門編)
	16	基礎答練⑧(入門編)	46	過去問演習⑫(入門編)
	17	基礎答練⑨(入門編)	47	過去問演習⑬(入門編)
	18	基礎答練⑩(入門編)	48	問題演習実践①(入門編)
	19	基礎答練⑪(入門編)	49	問題演習実践②(入門編)
	20	基礎答練⑫(入門編)	50	問題演習実践③(入門編)
	21	基礎答練⑬(入門編)	51	問題演習実践④(入門編)
	22	応用答練①(入門編)	52	問題演習実践⑤(入門編)
	23	応用答練②(入門編)	53	問題演習実践⑥(入門編)
	24	応用答練③(入門編)	54	問題演習実践⑦(入門編)
	25	応用答練④(入門編)	55	問題演習実践⑧(入門編)
	26	応用答練⑤(入門編)	56	問題演習実践⑨(入門編)
	27	応用答練⑥(入門編)	57	問題演習実践⑩(入門編)
	28	応用答練⑦(入門編)	58	問題演習実践⑪(入門編)
	29	応用答練⑧(入門編)	59	問題演習実践⑫(入門編)
	30	応用答練⑨(入門編)	60	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①(基礎編)
	2	簿記の概要Ⅰ②(基礎編)
	3	簿記の概要Ⅰ③(基礎編)
	4	簿記の概要Ⅰ④(基礎編)
	5	現金預金Ⅰ①(基礎編)
	6	現金預金Ⅰ②(基礎編)
	7	現金預金Ⅰ③(基礎編)
	8	債権債務Ⅰ①(基礎編)
	9	債権債務Ⅰ②(基礎編)
	10	商品売買Ⅰ①(基礎編)
	11	商品売買Ⅰ②(基礎編)
	12	商品売買Ⅰ③(基礎編)
	13	給料等Ⅰ①(基礎編)
	14	給料等Ⅰ②(基礎編)
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論基礎Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①(基礎編)	31	外貨建会計Ⅴ⑤(基礎編)
	2	税効果会計Ⅰ②(基礎編)	32	外貨建会計Ⅴ⑥(基礎編)
	3	税効果会計Ⅰ③(基礎編)	33	リース会計Ⅰ①(基礎編)
	4	税効果会計Ⅰ④(基礎編)	34	リース会計Ⅰ②(基礎編)
	5	税効果会計Ⅰ⑤(基礎編)	35	リース会計Ⅰ③(基礎編)
	6	税効果会計Ⅰ⑥(基礎編)	36	リース会計Ⅰ④(基礎編)
	7	税効果会計Ⅰ⑦(基礎編)	37	リース会計Ⅰ⑤(基礎編)
	8	税効果会計Ⅰ⑧(基礎編)	38	リース会計Ⅰ⑥(基礎編)
	9	現在価値計算Ⅰ①(基礎編)	39	試用販売Ⅰ①(基礎編)
	10	現在価値計算Ⅰ②(基礎編)	40	試用販売Ⅰ②(基礎編)
	11	現在価値計算Ⅰ③(基礎編)	41	試用販売Ⅰ③(基礎編)
	12	保険金Ⅰ①(基礎編)	42	試用販売Ⅰ④(基礎編)
	13	保険金Ⅰ②(基礎編)	43	試用販売Ⅰ⑤(基礎編)
	14	保険金Ⅰ③(基礎編)	44	試用販売Ⅰ⑥(基礎編)
	15	新株予約権付社債Ⅰ①(基礎編)	45	割賦販売Ⅰ①(基礎編)
	16	新株予約権付社債Ⅰ②(基礎編)	46	割賦販売Ⅰ②(基礎編)
	17	新株予約権付社債Ⅰ③(基礎編)	47	割賦販売Ⅰ③(基礎編)
	18	新株予約権付社債Ⅰ④(基礎編)	48	割賦販売Ⅰ④(基礎編)
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤(基礎編)	49	割賦販売Ⅰ⑤(基礎編)
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥(基礎編)	50	割賦販売Ⅰ⑥(基礎編)
	21	減損会計Ⅰ①(基礎編)	51	未着品販売Ⅰ①(基礎編)
	22	減損会計Ⅰ②(基礎編)	52	未着品販売Ⅰ②(基礎編)
	23	減損会計Ⅰ③(基礎編)	53	未着品販売Ⅰ③(基礎編)
	24	減損会計Ⅰ④(基礎編)	54	未着品販売Ⅰ④(基礎編)
	25	資産除去債務Ⅰ①(基礎編)	55	委託販売・受託販売Ⅰ①(基礎編)
	26	資産除去債務Ⅰ②(基礎編)	56	委託販売・受託販売Ⅰ②(基礎編)
	27	外貨建会計Ⅰ①(基礎編)	57	委託販売・受託販売Ⅰ③(基礎編)
	28	外貨建会計Ⅰ②(基礎編)	58	委託販売・受託販売Ⅰ④(基礎編)
	29	外貨建会計Ⅰ③(基礎編)	59	委託販売・受託販売Ⅰ⑤(基礎編)
	30	外貨建会計Ⅰ④(基礎編)	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論基礎Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	固定資産Ⅰ①(基礎編)
	2	固定資産Ⅰ②(基礎編)
	3	固定資産Ⅰ③(基礎編)
	4	固定資産Ⅰ④(基礎編)
	5	ソフトウェアⅠ①(基礎編)
	6	ソフトウェアⅠ②(基礎編)
	7	ソフトウェアⅠ③(基礎編)
	8	債権債務Ⅰ①(基礎編)
	9	債権債務Ⅰ②(基礎編)
	10	貸倒れⅠ①(基礎編)
	11	貸倒れⅠ②(基礎編)
	12	退職給付会計Ⅰ①(基礎編)
	13	退職給付会計Ⅰ②(基礎編)
	14	退職給付会計Ⅰ③(基礎編)
	15	退職給付会計Ⅰ④(基礎編)
	16	税金Ⅰ①(基礎編)
	17	税金Ⅰ②(基礎編)
	18	社債Ⅰ①(基礎編)
	19	社債Ⅰ②(基礎編)
	20	社債Ⅰ③(基礎編)
	21	社債Ⅰ④(基礎編)
	22	純資産会計Ⅰ①(基礎編)
	23	純資産会計Ⅰ②(基礎編)
	24	純資産会計Ⅰ③(基礎編)
	25	純資産会計Ⅰ④(基礎編)
	26	有価証券Ⅰ①(基礎編)
	27	有価証券Ⅰ②(基礎編)
	28	有価証券Ⅰ③(基礎編)
	29	有価証券Ⅰ④(基礎編)
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論応用 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	会社法の概要入門を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	金利スワップ①(入門)	21	収益認識①(入門)
	2	金利スワップ②(入門)	22	収益認識②(入門)
	3	金利スワップ③(入門)	23	収益認識③(入門)
	4	金利スワップ④(入門)	24	収益認識④(入門)
	5	金利スワップ⑤(入門)	25	収益認識⑤(入門)
	6	資産及び負債の貸借対照表能力①(入門)	26	組織再①(入門)
	7	資産及び負債の貸借対照表能力②(入門)	27	組織再②(入門)
	8	資産及び負債の貸借対照表能力③(入門)	28	組織再③(入門)
	9	資産及び負債の貸借対照表能力④(入門)	29	組織再④(入門)
	10	資産及び負債の貸借対照表能力⑤(入門)	30	確認テスト(理論)
	11	投資のリスクからの解放①(入門)		
	12	投資のリスクからの解放②(入門)		
	13	投資のリスクからの解放③(入門)		
	14	投資のリスクからの解放④(入門)		
	15	投資のリスクからの解放⑤(入門)		
	16	配分と評価①(入門)		
	17	配分と評価②(入門)		
	18	配分と評価③(入門)		
	19	配分と評価④(入門)		
	20	配分と評価⑤(入門)		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論総合 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	6単位			
授業回数	90回			
授業概要	財務諸表作成の入門概要を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	財務諸表論総まとめ①(入門)	46	総合問題対策③(入門)
	2	財務諸表論総まとめ①(入門)	47	総合問題対策④(入門)
	3	財務諸表論総まとめ②(入門)	48	総合問題対策④(入門)
	4	財務諸表論総まとめ②(入門)	49	総合問題対策⑤(入門)
	5	財務諸表論総まとめ③(入門)	50	総合問題対策⑤(入門)
	6	財務諸表論総まとめ③(入門)	51	総合問題対策⑥(入門)
	7	財務諸表論総まとめ④(入門)	52	総合問題対策⑥(入門)
	8	財務諸表論総まとめ④(入門)	53	総合問題対策⑦(入門)
	9	財務諸表論総まとめ⑤(入門)	54	総合問題対策⑦(入門)
	10	財務諸表論総まとめ⑤(入門)	55	総合問題対策⑧(入門)
	11	財務諸表論総まとめ⑥(入門)	56	総合問題対策⑧(入門)
	12	財務諸表論総まとめ⑥(入門)	57	総合問題対策⑨(入門)
	13	財務諸表論総まとめ⑦(入門)	58	総合問題対策⑨(入門)
	14	財務諸表論総まとめ⑦(入門)	59	総合問題対策⑩(入門)
	15	財務諸表論総まとめ⑧(入門)	60	総合問題対策⑩(入門)
	16	財務諸表論総まとめ⑧(入門)	61	総合問題対策⑪(入門)
	17	財務諸表論総まとめ⑨(入門)	62	総合問題対策⑪(入門)
	18	財務諸表論総まとめ⑨(入門)	63	総合問題対策⑫(入門)
	19	財務諸表論総まとめ⑩(入門)	64	総合問題対策⑫(入門)
	20	財務諸表論総まとめ⑩(入門)	65	総合問題対策⑬(入門)
	21	財務諸表論総まとめ⑪(入門)	66	総合問題対策⑬(入門)
	22	財務諸表論総まとめ⑪(入門)	67	総合問題対策⑭(入門)
	23	財務諸表論総まとめ⑫(入門)	68	総合問題対策⑭(入門)
	24	財務諸表論総まとめ⑫(入門)	69	総合問題対策⑮(入門)
	25	財務諸表論総まとめ⑬(入門)	70	総合問題対策⑮(入門)
	26	財務諸表論総まとめ⑬(入門)	71	総合問題対策⑯(入門)
	27	財務諸表論総まとめ⑭(入門)	72	総合問題対策⑯(入門)
	28	財務諸表論総まとめ⑭(入門)	73	総合問題対策⑰(入門)
	29	財務諸表論総まとめ⑮(入門)	74	総合問題対策⑰(入門)
	30	財務諸表論総まとめ⑮(入門)	75	総合問題対策⑱(入門)
	31	財務諸表論総まとめ⑯(入門)	76	総合問題対策⑱(入門)
	32	財務諸表論総まとめ⑯(入門)	77	総合問題対策⑲(入門)
	33	財務諸表論総まとめ⑰(入門)	78	総合問題対策⑲(入門)
	34	財務諸表論総まとめ⑰(入門)	79	総合問題対策⑳(入門)
	35	財務諸表論総まとめ⑱(入門)	80	総合問題対策⑳(入門)
	36	財務諸表論総まとめ⑱(入門)	81	総合問題対策㉑(入門)
	37	財務諸表論総まとめ⑲(入門)	82	総合問題対策㉑(入門)
	38	財務諸表論総まとめ⑲(入門)	83	総合問題対策㉒(入門)
	39	財務諸表論総まとめ⑳(入門)	84	総合問題対策㉒(入門)
	40	財務諸表論総まとめ⑳(入門)	85	総合問題対策㉓(入門)
	41	総合問題対策①(入門)	86	総合問題対策㉓(入門)
	42	総合問題対策①(入門)	87	総合問題対策㉔(入門)
	43	総合問題対策②(入門)	88	総合問題対策㉔(入門)
	44	総合問題対策②(入門)	89	模擬試験(計算)
	45	総合問題対策③(入門)	90	模擬試験(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論応用Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	会社法の入門・基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①(入門・基礎)	21	事業分離会計②(入門・基礎)
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②(入門・基礎)	22	事業分離会計③(入門・基礎)
	3	分配可能額①(入門・基礎)	23	四半期財務諸表①(入門・基礎)
	4	分配可能額②(入門・基礎)	24	四半期財務諸表②(入門・基礎)
	5	ストック・オプション①(入門・基礎)	25	ヘッジ会計①(入門・基礎)
	6	ストック・オプション②(入門・基礎)	26	ヘッジ会計②(入門・基礎)
	7	セール&リースバック①(入門・基礎)	27	包括利益①(入門・基礎)
	8	セール&リースバック②(入門・基礎)	28	包括利益②(入門・基礎)
	9	財務諸表等規則①(入門・基礎)	29	包括利益③(入門・基礎)
	10	財務諸表等規則②(入門・基礎)	30	確認テスト(理論)
	11	負債①(入門・基礎)		
	12	負債②(入門・基礎)		
	13	負債③(入門・基礎)		
	14	純資産会計①(入門・基礎)		
	15	純資産会計②(入門・基礎)		
	16	純資産会計③(入門・基礎)		
	17	企業結合会計①(入門・基礎)		
	18	企業結合会計②(入門・基礎)		
	19	企業結合会計③(入門・基礎)		
	20	事業分離会計①(入門・基礎)		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論総合Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	6単位			
授業回数	90回			
授業概要	財務諸表作成の入門・基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	財務諸表論総まとめ①(入門・基礎)	46	総合問題対策③(入門・基礎)
	2	財務諸表論総まとめ①(入門・基礎)	47	総合問題対策④(入門・基礎)
	3	財務諸表論総まとめ②(入門・基礎)	48	総合問題対策④(入門・基礎)
	4	財務諸表論総まとめ②(入門・基礎)	49	総合問題対策⑤(入門・基礎)
	5	財務諸表論総まとめ③(入門・基礎)	50	総合問題対策⑤(入門・基礎)
	6	財務諸表論総まとめ③(入門・基礎)	51	総合問題対策⑥(入門・基礎)
	7	財務諸表論総まとめ④(入門・基礎)	52	総合問題対策⑥(入門・基礎)
	8	財務諸表論総まとめ④(入門・基礎)	53	総合問題対策⑦(入門・基礎)
	9	財務諸表論総まとめ⑤(入門・基礎)	54	総合問題対策⑦(入門・基礎)
	10	財務諸表論総まとめ⑤(入門・基礎)	55	総合問題対策⑧(入門・基礎)
	11	財務諸表論総まとめ⑥(入門・基礎)	56	総合問題対策⑧(入門・基礎)
	12	財務諸表論総まとめ⑥(入門・基礎)	57	総合問題対策⑨(入門・基礎)
	13	財務諸表論総まとめ⑦(入門・基礎)	58	総合問題対策⑨(入門・基礎)
	14	財務諸表論総まとめ⑦(入門・基礎)	59	総合問題対策⑩(入門・基礎)
	15	財務諸表論総まとめ⑧(入門・基礎)	60	総合問題対策⑩(入門・基礎)
	16	財務諸表論総まとめ⑧(入門・基礎)	61	総合問題対策⑪(入門・基礎)
	17	財務諸表論総まとめ⑨(入門・基礎)	62	総合問題対策⑪(入門・基礎)
	18	財務諸表論総まとめ⑨(入門・基礎)	63	総合問題対策⑫(入門・基礎)
	19	財務諸表論総まとめ⑩(入門・基礎)	64	総合問題対策⑫(入門・基礎)
	20	財務諸表論総まとめ⑩(入門・基礎)	65	総合問題対策⑬(入門・基礎)
	21	財務諸表論総まとめ⑪(入門・基礎)	66	総合問題対策⑬(入門・基礎)
	22	財務諸表論総まとめ⑪(入門・基礎)	67	総合問題対策⑭(入門・基礎)
	23	財務諸表論総まとめ⑫(入門・基礎)	68	総合問題対策⑭(入門・基礎)
	24	財務諸表論総まとめ⑫(入門・基礎)	69	総合問題対策⑮(入門・基礎)
	25	財務諸表論総まとめ⑬(入門・基礎)	70	総合問題対策⑮(入門・基礎)
	26	財務諸表論総まとめ⑬(入門・基礎)	71	総合問題対策⑯(入門・基礎)
	27	財務諸表論総まとめ⑭(入門・基礎)	72	総合問題対策⑯(入門・基礎)
	28	財務諸表論総まとめ⑭(入門・基礎)	73	総合問題対策⑰(入門・基礎)
	29	財務諸表論総まとめ⑮(入門・基礎)	74	総合問題対策⑰(入門・基礎)
	30	財務諸表論総まとめ⑮(入門・基礎)	75	総合問題対策⑱(入門・基礎)
	31	財務諸表論総まとめ⑯(入門・基礎)	76	総合問題対策⑱(入門・基礎)
	32	財務諸表論総まとめ⑯(入門・基礎)	77	総合問題対策⑲(入門・基礎)
	33	財務諸表論総まとめ⑰(入門・基礎)	78	総合問題対策⑲(入門・基礎)
	34	財務諸表論総まとめ⑰(入門・基礎)	79	総合問題対策⑳(入門・基礎)
	35	財務諸表論総まとめ⑱(入門・基礎)	80	総合問題対策⑳(入門・基礎)
	36	財務諸表論総まとめ⑱(入門・基礎)	81	総合問題対策㉑(入門・基礎)
	37	財務諸表論総まとめ⑱(入門・基礎)	82	総合問題対策㉑(入門・基礎)
	38	財務諸表論総まとめ⑲(入門・基礎)	83	総合問題対策㉒(入門・基礎)
	39	財務諸表論総まとめ⑲(入門・基礎)	84	総合問題対策㉒(入門・基礎)
	40	財務諸表論総まとめ⑲(入門・基礎)	85	総合問題対策㉓(入門・基礎)
	41	総合問題対策①(入門・基礎)	86	総合問題対策㉓(入門・基礎)
	42	総合問題対策①(入門・基礎)	87	総合問題対策㉔(入門・基礎)
	43	総合問題対策②(入門・基礎)	88	総合問題対策㉔(入門・基礎)
	44	総合問題対策②(入門・基礎)	89	模擬試験(計算)
	45	総合問題対策③(入門・基礎)	90	模擬試験(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会計学の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎(基礎)
	2	個別注記表(基礎)
	3	現金及び預金(基礎)
	4	債権債務(基礎)
	5	関係会社概念(基礎)
	6	売上原価の算定(基礎)
	7	貸倒れ(基礎)
	8	給料等(基礎)
	9	その他の引当金(基礎)
	10	退職給付会計(基礎)
	11	有形固定資産(基礎)
	12	無形固定資産(基礎)
	13	株主資本(基礎)
	14	財務諸表論の基礎概念(基礎)
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	会計基準の基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	売買目的有価証券(基礎)	31	ゴルフ会員権(基礎)
	2	満期保有目的の債券(基礎)	32	売価還元法(基礎)
	3	子会社株式・関連会社株式(基礎)	33	製造業会計(基礎)
	4	その他有価証券(基礎)	34	研究開発費(基礎)
	5	ソフトウェア(基礎)	35	新株予約権(基礎)
	6	法人税等・追徴還付(基礎)	36	キャッシュ・フロー計算書(基礎)
	7	現在価値計算(基礎)	37	損益計算書総論(基礎)
	8	社債(基礎)	38	貸借対照表総論(基礎)
	9	利益剰余金(基礎)	39	資産総論(基礎)
	10	自己株式(基礎)	40	棚卸資産に関する会計基準(基礎)
	11	配当(基礎)	41	連続意見書(基礎)
	12	外形基準、租税公課(基礎)	42	引当金(基礎)
	13	源泉所得税、社会保険料(基礎)	43	会計観(基礎)
	14	税効果会計(基礎)	44	金融商品(基礎)
	15	税効果注記(基礎)	45	純資産会計①(基礎)
	16	源泉所得税、社会保険料(基礎)	46	純資産会計②(基礎)
	17	株主資本等変動計算書(基礎)	47	純資産会計③(基礎)
	18	減損会計(基礎)	48	純資産会計④(基礎)
	19	配当を受けた株主の処理(基礎)	49	純資産会計⑤(基礎)
	20	圧縮記帳(基礎)	50	企業結合会計①(基礎)
	21	外貨建取引(基礎)	51	企業結合会計②(基礎)
	22	退職給付会計簡便法(基礎)	52	企業結合会計③(基礎)
	23	繰延資産(基礎)	53	企業結合会計④(基礎)
	24	為替予約(基礎)	54	企業結合会計⑤(基礎)
	25	仕入・売上げの計上基準(基礎)	55	事業分離会計①(基礎)
	26	消費税等(基礎)	56	事業分離会計②(基礎)
	27	他勘定振替(基礎)	57	事業分離会計③(基礎)
	28	外貨建有価証券(基礎)	58	事業分離会計④(基礎)
	29	リース会計(基礎)	59	事業分離会計⑤(基礎)
	30	証券投資信託(基礎)	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論基礎IV	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	金融商品取引法の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①(基礎)
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②(基礎)
	3	会計上の変更及び誤謬の訂正③(基礎)
	4	会計上の変更及び誤謬の訂正④(基礎)
	5	会計上の変更及び誤謬の訂正⑤(基礎)
	6	分配可能額①(基礎)
	7	分配可能額②(基礎)
	8	分配可能額③(基礎)
	9	分配可能額④(基礎)
	10	分配可能額⑤(基礎)
	11	ストック・オプション①(基礎)
	12	ストック・オプション②(基礎)
	13	ストック・オプション③(基礎)
	14	ストック・オプション④(基礎)
	15	ストック・オプション⑤(基礎)
	16	セール&リースバック①(基礎)
	17	セール&リースバック②(基礎)
	18	セール&リースバック③(基礎)
	19	セール&リースバック④(基礎)
	20	セール&リースバック⑤(基礎)
	21	財務諸表等規則①(基礎)
	22	財務諸表等規則②(基礎)
	23	財務諸表等規則③(基礎)
	24	財務諸表等規則④(基礎)
	25	財務諸表等規則⑤(基礎)
	26	負債①(基礎)
	27	負債②(基礎)
	28	負債③(基礎)
	29	負債④(基礎)
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法応用 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	軽減税率や複数税率などの考え方を学習する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	軽減税率①(入門編)	21	国等に対する特例③(入門編)
	2	軽減税率②(入門編)	22	国等に対する特例④(入門編)
	3	軽減税率③(入門編)	23	国等に対する特例⑤(入門編)
	4	軽減税率④(入門編)	24	国等に対する特例⑥(入門編)
	5	軽減税率⑤(入門編)	25	国等に対する特例⑦(入門編)
	6	軽減税率⑥(入門編)	26	国等に対する特例⑧(入門編)
	7	旧税率に関する経過措置①(入門編)	27	特殊項目①(事業承継があった場合の控除税額の調整等)(入門編)
	8	旧税率に関する経過措置②(入門編)	28	特殊項目②(前期又は翌期が免税事業者である場合の留意点)(入門編)
	9	旧税率に関する経過措置③(入門編)	29	特殊項目③(税抜経理方式)(入門編)
	10	旧税率に関する経過措置④(入門編)	30	確認テスト(理論)
	11	旧税率に関する経過措置⑤(入門編)		
	12	旧税率に関する経過措置⑥(入門編)		
	13	複数税率の場合の計算①(入門編)		
	14	複数税率の場合の計算②(入門編)		
	15	複数税率の場合の計算③(入門編)		
	16	複数税率の場合の計算④(入門編)		
	17	複数税率の場合の計算⑤(入門編)		
	18	複数税率の場合の計算⑥(入門編)		
	19	国等に対する特例①(入門編)		
	20	国等に対する特例②(入門編)		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法総合 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	6 単位	
授業回数	9 0 回	
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 個別問題対策①(初級編)	46 総合問題対策⑱(初級編)
	2 個別問題対策②(初級編)	47 総合問題対策⑳(初級編)
	3 個別問題対策③(初級編)	48 総合問題対策㉑(初級編)
	4 個別問題対策④(初級編)	49 総合問題対策㉒(初級編)
	5 個別問題対策⑤(初級編)	50 総合問題対策㉓(初級編)
	6 個別問題対策⑥(初級編)	51 総合問題対策㉔(初級編)
	7 個別問題対策⑦(初級編)	52 総合問題対策㉕(初級編)
	8 個別問題対策⑧(初級編)	53 総合問題対策㉖(初級編)
	9 個別問題対策⑨(初級編)	54 総合問題対策㉗(初級編)
	10 個別問題対策⑩(初級編)	55 総合問題対策㉘(初級編)
	11 個別問題対策⑪(初級編)	56 総合問題対策㉙(初級編)
	12 個別問題対策⑫(初級編)	57 総合問題対策㉚(初級編)
	13 個別問題対策⑬(初級編)	58 総合問題対策㉛(初級編)
	14 個別問題対策⑭(初級編)	59 総合問題対策㉜(初級編)
	15 理論問題対策①(初級編)	60 総合問題対策㉝(初級編)
	16 理論問題対策②(初級編)	61 総合問題対策㉞(初級編)
	17 理論問題対策③(初級編)	62 総合問題対策㉟(初級編)
	18 理論問題対策④(初級編)	63 総合問題対策㊱(初級編)
	19 理論問題対策⑤(初級編)	64 総合問題対策㊲(初級編)
	20 理論問題対策⑥(初級編)	65 総合問題対策㊳(初級編)
	21 理論問題対策⑦(初級編)	66 総合問題対策㊴(初級編)
	22 理論問題対策⑧(初級編)	67 総合問題対策㊵(初級編)
	23 理論問題対策⑨(初級編)	68 総合問題対策㊶(初級編)
	24 理論問題対策⑩(初級編)	69 総合問題対策㊷(初級編)
	25 理論問題対策⑪(初級編)	70 総合問題対策㊸(初級編)
	26 理論問題対策⑫(初級編)	71 総合問題演習①(初級編)
	27 理論問題対策⑬(初級編)	72 総合問題演習②(初級編)
	28 総合問題対策①(初級編)	73 総合問題演習③(初級編)
	29 総合問題対策②(初級編)	74 総合問題演習④(初級編)
	30 総合問題対策③(初級編)	75 総合問題演習⑤(初級編)
	31 総合問題対策④(初級編)	76 総合問題演習⑥(初級編)
	32 総合問題対策⑤(初級編)	77 総合問題演習⑦(初級編)
	33 総合問題対策⑥(初級編)	78 総合問題演習⑧(初級編)
	34 総合問題対策⑦(初級編)	79 総合問題演習⑨(初級編)
	35 総合問題対策⑧(初級編)	80 総合問題演習⑩(初級編)
	36 総合問題対策⑨(初級編)	81 総合問題演習⑪(初級編)
	37 総合問題対策⑩(初級編)	82 総合問題演習⑫(初級編)
	38 総合問題対策⑪(初級編)	83 総合問題演習⑬(初級編)
	39 総合問題対策⑫(初級編)	84 総合問題演習⑭(初級編)
	40 総合問題対策⑬(初級編)	85 総合問題演習⑮(初級編)
	41 総合問題対策⑭(初級編)	86 総合問題演習⑯(初級編)
	42 総合問題対策⑮(初級編)	87 総合問題演習⑰(初級編)
	43 総合問題対策⑯(初級編)	88 総合問題演習⑱(初級編)
	44 総合問題対策⑰(初級編)	89 総合問題演習⑲(初級編)
	45 総合問題対策⑱(初級編)	90 総合問題演習⑲(初級編)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法速習総合 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総合問題対策①(初級編)	31	総合問題対策⑳(初級編)
	2	総合問題対策②(初級編)	32	総合問題対策㉑(初級編)
	3	総合問題対策③(初級編)	33	総合問題対策㉒(初級編)
	4	総合問題対策④(初級編)	34	総合問題対策㉓(初級編)
	5	総合問題対策⑤(初級編)	35	総合問題対策㉔(初級編)
	6	総合問題対策⑥(初級編)	36	総合問題演習①(初級編)
	7	総合問題対策⑦(初級編)	37	総合問題演習①(初級編)
	8	総合問題対策⑧(初級編)	38	総合問題演習②(初級編)
	9	総合問題対策⑨(初級編)	39	総合問題演習②(初級編)
	10	総合問題対策⑩(初級編)	40	総合問題演習③(初級編)
	11	総合問題対策⑪(初級編)	41	総合問題演習③(初級編)
	12	総合問題対策⑫(初級編)	42	総合問題演習④(初級編)
	13	総合問題対策⑬(初級編)	43	総合問題演習④(初級編)
	14	総合問題対策⑭(初級編)	44	総合問題演習⑤(初級編)
	15	総合問題対策⑮(初級編)	45	総合問題演習⑤(初級編)
	16	総合問題対策⑯(初級編)		
	17	総合問題対策⑰(初級編)		
	18	総合問題対策⑱(初級編)		
	19	総合問題対策⑲(初級編)		
	20	総合問題対策⑳(初級編)		
	21	総合問題対策㉑(初級編)		
	22	総合問題対策㉒(初級編)		
	23	総合問題対策㉓(初級編)		
	24	総合問題対策㉔(初級編)		
	25	総合問題対策㉕(初級編)		
	26	総合問題対策㉖(初級編)		
	27	総合問題対策㉗(初級編)		
	28	総合問題対策㉘(初級編)		
	29	総合問題対策㉙(初級編)		
	30	総合問題対策㉚(初級編)		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	課税の対象①(初級編)
	3	課税の対象②(初級編)
	4	課税の対象③(初級編)
	5	課税の対象④(初級編)
	6	非課税①(初級編)
	7	非課税②(初級編)
	8	非課税③(初級編)
	9	非課税④(初級編)
	10	輸出免税等①(初級編)
	11	輸出免税等②(初級編)
	12	輸出免税等③(初級編)
	13	輸出免税等④(初級編)
	14	資産の譲渡等の時期(初級編)
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	課税の対象①(初級編)
	3	課税の対象②(初級編)
	4	非課税①(初級編)
	5	非課税②(初級編)
	6	輸出免税等①(初級編)
	7	輸出免税等②(初級編)
	8	資産の譲渡等の時期(初級編)
	9	控除対象仕入税額①(初級編)
	10	控除対象仕入税額②(初級編)
	11	売上げに係る対価の返還等(初級編)
	12	貸倒れが生じた場合(初級編)
	13	課税仕入れの範囲①(初級編)
	14	課税仕入れの範囲②(初級編)
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	控除税額や納税義務の有無の判定を中心に処理方法を学習する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	控除対象仕入税額①(初級編)	31	納税義務の免除①(初級編)
	2	控除対象仕入税額②(初級編)	32	納税義務の免除②(初級編)
	3	控除対象仕入税額③(初級編)	33	納税義務の免除③(初級編)
	4	控除対象仕入税額④(初級編)	34	納税義務の免除④(初級編)
	5	控除対象仕入税額⑤(初級編)	35	納税義務の免除⑤(初級編)
	6	控除対象仕入税額⑥(初級編)	36	国境を越えた役務の提供①(初級編)
	7	売上げに係る対価の返還等①(初級編)	37	国境を越えた役務の提供②(初級編)
	8	売上げに係る対価の返還等②(初級編)	38	国境を越えた役務の提供③(初級編)
	9	貸倒れが生じた場合①(初級編)	39	国境を越えた役務の提供④(初級編)
	10	貸倒れが生じた場合②(初級編)	40	国境を越えた役務の提供⑤(初級編)
	11	課税仕入れの範囲①(初級編)	41	中間申告に係る納付税額の計算①(初級編)
	12	課税仕入れの範囲②(初級編)	42	中間申告に係る納付税額の計算②(初級編)
	13	課税仕入れの範囲③(初級編)	43	課税仕入れ等の分類①(初級編)
	14	課税仕入れの範囲④(初級編)	44	課税仕入れ等の分類②(初級編)
	15	課税仕入れ等の時期①(初級編)	45	課税仕入れ等の分類③(初級編)
	16	課税仕入れ等の時期②(初級編)	46	課税仕入れ等の分類④(初級編)
	17	課税仕入れ等の時期③(初級編)	47	課税仕入れ等の分類⑤(初級編)
	18	課税仕入れ等の時期④(初級編)	48	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①(初級編)
	19	課税売上割合①(初級編)	49	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②(初級編)
	20	課税売上割合②(初級編)	50	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③(初級編)
	21	課税売上割合③(初級編)	51	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①(初級編)
	22	課税売上割合④(初級編)	52	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②(初級編)
	23	課税売上割合⑤(初級編)	53	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③(初級編)
	24	課税売上割合⑥(初級編)	54	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④(初級編)
	25	課税期間における課税売上高①(初級編)	55	納税義務の免除の特例①(初級編)
	26	課税期間における課税売上高②(初級編)	56	納税義務の免除の特例②(初級編)
	27	課税売上割合に準ずる割合①(初級編)	57	納税義務の免除の特例③(初級編)
	28	課税売上割合に準ずる割合②(初級編)	58	納税義務の免除の特例④(初級編)
	29	仕入れに係る対価の返還等①(初級編)	59	納税義務の免除の特例⑤(初級編)
	30	仕入れに係る対価の返還等②(初級編)	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	課税仕入れ等の時期①(初級編)
	2	課税仕入れ等の時期②(初級編)
	3	課税売上割合①(初級編)
	4	課税売上割合②(初級編)
	5	課税期間における課税売上高①(初級編)
	6	課税期間における課税売上高②(初級編)
	7	課税売上割合に準ずる割合①(初級編)
	8	課税売上割合に準ずる割合②(初級編)
	9	仕入れに係る対価の返還等(初級編)
	10	納税義務の免除(初級編)
	11	国境を越えた役務の提供①(初級編)
	12	国境を越えた役務の提供②(初級編)
	13	国境を越えた役務の提供③(初級編)
	14	中間申告に係る納付税額の計算(初級編)
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	課税標準や簡易課税制度を中心とした処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算(初級編)①
	2	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算(初級編)②
	3	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算(初級編)③
	4	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①(初級編)
	5	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②(初級編)
	6	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整③(初級編)
	7	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整④(初級編)
	8	課税標準①(初級編)
	9	課税標準②(初級編)
	10	課税標準③(初級編)
	11	課税標準④(初級編)
	12	課税標準⑤(初級編)
	13	課税標準⑥(初級編)
	14	課税標準⑦(初級編)
	15	課税標準⑧(初級編)
	16	簡易課税制度①(初級編)
	17	簡易課税制度②(初級編)
	18	簡易課税制度③(初級編)
	19	簡易課税制度④(初級編)
	20	簡易課税制度⑤(初級編)
	21	簡易課税制度⑥(初級編)
	22	簡易課税制度⑦(初級編)
	23	簡易課税制度⑧(初級編)
	24	簡易課税制度⑨(初級編)
	25	簡易課税制度⑩(初級編)
	26	簡易課税制度⑪(初級編)
	27	簡易課税制度⑫(初級編)
	28	簡易課税制度⑬(初級編)
	29	簡易課税制度⑭(初級編)
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法速習応用Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例を中心とした処理方法を学習する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	課税仕入れ等の分類①(初級編)	21	軽減税率①(初級編)
	2	課税仕入れ等の分類②(初級編)	22	軽減税率②(初級編)
	3	課税仕入れ等の分類③(初級編)	23	旧税率に関する経過措置①(初級編)
	4	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例(初級編)	24	旧税率に関する経過措置②(初級編)
	5	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①(初級編)	25	複数税率の場合の計算①(初級編)
	6	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②(初級編)	26	複数税率の場合の計算②(初級編)
	7	納税義務の免除の特例①(初級編)	27	国等に対する特例①(初級編)
	8	納税義務の免除の特例②(初級編)	28	国等に対する特例②(初級編)
	9	納税義務の免除の特例③(初級編)	29	特殊項目③(税抜経理方式)(初級編)
	10	納税義務の免除の特例④(初級編)	30	確認テスト(理論)
	11	納税義務の免除の特例⑤(初級編)		
	12	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①(初級編)		
	13	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②(初級編)		
	14	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目②(初級編)		
	15	課税標準①(初級編)		
	16	課税標準②(初級編)		
	17	簡易課税制度①(初級編)		
	18	簡易課税制度②(初級編)		
	19	簡易課税制度③(初級編)		
	20	簡易課税制度④(初級編)		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	相続税法応用 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な理論的思考も学習をし、理解を深める			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	相続税法・租税特別措置法についての知識を習得する（基礎）			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	契約者が取得したものとみなされる生命保険契約に関する権利(基礎)	21	相続税の外国税額控除(基礎)
	2	未成年者控除・障害者控除(重ね受け)(基礎)	22	贈与税の外国税額控除(基礎)
	3	相次相続控除(基礎)	23	確認テスト③(理論)
	4	増改築等があった場合(基礎)	24	養子の子の応用的な取扱い(基礎)
	5	結婚・子育て資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税(基礎)	25	農地等の相続税の納税猶予(基礎)
	6	確認テスト①(理論)	26	非上場株式の贈与税の納税猶予(基礎)
	7	無道路地(基礎)	27	非上場株式の相続税の納税猶予(基礎)
	8	定期借地権等(基礎)	28	個人の事業用資産の贈与税の納税猶予(基礎)
	9	定期借地権等の目的となっている宅地(貸宅地)(基礎)	29	個人の事業用資産の相続税の納税猶予(基礎)
	10	土砂災害特別警戒区域内にある宅地(基礎)	30	確認テスト④(理論)
	11	造成費相当額の算定(平坦地)(基礎)		
	12	公社債(基礎)		
	13	雇用主が保険料を負担している場合(基礎)		
	14	保険金の評価(基礎)		
	15	確認テスト②(理論)		
	16	定期金に関する権利(基礎)		
	17	保証期間付定期金に関する権利(基礎)		
	18	契約に基づかない定期金に関する権利(基礎)		
	19	財産の所在(基礎)		
	20	贈与税額控除(暦年)の基となる贈与税額(基礎)		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	相続税法総合 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1 年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	6 単位			
授業回数	9 0 回			
授業概要	相続税および贈与税の規定、申告について総合的に学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	相続税法総まとめ①(基礎編)	46	総合問題対策③(基礎編)
	2	相続税法総まとめ①(基礎編)	47	総合問題対策④(基礎編)
	3	相続税法総まとめ②(基礎編)	48	総合問題対策④(基礎編)
	4	相続税法総まとめ②(基礎編)	49	総合問題対策⑤(基礎編)
	5	相続税法総まとめ③(基礎編)	50	総合問題対策⑤(基礎編)
	6	相続税法総まとめ③(基礎編)	51	総合問題対策⑥(基礎編)
	7	相続税法総まとめ④(基礎編)	52	総合問題対策⑥(基礎編)
	8	相続税法総まとめ④(基礎編)	53	総合問題対策⑦(基礎編)
	9	相続税法総まとめ⑤(基礎編)	54	総合問題対策⑦(基礎編)
	10	相続税法総まとめ⑤(基礎編)	55	総合問題対策⑧(基礎編)
	11	相続税法総まとめ⑥(基礎編)	56	総合問題対策⑧(基礎編)
	12	相続税法総まとめ⑥(基礎編)	57	総合問題対策⑨(基礎編)
	13	相続税法総まとめ⑦(基礎編)	58	総合問題対策⑨(基礎編)
	14	相続税法総まとめ⑦(基礎編)	59	総合問題対策⑩(基礎編)
	15	相続税法総まとめ⑧(基礎編)	60	総合問題対策⑩(基礎編)
	16	相続税法総まとめ⑧(基礎編)	61	総合問題対策⑪(基礎編)
	17	相続税法総まとめ⑨(基礎編)	62	総合問題対策⑪(基礎編)
	18	相続税法総まとめ⑨(基礎編)	63	総合問題対策⑫(基礎編)
	19	相続税法総まとめ⑩(基礎編)	64	総合問題対策⑫(基礎編)
	20	相続税法総まとめ⑩(基礎編)	65	総合問題対策⑬(基礎編)
	21	相続税法総まとめ⑪(基礎編)	66	総合問題対策⑬(基礎編)
	22	相続税法総まとめ⑪(基礎編)	67	総合問題対策⑭(基礎編)
	23	相続税法総まとめ⑫(基礎編)	68	総合問題対策⑭(基礎編)
	24	相続税法総まとめ⑫(基礎編)	69	総合問題対策⑮(基礎編)
	25	相続税法総まとめ⑬(基礎編)	70	総合問題対策⑮(基礎編)
	26	相続税法総まとめ⑬(基礎編)	71	総合問題対策⑯(基礎編)
	27	相続税法総まとめ⑭(基礎編)	72	総合問題対策⑯(基礎編)
	28	相続税法総まとめ⑭(基礎編)	73	総合問題対策⑰(基礎編)
	29	相続税法総まとめ⑮(基礎編)	74	総合問題対策⑰(基礎編)
	30	相続税法総まとめ⑮(基礎編)	75	総合問題対策⑱(基礎編)
	31	相続税法総まとめ⑯(基礎編)	76	総合問題対策⑱(基礎編)
	32	相続税法総まとめ⑯(基礎編)	77	総合問題対策⑲(基礎編)
	33	相続税法総まとめ⑰(基礎編)	78	総合問題対策⑲(基礎編)
	34	相続税法総まとめ⑰(基礎編)	79	総合問題対策⑳(基礎編)
	35	相続税法総まとめ⑱(基礎編)	80	総合問題対策⑳(基礎編)
	36	相続税法総まとめ⑱(基礎編)	81	総合問題対策㉑(基礎編)
	37	相続税法総まとめ⑲(基礎編)	82	総合問題対策㉑(基礎編)
	38	相続税法総まとめ⑲(基礎編)	83	総合問題対策㉒(基礎編)
	39	相続税法総まとめ⑳(基礎編)	84	総合問題対策㉒(基礎編)
	40	相続税法総まとめ⑳(基礎編)	85	総合問題対策㉓(基礎編)
	41	総合問題対策①(基礎編)	86	総合問題対策㉓(基礎編)
	42	総合問題対策①(基礎編)	87	総合問題対策㉔(基礎編)
	43	総合問題対策②(基礎編)	88	総合問題対策㉔(基礎編)
	44	総合問題対策②(基礎編)	89	総合問題対策㉕(基礎編)
	45	総合問題対策③(基礎編)	90	総合問題対策㉕(基礎編)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続税法入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	相続税および贈与税の概要基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（基礎）	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	相続税法の概要(基礎)
	3	相続税法と民法(基礎)
	4	相続人、代襲相続(基礎)
	5	養子の子の取扱い(基礎)
	6	相続の承認と放棄(基礎)
	7	相続分(法定相続分、代襲相続分)(基礎)
	8	遺言による財産の取得(基礎)
	9	相続税の納税義務者(基礎)
	10	生命保険金等(基礎)
	11	相続税の非課税財産(基礎)
	12	相続税額の計算方法(基礎)
	13	生命保険金等の非課税金額(基礎)
	14	退職手当金等、退職手当金等の非課税金額(基礎)
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	相続税法基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な問題の理解			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	贈与税の概要(基礎)、贈与税の納税義務者(基礎)	31	小規模宅地等の減額①(基礎)
	2	弔慰金等(基礎)、債務控除(基礎)	32	小規模宅地等の減額②(基礎)
	3	相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算(基礎)	33	小規模宅地等の減額③(基礎)
	4	相続時精算課税適用財産(基礎)等	34	小規模宅地等の減額④(基礎)
	5	算出相続税額の計算(基礎)、相続税額の加算(基礎)	35	小規模宅地等の減額⑤(基礎)
	6	贈与税額控除(暦年)(基礎)、配偶者の税額軽減(基礎)	36	小規模宅地等の減額⑥(基礎)
	7	未成年者控除(基礎)、障害者控除(基礎)	37	確認テスト③(理論)
	8	確認テスト①(理論)	38	取引相場のない株式①(基礎)
	9	特定納税義務者(基礎)	39	取引相場のない株式②(基礎)
	10	特定納税義務者の債務控除(基礎)等	40	取引相場のない株式③(基礎)
	11	贈与税額控除(精算)(基礎)	41	取引相場のない株式④(基礎)
	12	自用地(評価方式・路線価方式・倍率方式)(基礎)	42	取引相場のない株式⑤(基礎)
	13	自用家屋(基礎)、家屋と構造上一体となっている設備(基礎)	43	取引相場のない株式⑥(基礎)
	14	特別養子制度(基礎)、生命保険契約に関する権利(基礎)	44	取引相場のない株式⑦(基礎)
	15	被保険者でない保険契約者が死亡した場合(基礎)	45	取引相場のない株式⑧(基礎)
	16	法定相続人の数(基礎)、本来の財産(基礎)	46	取引相場のない株式⑨(基礎)
	17	自用地(路線に2以上の路線価が付されている宅地)(基礎)	47	取引相場のない株式⑩(基礎)
	18	地区区分の異なる宅地(基礎)	48	取引相場のない株式⑪(基礎)
	19	側方路線等に宅地の一部が接している場合(基礎)	49	取引相場のない株式⑫(基礎)
	20	普通借地権(自用借地権)(基礎)、貸宅地(基礎)等	50	取引相場のない株式⑬(基礎)
	21	貸家建付借地権(基礎)、貸家(基礎)	51	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等(基礎)
	22	一般動産(基礎)、たな卸商品等(基礎)	52	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地(基礎)
	23	書画骨とう品(基礎)、預貯金(基礎)	53	相当の地代を支払っている場合の借地権(基礎)
	24	上場株式(基礎)、構築物(基礎)	54	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地(基礎)
	25	貸付金債権等(基礎)、受取手形等(基礎)	55	利用区分が異なる建物(基礎)、建築中の家屋(基礎)
	26	間口が狭小な宅地等(基礎)、角切り宅地の間口距離(基礎)	56	不整形地(基礎)、地積規模の大きな宅地(基礎)
	27	確認テスト②(理論)	57	がけ地等を有する宅地(基礎)、旗竿状の宅地等(基礎)
	28	使用貸借により借り受けた宅地等(基礎)	58	容積率の異なる宅地(基礎)
	29	使用貸借により貸し付けられた宅地等(基礎)	59	都市計画道路予定地の区域内にある宅地(基礎)
	30	使用貸借により貸し付けられた家屋(基礎)	60	確認テスト④(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続税法基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な知識を網羅し文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	私道の用に供されている宅地(基礎)等(基礎)①
	2	私道の用に供されている宅地(基礎)等(基礎)②
	3	私道の用に供されている宅地(基礎)等(基礎)③
	4	上場株式(権利落等)、株式の割り当てを受ける権利(基礎)①
	5	上場株式(権利落等)、株式の割り当てを受ける権利(基礎)②
	6	宅地等の評価単位(基礎)等(基礎)①
	7	宅地等の評価単位(基礎)等(基礎)②
	8	純農地、中間農地、純山林、中間山林(基礎)①
	9	純農地、中間農地、純山林、中間山林(基礎)②
	10	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林(基礎)①
	11	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林(基礎)②
	12	立木、立木の評価減(基礎)、配当期待権(基礎)①
	13	立木、立木の評価減(基礎)、配当期待権(基礎)②
	14	贈与税が課税される場合(基礎)等①
	15	贈与税が課税される場合(基礎)等(基礎)②
	16	負担付遺贈・贈与(基礎)、贈与税の非課税財産(基礎)①
	17	負担付遺贈・贈与(基礎)、贈与税の非課税財産(基礎)②
	18	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税(基礎)①
	19	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税(基礎)②
	20	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例(基礎)①
	21	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例(基礎)②
	22	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税(基礎)①
	23	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税(基礎)②
	24	証券投資信託受益証券(基礎)、ゴルフ会員権(基礎)①
	25	証券投資信託受益証券(基礎)、ゴルフ会員権(基礎)②
	26	不動産投資信託証券(基礎)、措法70の非課税(基礎)①
	27	不動産投資信託証券(基礎)、措法70の非課税(基礎)②
	28	権利義務の承継(基礎)、贈与税の配偶者控除(基礎)①
	29	権利義務の承継(基礎)、贈与税の配偶者控除(基礎)②
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法応用 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	連結納税制度等の特殊項目の学習を進める。			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	連結納税制度等の制度を学び、初級問題の解法を習得する。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	連結納税制度1(初級)	21	試験研究費の特別控除1(初級)
	2	連結納税制度2(初級)	22	試験研究費の特別控除2(初級)
	3	連結納税制度3(初級)	23	試験研究費の特別控除3(初級)
	4	連結納税制度4(初級)	24	試験研究費の特別控除4(初級)
	5	連結納税制度5(初級)	25	資産除去債務1(初級)
	6	連結納税制度6(初級)	26	資産除去債務2(初級)
	7	連結納税制度7(初級)	27	資産除去債務3(初級)
	8	連結納税制度8(初級)	28	解散税制1(初級)
	9	連結納税制度9(初級)	29	解散税制2(初級)
	10	連結納税制度10(初級)	30	確認テスト(理論)
	11	連結納税制度11(初級)		
	12	連結納税制度12(初級)		
	13	連結納税制度13(初級)		
	14	連結納税制度14(初級)		
	15	連結納税制度15(初級)		
	16	連結納税制度16(初級)		
	17	連結納税制度17(初級)		
	18	連結納税制度18(初級)		
	19	連結納税制度19(初級)		
	20	連結納税制度20(初級)		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法総合 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	6単位			
授業回数	90回			
授業概要	法人税法の計算体系の知識習得を目的とする。			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総合問題対策1(初級)	46	総合問題対策46(初級)
	2	総合問題対策2(初級)	47	総合問題対策47(初級)
	3	総合問題対策3(初級)	48	総合問題対策48(初級)
	4	総合問題対策4(初級)	49	総合問題対策49(初級)
	5	総合問題対策5(初級)	50	総合問題対策50(初級)
	6	総合問題対策6(初級)	51	総合問題対策51(初級)
	7	総合問題対策7(初級)	52	総合問題対策52(初級)
	8	総合問題対策8(初級)	53	総合問題対策53(初級)
	9	総合問題対策9(初級)	54	総合問題対策54(初級)
	10	総合問題対策10(初級)	55	総合問題対策55(初級)
	11	総合問題対策11(初級)	56	総合問題対策56(初級)
	12	総合問題対策12(初級)	57	総合問題対策57(初級)
	13	総合問題対策13(初級)	58	総合問題対策58(初級)
	14	総合問題対策14(初級)	59	総合問題対策59(初級)
	15	総合問題対策15(初級)	60	総合問題対策60(初級)
	16	総合問題対策16(初級)	61	総合問題対策61(初級)
	17	総合問題対策17(初級)	62	総合問題対策62(初級)
	18	総合問題対策18(初級)	63	総合問題対策63(初級)
	19	総合問題対策19(初級)	64	総合問題対策64(初級)
	20	総合問題対策20(初級)	65	総合問題対策65(初級)
	21	総合問題対策21(初級)	66	総合問題対策66(初級)
	22	総合問題対策22(初級)	67	総合問題対策67(初級)
	23	総合問題対策23(初級)	68	総合問題対策68(初級)
	24	総合問題対策24(初級)	69	総合問題対策69(初級)
	25	総合問題対策25(初級)	70	総合問題対策70(初級)
	26	総合問題対策26(初級)	71	総合問題演習1(初級:計算)
	27	総合問題対策27(初級)	72	総合問題演習1(初級:理論)
	28	総合問題対策28(初級)	73	総合問題演習2(初級:計算)
	29	総合問題対策29(初級)	74	総合問題演習2(初級:理論)
	30	総合問題対策30(初級)	75	総合問題演習3(初級:計算)
	31	総合問題対策31(初級)	76	総合問題演習3(初級:理論)
	32	総合問題対策32(初級)	77	総合問題演習4(初級:計算)
	33	総合問題対策33(初級)	78	総合問題演習4(初級:理論)
	34	総合問題対策34(初級)	79	総合問題演習5(初級:計算)
	35	総合問題対策35(初級)	80	総合問題演習5(初級:理論)
	36	総合問題対策36(初級)	81	総合問題演習6(初級:計算)
	37	総合問題対策37(初級)	82	総合問題演習6(初級:理論)
	38	総合問題対策38(初級)	83	総合問題演習7(初級:計算)
	39	総合問題対策39(初級)	84	総合問題演習7(初級:理論)
	40	総合問題対策40(初級)	85	総合問題演習8(初級:計算)
	41	総合問題対策41(初級)	86	総合問題演習8(初級:理論)
	42	総合問題対策42(初級)	87	総合問題演習9(初級:計算)
	43	総合問題対策43(初級)	88	総合問題演習9(初級:理論)
	44	総合問題対策44(初級)	89	総合問題演習10(初級:計算)
	45	総合問題対策45(初級)	90	総合問題演習10(初級:理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	基本的な部分の学習を行い、中級問題の解法を習得する。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス(中級)
	2	納税義務者(中級)
	3	課税所得の範囲(中級)
	4	交際費等の損金不算入Ⅰ(中級)
	5	減価償却Ⅰ(中級)
	6	減価償却Ⅱ(中級)
	7	減価償却Ⅲ(中級)
	8	受取配当等の益金不算入Ⅰ(中級)
	9	寄附金の損金不算入Ⅰ(中級)
	10	租税公課等(中級)
	11	納税充当金Ⅰ(中級)
	12	納税充当金Ⅱ(中級)
	13	別表四の作成(中級)
	14	事業年度(中級)
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	欠損金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ。			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	貸倒損失Ⅰ（基礎）	31	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ（基礎）
	2	貸倒損失Ⅱ（基礎）	32	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ（基礎）
	3	貸倒引当金Ⅰ（基礎）	33	みなし配当金Ⅰ（基礎）
	4	貸倒引当金Ⅱ（基礎）	34	みなし配当金Ⅱ（基礎）
	5	欠損金Ⅰ（基礎）	35	資本等取引Ⅰ（基礎）
	6	欠損金Ⅱ（基礎）	36	資本等取引Ⅱ（基礎）
	7	外貨建取引Ⅰ（基礎）	37	交換差益Ⅰ（基礎）
	8	外貨建取引Ⅱ（基礎）	38	交換差益Ⅱ（基礎）
	9	有価証券Ⅰ（基礎）	39	交換差益Ⅲ（基礎）
	10	有価証券Ⅱ（基礎）	40	別表五(二)Ⅰ（基礎）
	11	収用等Ⅰ（基礎）	41	別表五(二)Ⅱ（基礎）
	12	収用等Ⅱ（基礎）	42	別表五(二)Ⅲ（基礎）
	13	所得税額控除Ⅰ（基礎）	43	別表五(二)Ⅳ（基礎）
	14	所得税額控除Ⅱ（基礎）	44	リース取引Ⅰ（基礎）
	15	国庫補助金等Ⅰ（基礎）	45	リース取引Ⅱ（基礎）
	16	国庫補助金等Ⅱ（基礎）	46	リース取引Ⅲ（基礎）
	17	別表五(一)の作成Ⅰ（基礎）	47	リース取引Ⅳ（基礎）
	18	別表五(一)の作成Ⅱ（基礎）	48	繰延資産Ⅰ（基礎）
	19	圧縮記帳Ⅰ（基礎）	49	繰延資産Ⅱ（基礎）
	20	圧縮記帳Ⅱ（基礎）	50	繰延資産Ⅲ（基礎）
	21	役員判定Ⅰ（基礎）	51	繰延資産Ⅳ（基礎）
	22	役員判定Ⅱ（基礎）	52	確定決算型Ⅰ（基礎）
	23	役員給与Ⅰ（基礎）	53	確定決算型Ⅱ（基礎）
	24	役員給与Ⅱ（基礎）	54	確定決算型Ⅲ（基礎）
	25	使用人給与Ⅰ（基礎）	55	確定決算型Ⅳ（基礎）
	26	使用人給与Ⅱ（基礎）	56	グループ法人税制Ⅰ（基礎）
	27	特定資産の買換えⅠ（基礎）	57	グループ法人税制Ⅱ（基礎）
	28	特定資産の買換えⅡ（基礎）	58	資産の評価損益（基礎）
	29	外国税額控除Ⅰ（基礎）	59	保険料（基礎）
	30	外国税額控除Ⅱ（基礎）	60	確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	組織再編税制を中心とした法人税法の体系を学ぶ。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	各項目の応用的な部分を学び、各体系の解法を習得する。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	設立事業年度(応用)①
	2	設立事業年度(応用)②
	3	設立事業年度(応用)③
	4	組織再編税制(応用)①
	5	組織再編税制(応用)②
	6	工事の請負(応用)①
	7	工事の請負(応用)②
	8	修正申告(応用)①
	9	修正申告(応用)②
	10	税効果会計(応用)①
	11	税効果会計(応用)②
	12	賃上げ・投資促進税制(応用)①
	13	賃上げ・投資促進税制(応用)②
	14	スピノフ税制(応用)①
	15	スピノフ税制(応用)②
	16	特定同族会社の特別税率(応用)①
	17	特定同族会社の特別税率(応用)②
	18	適用除外事業者(応用)①
	19	適用除外事業者(応用)②
	20	地方法人税(応用)①
	21	地方法人税(応用)②
	22	外国子会社配当(応用)①
	23	外国子会社配当(応用)②
	24	借地権等(応用)①
	25	借地権等(応用)②
	26	償還差損益(応用)①
	27	償還差損益(応用)②
	28	未収還付税金(応用)①
	29	未収還付税金(応用)②
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	国税徴収法総合 I			
実務家教員	○			
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	納税の猶予を中心とした国税通則法の規定を学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める			
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例(初級)	31	総合理論対策1(初級)
	2	交付要求及び督促時効(初級)	32	総合理論対策2(初級)
	3	参加差押え(初級)	33	総合理論対策3(初級)
	4	国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係(初級)	34	総合理論対策4(初級)
	5	換価配当(初級)	35	総合理論対策5(初級)
	6	担保のための仮登記(初級)	36	総合理論対策6(初級)
	7	物上代位権との調整(初級)	37	総合理論対策7(初級)
	8	納期限未到来の納税の猶予(初級)	38	総合理論対策8(初級)
	9	災害等による一般の納税の猶予(初級)	39	総合理論対策9(初級)
	10	換価の猶予(初級)	40	総合問題演習1(初級)
	11	確定手続が遅延した場合の納税の猶予(初級)	41	総合問題演習1(初級)
	12	納税の猶予の効果、取消、短縮(初級)	42	総合問題演習2(初級)
	13	納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税(初級)	43	総合問題演習2(初級)
	14	保証人に対する滞納処分(法定納期限等)(初級)	44	総合問題演習3(初級)
	15	国税の担保(初級)	45	総合問題演習3(初級)
	16	差押効力(果実・保険金)、滞納処分の引継(初級)		
	17	保全措置(初級)		
	18	滞納処分の停止(初級)		
	19	納付委託・弁済委託(初級)		
	20	第二次納税義務(通則)(初級)		
	21	第二次納税義務(人的限度)(初級)		
	22	第二次納税義務(物的限度)(初級)		
	23	不服申立(初級)		
	24	滞納処分費(初級)		
	25	納付義務の承継(初級)		
	26	質権及び抵当権の優先額の限度(初級)		
	27	増額登記(初級)		
	28	質権の証明と優先権行使の否認(初級)		
	29	国税徴収法第26条準用(初級)		
	30	差押禁止財産(給料等の差押禁止額の計算)(初級)		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	国税徴収法速習基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	各種財産の差押え方法を中心とした税法理論を学ぶ。			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、中級問題を読解できるようにする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	国税徴収法の目的(中級)	21	動産又は有価証券の差押え(中級)
	2	納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで(中級)	22	第三者が占有する動産等の差押手続(中級)
	3	強制換価手続(中級)	23	引渡命令を受けた第三者等の権利の保護(中級)
	4	担保の種類(中級)	24	国税徴収法第26条の計算(中級)
	5	滞納処分の概要(中級)	25	債権の差押え(中級)
	6	国税に優先する権利(中級)	26	不動産等の差押え(中級)
	7	国税相互間の優先関係(中級)	27	第三債務者等がない無体財産権等の差押え(中級)
	8	財産の調査(中級)	28	第三債務者等がある無体財産権等の差押え(中級)
	9	最優先される被担保債権(中級)	29	国税徴収法第24条(譲渡担保)(中級)
	10	法定納期限等(期限内申告に係る国税)(中級)	30	確認テスト(中級)
	11	法定納期限等以前の抵当権及び質権(中級)		
	12	不動産賃貸の先取特権等(中級)		
	13	法定納期限等(期限後・修正・更正・決定等)(中級)		
	14	譲受前にある担保権(中級)		
	15	担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収(中級)		
	16	差押の制限等、解除(中級)		
	17	差押の共通手続(中級)		
	18	第三者からの差押換え(中級)		
	19	差押換え(換価申立ての細部)(中級)		
	20	相続人からの差押換え(中級)		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	国税徴収法速習総合Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	国税徴収法24条と26条の関係性を中心とした租税理論を学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、幅広い知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で応用問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例(応用)	31	総合理論対策1(応用)
	2	交付要求及び督促時効(応用)	32	総合理論対策2(応用)
	3	参加差押え(応用)	33	総合理論対策3(応用)
	4	国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係(応用)	34	総合理論対策4(応用)
	5	換価配当(応用)	35	総合理論対策5(応用)
	6	担保のための仮登記(応用)	36	総合理論対策6(応用)
	7	物上代位権との調整(応用)	37	総合理論対策7(応用)
	8	納期限未到来の納税の猶予(応用)	38	総合理論対策8(応用)
	9	災害等による一般の納税の猶予(応用)	39	総合理論対策9(応用)
	10	換価の猶予(応用)	40	総合問題演習1(応用)
	11	確定手続が遅延した場合の納税の猶予(応用)	41	総合問題演習1(応用)
	12	納税の猶予の効果、取消、短縮(応用)	42	総合問題演習2(応用)
	13	納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税(応用)	43	総合問題演習2(応用)
	14	保証人に対する滞納処分(法定納期限等)(応用)	44	総合問題演習3(応用)
	15	国税の担保(応用)	45	総合問題演習3(応用)
	16	差押効力(果実・保険金)、滞納処分の引継(応用)		
	17	保全措置(応用)		
	18	滞納処分の停止(応用)		
	19	納付委託・弁済委託(応用)		
	20	第二次納税義務(通則)(応用)		
	21	第二次納税義務(人的限度)(応用)		
	22	第二次納税義務(物的限度)(応用)		
	23	不服申立(応用)		
	24	滞納処分費(応用)		
	25	納付義務の承継(応用)		
	26	質権及び抵当権の優先額の限度(応用)		
	27	増額登記(応用)		
	28	質権の証明と優先権行使の否認(応用)		
	29	国税徴収法第26条準用(応用)		
	30	差押禁止財産(給料等の差押禁止額の計算)(応用)		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	国税徴収法基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	滞納者の財産の調査方法を中心とした税法理論を学ぶ。			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、基礎問題を読解できるようにする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	国税徴収法の目的(基礎)	21	動産又は有価証券の差押え(基礎)
	2	納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分(基礎)	22	第三者が占有する動産等の差押手続(基礎)
	3	強制換価手続(基礎)	23	引渡命令を受けた第三者等の権利の保護(基礎)
	4	担保の種類(基礎)	24	国税徴収法第26条の計算(基礎)
	5	滞納処分の概要(基礎)	25	債権の差押え(基礎)
	6	国税に優先する権利(基礎)	26	不動産等の差押え(基礎)
	7	国税相互間の優先関係(基礎)	27	第三債務者等がない無体財産権等の差押え(基礎)
	8	財産の調査(基礎)	28	第三債務者等がある無体財産権等の差押え(基礎)
	9	最優先される被担保債権(基礎)	29	国税徴収法第24条(譲渡担保)(基礎)
	10	法定納期限等(期限内申告に係る国税)(基礎)	30	確認テスト(基礎)
	11	法定納期限等以前の抵当権及び質権(基礎)		
	12	不動産賃貸の先取特権等(基礎)		
	13	法定納期限等(期限後・修正・更正・決定等)(基礎)		
	14	譲受前にある担保権(基礎)		
	15	担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収(基礎)		
	16	差押の制限等、解除(基礎)		
	17	差押の共通手続(基礎)		
	18	第三者からの差押換え(基礎)		
	19	差押換え(換価申立ての細部)(基礎)		
	20	相続人からの差押換え(基礎)		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論基礎演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	監査制度に関する個別的な論点を基本的な記述式問題を通じて定着させることを図る	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（初級編）①
	2	記述式基礎問題（初級編）②
	3	記述式基礎問題（初級編）③
	4	記述式基礎問題（初級編）④
	5	記述式基礎問題（初級編）⑤
	6	記述式基礎問題（初級編）⑥
	7	記述式基礎問題（初級編）⑦
	8	記述式基礎問題（初級編）⑧
	9	記述式基礎問題（初級編）⑨
	10	記述式基礎問題（初級編）⑩
	11	記述式基礎問題（初級編）⑪
	12	記述式基礎問題（初級編）⑫
	13	記述式基礎問題（初級編）⑬
	14	記述式基礎問題（初級編）⑭
	15	記述式基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論入門 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な枠組みを学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	監査とは
	2	監査の分類
	3	公認会計士の監査領域
	4	財務諸表の監査の必要性
	5	財務諸表の監査の機能
	6	監査の固有の限界
	7	二重責任の原則
	8	財務諸表の作成責任
	9	財務諸表の作成基準
	10	監査人
	11	監査業務の一年の流れ
	12	財務諸表の適正性の立証プロセス、監査証拠
	13	監査手続き（監査技術）
	14	リスク・アプローチ
	15	リスク評価手続及び評価したリスクに対応する手続
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	監査手続きに関して、監査実施論に対する基礎的な枠組みを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	IT（情報技術）
	2	監査契約に係る予備的な活動
	3	監査計画
	4	監査証拠の入手方法
	5	監査上の重要性
	6	特別な検討を必要とするリスク
	7	関連当事者との関係及び取引
	8	会計上の見積り
	9	財務諸表監査における不正の検討
	10	監査における不正リスク対応基準
	11	財務諸表監査における法令の検討
	12	グループ監査
	13	内部監査の利用
	14	専門家の業務の利用
	15	監査証拠の十分性と適切性の評価
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な枠組みを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	監査の品質管理
	2	監査人の交代（監査事務所間の交代）
	3	監査役等とのコミュニケーション
	4	内部統制の不備に関するコミュニケーション
	5	監査調書
	6	監査意見の内容
	7	財務諸表の適正性
	8	監査報告書
	9	無限定適正意見の場合
	10	除外事項付意見の場合
	11	個別財務諸表の監査意見と連結財務諸表の監査意見
	12	追記情報の意義
	13	追記情報と保証機能
	14	比較情報
	15	監査上の主要な検討事項
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論基礎演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	計算問題と記述式問題を織り交ぜながら、管理会計の基礎知識を定着させることを図る	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（初級編）①
	2	記述式基礎問題（初級編）②
	3	記述式基礎問題（初級編）③
	4	記述式基礎問題（初級編）④
	5	記述式基礎問題（初級編）⑤
	6	記述式基礎問題（初級編）⑥
	7	記述式基礎問題（初級編）⑦
	8	記述式基礎問題（初級編）⑧
	9	記述式基礎問題（初級編）⑨
	10	記述式基礎問題（初級編）⑩
	11	記述式基礎問題（初級編）⑪
	12	記述式基礎問題（初級編）⑫
	13	記述式基礎問題（初級編）⑬
	14	記述式基礎問題（初級編）⑭
	15	記述式基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論入門 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	管理会計の概要を知り、基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	管理会計の概要を知り、基礎を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	管理会計論総論
	2	管理会計論の範囲
	3	原価計算の本質・意義
	4	原価計算の基本思考
	5	原価計算の目的
	6	費目別計算総論
	7	原価の分類
	8	材料費の計算
	9	材料費の分類
	10	労務費の計算
	11	労務費の計算
	12	経費の計算
	13	経費の分類
	14	製造間接費の計算
	15	製造間接費と配賦計算
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）
特記	
授業計画	1 配賦基準
	2 製造間接費の実際配賦
	3 製造間接費の予定配賦
	4 製造間接費予算
	5 配賦差異の算定
	6 固定予算
	7 公式法変動予算
	8 実査法変動予算
	9 部門別計算の意義・目的
	10 原価部門の設定
	11 実際配賦（第1次集計）
	12 実際配賦（第2次集計）
	13 実際配賦（第3次集計）
	14 予定配賦
	15 予定配賦率の算定・予定配賦額の算定
	16 製造部門費配賦差異の算定
	17 補助部門費の配賦
	18 配賦基準（単一基準配賦法）
	19 配賦基準（複数基準配賦法）
	20 配賦金額（実際発生額）
	21 配賦金額（予定配賦額）
	22 配賦金額（予算許容額）
	23 個別原価計算総論
	24 製造指図書と原価計算表
	25 完成品原価と月末仕掛品原価の区分
	26 単純個別原価計算
	27 ロット別個別原価計算
	28 部門別個別原価計算の意義
	29 個別原価計算における仕損の処理①
	30 個別原価計算における仕損の処理②
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	択一式の問題演習を通して、計算力の向上や原価計算基準を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	択一式の問題演習を通して、計算力の向上や原価計算基準を習得する
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）
特記	
授業計画	1 総合原価計算総論
	2 総合原価計算
	3 直接材料費と加工費
	4 仕掛品の完成品換算
	5 総合原価計算の種類
	6 単純総合原価計算（単純総合原価計算の意義）
	7 単純総合原価計算（月末仕掛費の評価方法）
	8 単純総合原価計算（正常仕損・正常減損の処理）
	9 単純総合原価計算（副産物・作業屑の処理）
	10 単純総合原価計算（異常仕損（減損）の処理）
	11 工程別総合原価計算の処理
	12 工程別計算の計算手順（累加法）
	13 工程別計算の計算手順（通常計算方式の非累加法）
	14 予定振替原価の利用
	15 追加原材料の意義
	16 追加原材料（増量しない場合）
	17 組別総合原価計算の意義
	18 組別総合原価計算の手続
	19 等級別総合原価計算の意義
	20 完成品原価按分法（単純総合原価計算に近い方法）
	21 当月製造費用按分法（組別総合原価計算に近い方法）
	22 連産品
	23 連結原価（結合原価）の按分
	24 連産品を副産物とみなす場合の計算
	25 連結原価（結合原価）を按分する理由
	26 授業内演習①
	27 授業内演習②
	28 授業内演習③
	29 授業内演習④
	30 授業内演習⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論入門演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	問題演習を行うことで、原価計算制度の基礎知識を定着させることを図る	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	計算基礎問題（初級編）①
	2	計算基礎問題（初級編）②
	3	計算基礎問題（初級編）③
	4	計算基礎問題（初級編）④
	5	計算基礎問題（初級編）⑤
	6	計算基礎問題（初級編）⑥
	7	計算基礎問題（初級編）⑦
	8	計算基礎問題（初級編）⑧
	9	計算基礎問題（初級編）⑨
	10	計算基礎問題（初級編）⑩
	11	計算基礎問題（初級編）⑪
	12	計算基礎問題（初級編）⑫
	13	計算基礎問題（初級編）⑬
	14	計算基礎問題（初級編）⑭
	15	計算基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法基礎演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	簡易的な記述式問題により会社法に関する正確な知識のインプットを図る演習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（初級編）①
	2	記述式基礎問題（初級編）②
	3	記述式基礎問題（初級編）③
	4	記述式基礎問題（初級編）④
	5	記述式基礎問題（初級編）⑤
	6	記述式基礎問題（初級編）⑥
	7	記述式基礎問題（初級編）⑦
	8	記述式基礎問題（初級編）⑧
	9	記述式基礎問題（初級編）⑨
	10	記述式基礎問題（初級編）⑩
	11	記述式基礎問題（初級編）⑪
	12	記述式基礎問題（初級編）⑫
	13	記述式基礎問題（初級編）⑬
	14	記述式基礎問題（初級編）⑭
	15	記述式基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法入門 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、会社の設立を中心とした基礎的な概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、会社の設立に関する考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	個人企業と共同作業
	2	会社の概念
	3	法人性に関する諸問題
	4	4種類の会社
	5	株式会社の分類
	6	株式会社の本質的特徴
	7	株主有限責任の原則から導かれる資本制度
	8	本質的特徴から導かれる重要な制度
	9	会社設立に関する立法主義
	10	株式会社の設立手続きの流れ
	11	株式会社の設立の方法
	12	発起人の意義
	13	発起人の資格
	14	発起人の数
	15	定款の意義
	16	定款の作成
	17	定款の記載・記録事項
	18	定款の備置き、閲覧・謄写
	19	発起設立
	20	募集設立
	21	設立登記の手続き
	22	設立登記の効力
	23	変態設立事項に関する規制（規制の概要）
	24	変態設立事項に関する規制（現物出資）
	25	変態設立事項に関する規制（財産引受け）
	26	変態設立事項に関する規制（発起人の報酬）
	27	変態設立事項に関する規制（設立費用）
	28	設立無効の意義
	29	設立無効原因
	30	設立無効の訴えの制度
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式を中心とした基礎的な概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式に関する考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	株式の意義等
	2	株主の権利・義務
	3	株主平等原則
	4	株式の譲渡
	5	自己株式の取得・処分等の制限
	6	子会社による親会社株式の取得
	7	株券
	8	株主名簿
	9	株式担保
	10	株式振替制度
	11	株式併合・株式分割・株式無償割当て・株式の消却
	12	端数の処理
	13	単元株制度
	14	株主等売渡請求の概要
	15	株主等売渡請求の手続き
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式会社の機関設計や資金調達を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式会社の機関設計や資金調達に関する考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）
特記	
授業計画	1 総説一株式会社の機関設計
	2 公開会社の機関構造の特色
	3 株主総会
	4 取締役
	5 善管注意義務と忠実義務
	6 競業避止義務
	7 利益相反取引
	8 取締役の責任
	9 取締役の第三者に対する責任
	10 取締役会の意義・設置
	11 取締役会の権限
	12 代表取締役
	13 監査役
	14 監査役会
	15 会計参与
	16 会計監査人
	17 指名委員会等設置会社
	18 監査等委員会設置会社
	19 募集株式の発行等
	20 募集事項の決定
	21 募集事項の決定
	22 出資の履行等
	23 募集株式の発行等の効力発生等
	24 新株予約権
	25 社債の意義
	26 社債と株式の異同
	27 社債の発行
	28 社債の管理
	29 社債の譲渡
	30 利息の支払・償還
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論基礎演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（初級編）①
	2	記述式基礎問題（初級編）②
	3	記述式基礎問題（初級編）③
	4	記述式基礎問題（初級編）④
	5	記述式基礎問題（初級編）⑤
	6	記述式基礎問題（初級編）⑥
	7	記述式基礎問題（初級編）⑦
	8	記述式基礎問題（初級編）⑧
	9	記述式基礎問題（初級編）⑨
	10	記述式基礎問題（初級編）⑩
	11	記述式基礎問題（初級編）⑪
	12	記述式基礎問題（初級編）⑫
	13	記述式基礎問題（初級編）⑬
	14	記述式基礎問題（初級編）⑭
	15	記述式基礎問題（初級編）⑮
	16	記述式基礎問題（初級編）⑯
	17	記述式基礎問題（初級編）⑰
	18	記述式基礎問題（初級編）⑱
	19	記述式基礎問題（初級編）⑲
	20	記述式基礎問題（初級編）⑳
	21	記述式基礎問題（初級編）㉑
	22	記述式基礎問題（初級編）㉒
	23	記述式基礎問題（初級編）㉓
	24	記述式基礎問題（初級編）㉔
	25	記述式基礎問題（初級編）㉕
	26	記述式基礎問題（初級編）㉖
	27	記述式基礎問題（初級編）㉗
	28	記述式基礎問題（初級編）㉘
	29	記述式基礎問題（初級編）㉙
	30	記述式基礎問題（初級編）㉚
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論財表入門 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	財務会計の基礎概念を体系的に学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	会社法会計、金融商品取引法会計の始祖知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	会計の意義
	2	資本循環と財務諸表
	3	財務会計と管理会計
	4	会計責任説と利害調整機能
	5	意思決定有用性説と情報提供機能
	6	利益の性格と財務会計の機能
	7	会社法会計
	8	金融商品取引法会計
	9	単体開示の簡素化
	10	企業会計原則
	11	企業会計基準
	12	会計基準の国際的コンバージェンス
	13	指定国際会計基準および修正国際基準の取扱い
	14	米国基準の任意適用
	15	原則主義と細則主義
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論財表入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	概念フレームワーク及び資産評価の基礎概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	概念フレームワークの体系的な理解及び資産評価の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	会計基準を設定するアプローチ
	2	概念フレームワークの公表
	3	財務報告の目的
	4	会計情報の質的特性
	5	財務諸表の構成要素
	6	財務諸表における認識と測定
	7	実現主義
	8	発生主義
	9	費用収益対応の原則
	10	収支額基準
	11	実現可能性基準
	12	原価主義
	13	時価主義
	14	割引原価主義
	15	費用配分の原則
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	商品売買及び棚卸資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	商品売買及び棚卸資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	商品売買総論①
	2	商品売買総論②
	3	商品売買の記帳方法①
	4	商品売買の記帳方法②
	5	商品有高帳の記帳①
	6	商品有高帳の記帳②
	7	返品・値引・割戻の処理①
	8	返品・値引・割戻の処理②
	9	割引の処理①
	10	割引の処理②
	11	原価率等①
	12	原価率等②
	13	仕入諸掛り・販売諸掛りの処理①
	14	仕入諸掛り・販売諸掛りの処理②
	15	他勘定振替高①
	16	他勘定振替高②
	17	棚卸資産の範囲①
	18	棚卸資産の範囲②
	19	棚卸資産の期末評価①
	20	棚卸資産の期末評価②
	21	棚卸減耗損①
	22	棚卸減耗損②
	23	商品評価損①
	24	商品評価損②
	25	売価還元法①
	26	売価還元法②
	27	トレーディング目的で保有する棚卸資産①
	28	トレーディング目的で保有する棚卸資産②
	29	巻末総合問題演習①
	30	巻末総合問題演習②
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知識の習得する
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）
特記	
授業計画	1 現金
	2 当座預金
	3 割引現在価値の概要
	4 現価係数
	5 年金現価係数
	6 売掛金・買掛金
	7 その他の債権・債務
	8 前払費用
	9 未払費用
	10 前受収益
	11 未収収益
	12 手形総論
	13 約束手形
	14 為替手形と偶発債務
	15 手形の裏書譲渡
	16 手形の割引
	17 不渡手形
	18 手形の更改
	19 営業外手形
	20 金融手形（手形借入金・手形貸付金）
	21 売上債権に含まれる金利部分の会計処理
	22 貸倒損失
	23 貸倒引当金の設定
	24 貸倒れの処理と貸倒引当金の取崩し
	25 貸倒れ処理済債権の回収
	26 手形の裏書譲渡・割引と貸倒引当金戻入
	27 相殺適状
	28 貸倒見積高の算定（一般債権）
	29 貸倒見積高の算定（貸倒懸念債権）
	30 貸倒見積高の算定（破産更生債権等）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	基礎知識の定着度確認を目的とする演習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	基礎演習①
	2	基礎演習②
	3	基礎演習③
	4	個別基礎問題（初級編）①
	5	個別基礎問題（初級編）②
	6	個別基礎問題（初級編）③
	7	個別基礎問題（初級編）④
	8	個別基礎問題（初級編）⑤
	9	個別基礎問題（初級編）⑥
	10	個別基礎問題（初級編）⑦
	11	個別基礎問題（初級編）⑧
	12	個別基礎問題（初級編）⑨
	13	個別基礎問題（初級編）⑩
	14	個別基礎問題（初級編）⑪
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位数	3単位
授業回数	45回
授業概要	有価証券及び有形固定資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	有価証券及び有形固定資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）
特記	
授業計画	1 有価証券総論
	2 株式に係る期中処理
	3 公社債に係る期中処理
	4 有価証券の分類と評価
	5 親会社株式
	6 約定日基準
	7 修正受渡日基準
	8 デリバティブ取引の概要
	9 先物取引
	10 オプション取引
	11 スワップ取引
	12 ヘッジ会計の概要
	13 繰延ヘッジ
	14 時価ヘッジ
	15 債権譲渡
	16 ローン・パーティシペーション
	17 デット・アサンプション
	18 デット・エクイティ・スワップ
	19 ゴルフ会員権
	20 有形固定資産総論
	21 取得原価の決定（購入）
	22 取得原価の決定（時価建設）
	23 取得原価の決定（現物出資）
	24 取得原価の決定（交換）
	25 取得原価の決定（贈与）
	26 減価償却の概要
	27 減価償却（定額法）
	28 減価償却（旧定率法）
	29 減価償却（200%定率法）
	30 減価償却（250%定額法）
	31 減価償却（級数法）
	32 減価償却（生産高比例法）
	33 資本的支出と収益的支出
	34 総合償却
	35 売却
	36 除却
	37 下取り買替え
	38 圧縮記帳（直接減額方式）
	39 臨時損失
	40 保険差益
	41 特別目的会社を活用した不動産の流動化
	42 巻末総合問題演習①
	43 巻末総合問題演習②
	44 巻末総合問題演習③
	45 巻末総合問題演習④
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算基礎問題（初級編）①
	2	計算基礎問題（初級編）②
	3	計算基礎問題（初級編）③
	4	計算基礎問題（初級編）④
	5	計算基礎問題（初級編）⑤
	6	計算基礎問題（初級編）⑥
	7	計算基礎問題（初級編）⑦
	8	計算基礎問題（初級編）⑧
	9	計算基礎問題（初級編）⑨
	10	計算基礎問題（初級編）⑩
	11	計算基礎問題（初級編）⑪
	12	計算基礎問題（初級編）⑫
	13	計算基礎問題（初級編）⑬
	14	計算基礎問題（初級編）⑭
	15	計算基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	短答式対策入門総合 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	模擬試験形式による効果測定	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	財務会計（計算） 択一式応用問題（初級編）①
	2	財務会計（理論） 択一式応用問題（初級編）①
	3	管理会計 択一式応用問題（初級編）①
	4	企業法 択一式応用問題（初級編）①
	5	監査論 択一式応用問題（初級編）①
	6	財務会計（計算） 択一式応用問題（初級編）②
	7	財務会計（理論） 択一式応用問題（初級編）②
	8	管理会計 択一式応用問題（初級編）②
	9	企業法 択一式応用問題（初級編）②
	10	監査論 択一式応用問題（初級編）②
	11	財務会計（計算） 択一式応用問題（初級編）③
	12	財務会計（理論） 択一式応用問題（初級編）③
	13	管理会計 択一式応用問題（初級編）③
	14	企業法 択一式応用問題（初級編）③
	15	監査論 択一式応用問題（初級編）③
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営学基礎演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	簡易的な計算問題によりファイナンス分野の知識のインプットを図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（初級編）①
	2	記述式基礎問題（初級編）②
	3	記述式基礎問題（初級編）③
	4	記述式基礎問題（初級編）④
	5	記述式基礎問題（初級編）⑤
	6	記述式基礎問題（初級編）⑥
	7	記述式基礎問題（初級編）⑦
	8	記述式基礎問題（初級編）⑧
	9	記述式基礎問題（初級編）⑨
	10	記述式基礎問題（初級編）⑩
	11	記述式基礎問題（初級編）⑪
	12	記述式基礎問題（初級編）⑫
	13	記述式基礎問題（初級編）⑬
	14	記述式基礎問題（初級編）⑭
	15	記述式基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営学入門 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	ファイナンス分野の基礎的な計算知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	ファイナンス分野の基礎的な計算知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	投資理論の基礎知識
	2	最適なポートフォリオの選択
	3	資本資産評価モデル：CAPM（キャップエム）
	4	債券評価
	5	裁定取引と効率的市場
	6	マルチファクターモデルと行動ファイナンス
	7	企業財務論の目的
	8	資本コスト
	9	最適資本構成
	10	プロジェクトの評価
	11	配当政策（ペイアウト政策その1）
	12	自社株買い（ペイアウト政策その2）
	13	財務情報分析
	14	M&Aにおける企業価値評価
	15	企業価値評価（バリエーション）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法基礎演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	計算問題を中心に法人税法に関する重要論点のインプットを図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（初級編）①
	2	記述式基礎問題（初級編）②
	3	記述式基礎問題（初級編）③
	4	記述式基礎問題（初級編）④
	5	記述式基礎問題（初級編）⑤
	6	記述式基礎問題（初級編）⑥
	7	記述式基礎問題（初級編）⑦
	8	記述式基礎問題（初級編）⑧
	9	記述式基礎問題（初級編）⑨
	10	記述式基礎問題（初級編）⑩
	11	記述式基礎問題（初級編）⑪
	12	記述式基礎問題（初級編）⑫
	13	記述式基礎問題（初級編）⑬
	14	記述式基礎問題（初級編）⑭
	15	記述式基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法入門 I	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	法人税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	法人税法の概要を捉え、基本的な計算方法を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記	公認会計士事務所における実務経験に基づき、法人税法の基本的な計算や実務での具体的事例を交えた計算方法等について講義を行う	
授業計画	1	法人税法総則・課税標準
	2	交際費等の損金不算入（概要・計算構造）
	3	減価償却（普通償却）
	4	租税公課及び納税充当金
	5	受取配当等の益金不算入
	6	繰延資産（概要）
	7	金銭債務に係る債務者の償還差益又は償還差損の益金又は損金算入
	8	有価証券
	9	所得税額控除（原則法）
	10	寄附金の損金不算入
	11	減価償却（特別償却・概要）
	12	特別償却準備金
	13	リース取引
	14	評価損益
	15	講義内演習・確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	所得税法・消費税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	所得税法・消費税法の概要を捉え、基本的な計算方法を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	所得税法の概要
	2	各種所得と各種所得の金額の計算（総測）
	3	減価償却
	4	課税標準・課税所得金額の計算
	5	所得控除額の計算
	6	納税税額の計算（総則）
	7	申告・納付
	8	源泉徴収
	9	有価証券に係る課税の特例
	10	消費税法の概要
	11	課税の対象
	12	非課税
	13	輸出免税等
	14	課税標準
	15	講義内演習・確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論応用演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	解答の記述構成など監査制度に関する記述レベルを引き上げを図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	応用的な論点について、記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題（初級編）①
	2	記述式応用問題（初級編）②
	3	記述式応用問題（初級編）③
	4	記述式応用問題（初級編）④
	5	記述式応用問題（初級編）⑤
	6	記述式応用問題（初級編）⑥
	7	記述式応用問題（初級編）⑦
	8	記述式応用問題（初級編）⑧
	9	記述式応用問題（初級編）⑨
	10	記述式応用問題（初級編）⑩
	11	記述式応用問題（初級編）⑪
	12	記述式応用問題（初級編）⑫
	13	記述式応用問題（初級編）⑬
	14	記述式応用問題（初級編）⑭
	15	記述式応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、財務諸表監査及び監査実施論についての基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした有識者の講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、財務諸表監査及び監査実施論についての基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	財務諸表監査総論
	2	意見表明の対象である財務諸表
	3	監査主体論、監査基準論
	4	監査人
	5	職業倫理（監査人に要求される条件）
	6	専門能力及び知識
	7	主要勘定と帳簿、証拠等の例
	8	アサーション
	9	監査技術 監査証拠
	10	監査技術 閲覧
	11	監査技術 帳簿突合
	12	監査技術 証憑突合
	13	監査技術 実査
	14	監査技術 観察
	15	監査技術 再計算
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論直前演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	監査制度に関する応用的な知識を事例を用いて記述式で問題解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題（初級編）①
	2	記述式総合問題（初級編）②
	3	記述式総合問題（初級編）③
	4	記述式総合問題（初級編）④
	5	記述式総合問題（初級編）⑤
	6	記述式総合問題（初級編）⑥
	7	記述式総合問題（初級編）⑦
	8	記述式総合問題（初級編）⑧
	9	記述式総合問題（初級編）⑨
	10	記述式総合問題（初級編）⑩
	11	記述式総合問題（初級編）⑪
	12	記述式総合問題（初級編）⑫
	13	記述式総合問題（初級編）⑬
	14	記述式総合問題（初級編）⑭
	15	記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論入門Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	監査手続きに関して、継続企業及び公認会計士法に対する基礎的な枠組みを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	監査手続きに関して、継続企業及び公認会計士法に対する基礎的な考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	継続企業の前提とは
	2	継続企業の前提に関する経営者の対応
	3	継続企業の前提に対する監査人の対応
	4	中間監査総論
	5	四半期レビュー制度
	6	特別目的会社の財務諸表の監査
	7	内部統制報告制度概要
	8	会計監査人監査制度概要
	9	金融商品取引法による企業内容開示制度
	10	公認会計士法
	11	公認会計士制度の創設・発足
	12	倫理規則の趣旨及び精神
	13	保証業務概論
	14	保証業務の位置付け
	15	公認会計士制度の創設・発足
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論応用演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	応用力を身に着けるために、計算問題と記述式問題を織り交ぜた問題を解く	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題（初級編）①
	2	記述式応用問題（初級編）②
	3	記述式応用問題（初級編）③
	4	記述式応用問題（初級編）④
	5	記述式応用問題（初級編）⑤
	6	記述式応用問題（初級編）⑥
	7	記述式応用問題（初級編）⑦
	8	記述式応用問題（初級編）⑧
	9	記述式応用問題（初級編）⑨
	10	記述式応用問題（初級編）⑩
	11	記述式応用問題（初級編）⑪
	12	記述式応用問題（初級編）⑫
	13	記述式応用問題（初級編）⑬
	14	記述式応用問題（初級編）⑭
	15	記述式応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論基礎 I
実務家教員	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	基本的な用語や諸概念を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解する
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	基本的な用語や諸概念を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解し、説明できる
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）
特記	
授業計画	1 短期利益計画のための管理会計
	2 短期利益計画の基礎
	3 利益計画の意義
	4 中期経営計画と短期利益計画
	5 短期利益計画のプロセス
	6 CVP分析（Cost-Volume-Profit Analysis）
	7 CVP分析の意義
	8 原価・営業量・利益の関係
	9 CVP分析の仮定
	10 損益分岐点売上高（販売量）の算定
	11 希望（目標）営業利益を達成する売上高（販売量）の算定
	12 希望（目標）売上高営業利益率をあげる売上高
	13 損益分岐図表・限界利益図表
	14 安全（余裕）率・損益分岐点比率
	15 経営レバレッジ係数
	16 多品種製品を取り扱っている場合のCVP分析
	17 多品種製品を取り扱っている場合の限界利益図表の作成
	18 CVP感度分析
	19 営業外損益の取り扱い
	20 全部原価計算の損益分岐分析
	21 CVPC分析
	22 原価分解の必要性
	23 原価態様（コスト・ビヘイビア）に基づく原価分類
	24 原価分解の方法
	25 直接原価計算の基礎
	26 直接原価計算の意義
	27 直接原価計算の特徴
	28 直接原価計算の有用性
	29 全部原価計算との関係
	30 授業内演習及び確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論計算特訓 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	入門講義で学習した知識を基に、計算力の向上を図る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	入門講義で学習した知識を基に、正確に計算し、解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	材料費会計
	2	労務費会計
	3	経費会計
	4	製造間接費会計
	5	部門別計算
	6	個別原価計算
	7	部門別個別原価計算
	8	総合原価計算①
	9	総合原価計算②
	10	総合原価計算③
	11	総合原価計算④
	12	標準原価計算①
	13	標準原価計算②
	14	標準原価計算③
	15	授業内演習及び確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論直前演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	問題演習を通して、論理的な思考力と文章表現力を磨く	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題（初級編）①
	2	記述式総合問題（初級編）②
	3	記述式総合問題（初級編）③
	4	記述式総合問題（初級編）④
	5	記述式総合問題（初級編）⑤
	6	記述式総合問題（初級編）⑥
	7	記述式総合問題（初級編）⑦
	8	記述式総合問題（初級編）⑧
	9	記述式総合問題（初級編）⑨
	10	記述式総合問題（初級編）⑩
	11	記述式総合問題（初級編）⑪
	12	記述式総合問題（初級編）⑫
	13	記述式総合問題（初級編）⑬
	14	記述式総合問題（初級編）⑭
	15	記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	問題演習を通して、計算力の向上とともに原価計算基準の知識の定着を図る
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	問題演習を通して、計算力の向上とともに原価計算基準の知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）
特記	
授業計画	1 標準原価計算総論
	2 標準原価計算の目的
	3 標準原価の種類
	4 標準原価計算制度の手続
	5 製品原価の計算
	6 原価差異の計算
	7 原価差異の原因分析
	8 原価差異の把握方法
	9 標準原価計算の記帳方法
	10 原価差異の会計処理
	11 仕損・減損が生じる場合（終点発生）
	12 仕損・減損が生じる場合（始点発生）
	13 仕損・減損が生じる場合（途中一定点発生）
	14 管理会計の意義
	15 財務会計と管理会計の相違
	16 管理会計の体系
	17 財務情報分析
	18 財務情報分析の意義
	19 財務情報分析の種類
	20 収益性分析
	21 投下資本利益率
	22 投下資本利益率の分解
	23 安全性分析
	24 短期財務安全性分析
	25 長期財務安全性分析
	26 キャッシュフロー分析
	27 授業内演習①
	28 授業内演習②
	29 授業内演習③
	30 授業内演習④
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論入門演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	基礎的な総合問題を解くことで、管理会計の構造を理解する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	正しい解法手順で総合問題を解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	計算応用問題（初級編）①
	2	計算応用問題（初級編）②
	3	計算応用問題（初級編）③
	4	計算応用問題（初級編）④
	5	計算応用問題（初級編）⑤
	6	計算応用問題（初級編）⑥
	7	計算応用問題（初級編）⑦
	8	計算応用問題（初級編）⑧
	9	計算応用問題（初級編）⑨
	10	計算応用問題（初級編）⑩
	11	計算応用問題（初級編）⑪
	12	計算応用問題（初級編）⑫
	13	計算応用問題（初級編）⑬
	14	計算応用問題（初級編）⑭
	15	計算応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論入門演習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	管理会計の構造を意識しながら、総合問題を解くことで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算総合問題（初級編）①
	2	計算総合問題（初級編）②
	3	計算総合問題（初級編）③
	4	計算総合問題（初級編）④
	5	計算総合問題（初級編）⑤
	6	計算総合問題（初級編）⑥
	7	計算総合問題（初級編）⑦
	8	計算総合問題（初級編）⑧
	9	計算総合問題（初級編）⑨
	10	計算総合問題（初級編）⑩
	11	計算総合問題（初級編）⑪
	12	計算総合問題（初級編）⑫
	13	計算総合問題（初級編）⑬
	14	計算総合問題（初級編）⑭
	15	計算総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法応用演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	出題の意図に沿った会社法分野の正確な記述解答を図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	応用的な論点について、記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題（初級編）①
	2	記述式応用問題（初級編）②
	3	記述式応用問題（初級編）③
	4	記述式応用問題（初級編）④
	5	記述式応用問題（初級編）⑤
	6	記述式応用問題（初級編）⑥
	7	記述式応用問題（初級編）⑦
	8	記述式応用問題（初級編）⑧
	9	記述式応用問題（初級編）⑨
	10	記述式応用問題（初級編）⑩
	11	記述式応用問題（初級編）⑪
	12	記述式応用問題（初級編）⑫
	13	記述式応用問題（初級編）⑬
	14	記述式応用問題（初級編）⑭
	15	記述式応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	会社法を中心とした、会社の設立や株式に関する知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	会社法における、会社の設立や株式に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	会社の概念
	2	会社の種類
	3	株式会社の概念
	4	会社設立
	5	発起人
	6	定款の作成
	7	発起設立と募集設立
	8	変態設立事項に関する規制
	9	設立登記
	10	設立関与者の責任
	11	設立の瑕疵
	12	株式の意義
	13	株式不可分の原則
	14	株主の権利・義務の意義
	15	株主の権利に関する規定
	16	株主平等原則の意義
	17	株主平等原則の趣旨・効果
	18	株主平等原則の例外
	19	株式譲渡自由の原則
	20	自己株式取得規制の概要
	21	子会社による親会社株式の取得
	22	株券の意義
	23	株式譲渡の効力発生要件、対抗要件
	24	株主名簿の意義等
	25	名義書換制度
	26	株式の担保化
	27	株式振替制度の意義
	28	端数が生ずる場合
	29	単元株制度の意義
	30	株式等売渡請求の概要
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法直前演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会社法の横断的に係わる規定から出題される問題へのアプローチ方法を習得する演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題（初級編）①
	2	記述式総合問題（初級編）②
	3	記述式総合問題（初級編）③
	4	記述式総合問題（初級編）④
	5	記述式総合問題（初級編）⑤
	6	記述式総合問題（初級編）⑥
	7	記述式総合問題（初級編）⑦
	8	記述式総合問題（初級編）⑧
	9	記述式総合問題（初級編）⑨
	10	記述式総合問題（初級編）⑩
	11	記述式総合問題（初級編）⑪
	12	記述式総合問題（初級編）⑫
	13	記述式総合問題（初級編）⑬
	14	記述式総合問題（初級編）⑭
	15	記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法入門Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、計算書類、定款変更、事業譲渡と組織再編行為を中心とした基礎的な概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、計算書類、定款変更、事業譲渡と組織再編行為に関する考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	計算書類その他
	2	資本金・準備金・剰余金
	3	剰余金の配当
	4	定款変更の意義
	5	定款変更の手続
	6	発行可能株式総数
	7	事業譲渡等
	8	組織再編 総説
	9	組織変更
	10	合併 総説
	11	会社分割 総説
	12	株式交換・株式移転 総説
	13	持分法会社の組織再編
	14	会社の清算
	15	持分会社
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論応用演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	数学的な応用知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題（初級編）①
	2	記述式応用問題（初級編）②
	3	記述式応用問題（初級編）③
	4	記述式応用問題（初級編）④
	5	記述式応用問題（初級編）⑤
	6	記述式応用問題（初級編）⑥
	7	記述式応用問題（初級編）⑦
	8	記述式応用問題（初級編）⑧
	9	記述式応用問題（初級編）⑨
	10	記述式応用問題（初級編）⑩
	11	記述式応用問題（初級編）⑪
	12	記述式応用問題（初級編）⑫
	13	記述式応用問題（初級編）⑬
	14	記述式応用問題（初級編）⑭
	15	記述式応用問題（初級編）⑮
	16	記述式応用問題（初級編）⑯
	17	記述式応用問題（初級編）⑰
	18	記述式応用問題（初級編）⑱
	19	記述式応用問題（初級編）⑲
	20	記述式応用問題（初級編）⑳
	21	記述式応用問題（初級編）㉑
	22	記述式応用問題（初級編）㉒
	23	記述式応用問題（初級編）㉓
	24	記述式応用問題（初級編）㉔
	25	記述式応用問題（初級編）㉕
	26	記述式応用問題（初級編）㉖
	27	記述式応用問題（初級編）㉗
	28	記述式応用問題（初級編）㉘
	29	記述式応用問題（初級編）㉙
	30	記述式応用問題（初級編）㉚
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論財表基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	負債会計及び純資産会計に関する基礎概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	負債会計及び純資産会計に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	製品保証引当金
	2	売上割戻引当金
	3	返品調整引当金
	4	修繕引当金
	5	資産除去債務の範囲
	6	資産除去債務の会計処理
	7	資産除去債務の開示
	8	株主資本の分類
	9	資本金
	10	資本剰余金
	11	利益剰余金
	12	自己株式
	13	資本金および準備金の額の減少
	14	資本剰余金と利益剰余金の混同の禁止
	15	剰余金の配当等
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論財表入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	棚卸資産及び固定資産並びに繰延資産の会計処理に関する基礎概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	棚卸資産及び固定資産並びに繰延資産の会計処理に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	通常の販売目的で保有する棚卸資産
	2	トレーディング目的で保有する棚卸資産
	3	売価還元法と最終仕入原価法
	4	固定資産の取得原価の決定
	5	資本的支出と収益的支出
	6	減価償却
	7	個別償却と総合償却
	8	減耗償却と取替法
	9	圧縮記帳
	10	株式交付費
	11	社債発行費等
	12	創立費
	13	開業費
	14	開発費
	15	支出の効果が期待されなくなった繰延資産の会計処理
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論直前演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題（初級編）①
	2	記述式総合問題（初級編）②
	3	記述式総合問題（初級編）③
	4	記述式総合問題（初級編）④
	5	記述式総合問題（初級編）⑤
	6	記述式総合問題（初級編）⑥
	7	記述式総合問題（初級編）⑦
	8	記述式総合問題（初級編）⑧
	9	記述式総合問題（初級編）⑨
	10	記述式総合問題（初級編）⑩
	11	記述式総合問題（初級編）⑪
	12	記述式総合問題（初級編）⑫
	13	記述式総合問題（初級編）⑬
	14	記述式総合問題（初級編）⑭
	15	記述式総合問題（初級編）⑮
	16	記述式総合問題（初級編）⑯
	17	記述式総合問題（初級編）⑰
	18	記述式総合問題（初級編）⑱
	19	記述式総合問題（初級編）⑲
	20	記述式総合問題（初級編）⑳
	21	記述式総合問題（初級編）㉑
	22	記述式総合問題（初級編）㉒
	23	記述式総合問題（初級編）㉓
	24	記述式総合問題（初級編）㉔
	25	記述式総合問題（初級編）㉕
	26	記述式総合問題（初級編）㉖
	27	記述式総合問題（初級編）㉗
	28	記述式総合問題（初級編）㉘
	29	記述式総合問題（初級編）㉙
	30	記述式総合問題（初級編）㉚
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記基礎 I
実務家教員	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	純資産会計及び法人税に関する基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	純資産会計及び法人税に関する基礎的な知識の習得する
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）
特記	
授業計画	1 純資産会計総論
	2 株式の発行
	3 剰余金の配当
	4 計数の変動
	5 剰余金の処分
	6 自己株式
	7 分配可能額の算定①
	8 分配可能額の算定②
	9 株主資本等変動計算書
	10 新株予約権総論
	11 新株予約権の会計処理（発行者側）
	12 自己新株予約権
	13 新株予約権の開示
	14 新株予約権の会計処理（取得者側）
	15 新株予約権付社債（総論）
	16 新株予約権付社債の会計処理（発行者側）①
	17 新株予約権付社債の会計処理（発行者側）②
	18 新株予約権付社債の会計処理（取得者側）①
	19 新株予約権付社債の会計処理（取得者側）②
	20 ストック・オプション（総論）
	21 権利不確定による失効
	22 対象勤務期間
	23 段階的に権利行使が可能となる場合
	24 公正な評価単価の変動
	25 ストック・オプション数の変動
	26 費用の計上期間を変動させる条件変更
	27 法人税
	28 事業税
	29 消費税
	30 その他税金
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記計算特訓 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	退職給付会計及び資産除去債務に関する基礎的な会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	退職給付会計及び資産除去債務の基礎的な問題の解答を正確に導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	確定給付企業年金制度（一連の会計処理）
	2	確定給付企業年金制度（従業員拠出）
	3	確定給付企業年金制度（数理計算上の差異）
	4	確定給付企業年金制度（過去勤務費用）
	5	確定給付企業年金制度（年金資産の返還）
	6	確定給付企業年金制度（退職給付信託）
	7	確定拠出企業年金制度
	8	退職給付制度の終了
	9	資産除去債務総論
	10	見積りの変更（見積額が増加する場合）
	11	見積りの変更（見積額が増加する場合）
	12	資産除去債務の算定（最頻値法・期待値法）
	13	資産除去債務が複数の資産から構成される場合
	14	巻末総合問題演習①
	15	巻末総合問題演習②
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅴ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	リース会計及びその他の資産並びに社債に関する初歩的な会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	リース会計及びその他の資産並びに社債の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	リース取引総論
	2	オペレーティング・リース
	3	所有権移転ファイナンス・リース
	4	所有権移転ファイナンス・リース（割安購入選択権）
	5	所有権移転外ファイナンス・リース
	6	所有権移転外ファイナンス・リース（残価保証）
	7	維持管理費相当額
	8	リース料の前払い
	9	ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理①）
	10	ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理②）
	11	ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理③）
	12	セール・アンド・リースバック取引
	13	転リース取引
	14	無形固定資産総論
	15	のれん
	16	研究開発費
	17	市場販売目的のソフトウェア
	18	自社利用目的のソフトウェア
	19	投資その他の資産
	20	固定資産の減損総論
	21	減損損失の判定と測定
	22	将来キャッシュ・フローの見積
	23	共用資産の減損
	24	のれんの減損
	25	繰延資産
	26	社債総論
	27	買入償還（定額法）
	28	買入償還（利息法）
	29	巻末総合問題演習①
	30	巻末総合問題演習②
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	正しい解法手順で総合問題を解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	計算応用問題（初級編）①
	2	計算応用問題（初級編）②
	3	計算応用問題（初級編）③
	4	計算応用問題（初級編）④
	5	計算応用問題（初級編）⑤
	6	計算応用問題（初級編）⑥
	7	計算応用問題（初級編）⑦
	8	計算応用問題（初級編）⑧
	9	計算応用問題（初級編）⑨
	10	計算応用問題（初級編）⑩
	11	計算応用問題（初級編）⑪
	12	計算応用問題（初級編）⑫
	13	計算応用問題（初級編）⑬
	14	計算応用問題（初級編）⑭
	15	計算応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	数学的な思考を用い、計算総合問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算総合問題（初級編）①
	2	計算総合問題（初級編）②
	3	計算総合問題（初級編）③
	4	計算総合問題（初級編）④
	5	計算総合問題（初級編）⑤
	6	計算総合問題（初級編）⑥
	7	計算総合問題（初級編）⑦
	8	計算総合問題（初級編）⑧
	9	計算総合問題（初級編）⑨
	10	計算総合問題（初級編）⑩
	11	計算総合問題（初級編）⑪
	12	計算総合問題（初級編）⑫
	13	計算総合問題（初級編）⑬
	14	計算総合問題（初級編）⑭
	15	計算総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	短答式対策入門総合Ⅱ	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	模擬試験形式による効果測定	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	公認会計士事務所における実務経験に基づき、公認会計士試験で学習する各科目の実務的な内容を具体的事例を交えて演習を行う	
授業計画	1	財務会計（計算） 択一式総合問題（初級編）①
	2	財務会計（理論） 択一式総合問題（初級編）①
	3	管理会計 択一式総合問題（初級編）①
	4	企業法 択一式総合問題（初級編）①
	5	監査論 択一式総合問題（初級編）①
	6	財務会計（計算） 択一式総合問題（初級編）②
	7	財務会計（理論） 択一式総合問題（初級編）②
	8	管理会計 択一式総合問題（初級編）②
	9	企業法 択一式総合問題（初級編）②
	10	監査論 択一式総合問題（初級編）②
	11	財務会計（計算） 択一式総合問題（初級編）③
	12	財務会計（理論） 択一式総合問題（初級編）③
	13	管理会計 択一式総合問題（初級編）③
	14	企業法 択一式総合問題（初級編）③
	15	監査論 択一式総合問題（初級編）③
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営学応用演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	ファイナンス分野の知識のインプット及びアウトプット力の向上を図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題（初級編）①
	2	記述式応用問題（初級編）②
	3	記述式応用問題（初級編）③
	4	記述式応用問題（初級編）④
	5	記述式応用問題（初級編）⑤
	6	記述式応用問題（初級編）⑥
	7	記述式応用問題（初級編）⑦
	8	記述式応用問題（初級編）⑧
	9	記述式応用問題（初級編）⑨
	10	記述式応用問題（初級編）⑩
	11	記述式応用問題（初級編）⑪
	12	記述式応用問題（初級編）⑫
	13	記述式応用問題（初級編）⑬
	14	記述式応用問題（初級編）⑭
	15	記述式応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営学直前演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	ファイナンス分野の知識のアウトプット力の向上を図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題（初級編）①
	2	記述式総合問題（初級編）②
	3	記述式総合問題（初級編）③
	4	記述式総合問題（初級編）④
	5	記述式総合問題（初級編）⑤
	6	記述式総合問題（初級編）⑥
	7	記述式総合問題（初級編）⑦
	8	記述式総合問題（初級編）⑧
	9	記述式総合問題（初級編）⑨
	10	記述式総合問題（初級編）⑩
	11	記述式総合問題（初級編）⑪
	12	記述式総合問題（初級編）⑫
	13	記述式総合問題（初級編）⑬
	14	記述式総合問題（初級編）⑭
	15	記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法応用演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	論理的な思考を用い法人税法に関する重要論点のアウトプット力の向上を図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題（初級編）①
	2	記述式応用問題（初級編）②
	3	記述式応用問題（初級編）③
	4	記述式応用問題（初級編）④
	5	記述式応用問題（初級編）⑤
	6	記述式応用問題（初級編）⑥
	7	記述式応用問題（初級編）⑦
	8	記述式応用問題（初級編）⑧
	9	記述式応用問題（初級編）⑨
	10	記述式応用問題（初級編）⑩
	11	記述式応用問題（初級編）⑪
	12	記述式応用問題（初級編）⑫
	13	記述式応用問題（初級編）⑬
	14	記述式応用問題（初級編）⑭
	15	記述式応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法直前演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	出題予想に基づく法人税法に関する試験独特の知識のインプットを図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題（初級編）①
	2	記述式総合問題（初級編）②
	3	記述式総合問題（初級編）③
	4	記述式総合問題（初級編）④
	5	記述式総合問題（初級編）⑤
	6	記述式総合問題（初級編）⑥
	7	記述式総合問題（初級編）⑦
	8	記述式総合問題（初級編）⑧
	9	記述式総合問題（初級編）⑨
	10	記述式総合問題（初級編）⑩
	11	記述式総合問題（初級編）⑪
	12	記述式総合問題（初級編）⑫
	13	記述式総合問題（初級編）⑬
	14	記述式総合問題（初級編）⑭
	15	記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	論文式対策総合 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	模擬試験形式による総合問題の効果測定	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	論文式試験に合格するための知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	解答上の留意点
	2	財務会計（計算） 記述式模擬試験（初級編）①
	3	財務会計（理論） 記述式模擬試験（初級編）①
	4	管理会計 記述式模擬試験（初級編）①
	5	企業法 記述式模擬試験（初級編）①
	6	監査論 記述式模擬試験（初級編）①
	7	租税法 記述式模擬試験（初級編）①
	8	経営学 記述式模擬試験（初級編）①
	9	財務会計（計算） 記述式模擬試験（初級編）②
	10	財務会計（理論） 記述式模擬試験（初級編）②
	11	管理会計 記述式模擬試験（初級編）②
	12	企業法 記述式模擬試験（初級編）②
	13	監査論 記述式模擬試験（初級編）②
	14	租税法 記述式模擬試験（初級編）②
	15	経営学 記述式模擬試験（初級編）②
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査技術についての基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査技術についての基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	監査技術 再実施
	2	監査技術 質問
	3	監査技術 年齢調べ
	4	監査技術 棚卸資産に対する手続
	5	監査技術 確認
	6	監査技術 分析的手続
	7	監査技術 経営者確認書
	8	リスク・アプローチ
	9	監査リスク
	10	リスク評価手続の全体像
	11	リスク・アプローチとの関係
	12	監査とIT
	13	ITの特徴①
	14	ITの特徴②
	15	監査に係る予備的な活動 契約の締結まで
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査計画についての基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査計画についての基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	監査に係る予備的な活動 意義
	2	監査に係る予備的な活動 何を検討するのか
	3	監査に係る予備的な活動 検討の結果
	4	監査計画の定義
	5	監査計画の分類
	6	監査証拠の入手方法
	7	監査サンプリング
	8	重要性の定義
	9	監査上の重要性が用いられる場面
	10	重要な虚偽表示か否かの判断
	11	監査上の重要性の例
	12	重要性の基準値の決定
	13	特別な検討を必要とするリスクの定義等
	14	特別な検討を必要とするリスク評価手続き及びリスクの識別・評価
	15	関連当事者とは
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論基礎演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	監査実施論に関する個別的な論点を基本的な記述式問題を通じて定着させることを図る	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（中級編）①
	2	記述式基礎問題（中級編）②
	3	記述式基礎問題（中級編）③
	4	記述式基礎問題（中級編）④
	5	記述式基礎問題（中級編）⑤
	6	記述式基礎問題（中級編）⑥
	7	記述式基礎問題（中級編）⑦
	8	記述式基礎問題（中級編）⑧
	9	記述式基礎問題（中級編）⑨
	10	記述式基礎問題（中級編）⑩
	11	記述式基礎問題（中級編）⑪
	12	記述式基礎問題（中級編）⑫
	13	記述式基礎問題（中級編）⑬
	14	記述式基礎問題（中級編）⑭
	15	記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	原価計算システムを通じて提供される原価情報が企業経営においてどのように役立つのかを理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	原価計算システムを通じて提供される原価情報が企業経営においてどのように役立つのかを理解し、説明できる
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）
特記	
授業計画	1 直接実際原価計算
	2 直接実際原価計算の意義
	3 直接実際原価計算による損益計算書
	4 固定費調整
	5 直接標準原価計算
	6 直接標準原価計算の意義
	7 直接標準原価計算による損益計算書
	8 直接標準原価計算における固定費調整
	9 直接原価計算に関する諸論点
	10 生産・販売量と営業利益の関係の整理
	11 セグメント別損益計算書
	12 固定費（キャパシティ・コスト）の管理
	13 直接原価計算による営業利益が制度外とされている理由
	14 予算管理の基礎
	15 予算と予算管理の意義
	16 予算管理のプロセス
	17 予算管理と責任会計
	18 予算の種類
	19 予算編成の方法
	20 予算編成の手順
	21 予算統制
	22 予算実績差異分析の意義と手続
	23 予算実績比較損益計算書の作成
	24 予算実績差異分析の詳細
	25 予算報告書
	26 講義内演習①
	27 講義内演習②
	28 講義内演習③
	29 講義内演習④
	30 講義内演習⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論基礎演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	計算問題と記述式問題を織り交ぜながら、管理会計論の典型論点を中心に理解を深める	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（中級編）①
	2	記述式基礎問題（中級編）②
	3	記述式基礎問題（中級編）③
	4	記述式基礎問題（中級編）④
	5	記述式基礎問題（中級編）⑤
	6	記述式基礎問題（中級編）⑥
	7	記述式基礎問題（中級編）⑦
	8	記述式基礎問題（中級編）⑧
	9	記述式基礎問題（中級編）⑨
	10	記述式基礎問題（中級編）⑩
	11	記述式基礎問題（中級編）⑪
	12	記述式基礎問題（中級編）⑫
	13	記述式基礎問題（中級編）⑬
	14	記述式基礎問題（中級編）⑭
	15	記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論上級演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	問題演習を行うことで、原価計算制度の知識を定着させる	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算基礎問題（中級編）①
	2	計算基礎問題（中級編）②
	3	計算基礎問題（中級編）③
	4	計算基礎問題（中級編）④
	5	計算基礎問題（中級編）⑤
	6	計算基礎問題（中級編）⑥
	7	計算基礎問題（中級編）⑦
	8	計算基礎問題（中級編）⑧
	9	計算基礎問題（中級編）⑨
	10	計算基礎問題（中級編）⑩
	11	計算基礎問題（中級編）⑪
	12	計算基礎問題（中級編）⑫
	13	計算基礎問題（中級編）⑬
	14	計算基礎問題（中級編）⑭
	15	計算基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会社法を中心とした、株式会社の機関に関する知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社法における、株式会社の機関に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	総説一株式会社の機関設計
	2	公開会社の機関構造の特色
	3	株主総会の権限
	4	総会屋対策
	5	株主総会決議の瑕疵
	6	取締役の行為規制の必要性
	7	善管注意義務と忠実義務
	8	利益相反取引
	9	取締役の報酬規制
	10	違反行為差止請求権
	11	取締役会の意義・設置
	12	代表取締役の意義・設置
	13	監査役の権限・義務
	14	監査役会の権限
	15	会計参与の権限・義務
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	会社法を中心とした、資金調達に関する知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	会社法における、資金調達に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）
特記	
授業計画	1 資金調達総説
	2 募集株式の発行等の意義
	3 募集事項の決定事項
	4 募集事項の決定機関
	5 募集株式の申込み
	6 募集株式の割当て
	7 総数引受の場合一申込み・割当ての例外
	8 募集株式の引受け
	9 申込み（引受け）の瑕疵一引受けの無効又は取消しの制限
	10 出資の履行等
	11 失権株式
	12 募集株式の発行等の効力発生時期と変更登記
	13 払込金額が不公正な場合・出資された財産等の価額が不足する場合の責任
	14 違法発行に対する措置
	15 新株予約権の意義
	16 募集新株予約権の発行
	17 新株予約権の譲渡
	18 新株予約権の行使
	19 新株予約権無償割当て（277条～）
	20 株式と社債の共通点
	21 株式と社債の相違点
	22 株式と社債の接近化現象
	23 募集株式の発行手続
	24 社債原簿
	25 社債管理者
	26 社債権者集会
	27 社債の譲渡（社債券を発行しない場合）
	28 社債の譲渡（社債券を発行する場合）
	29 利息の支払
	30 社債の償還
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法基礎演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	簡易的な記述式問題により商法に関する正確な知識のインプットを図る演習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（中級編）①
	2	記述式基礎問題（中級編）②
	3	記述式基礎問題（中級編）③
	4	記述式基礎問題（中級編）④
	5	記述式基礎問題（中級編）⑤
	6	記述式基礎問題（中級編）⑥
	7	記述式基礎問題（中級編）⑦
	8	記述式基礎問題（中級編）⑧
	9	記述式基礎問題（中級編）⑨
	10	記述式基礎問題（中級編）⑩
	11	記述式基礎問題（中級編）⑪
	12	記述式基礎問題（中級編）⑫
	13	記述式基礎問題（中級編）⑬
	14	記述式基礎問題（中級編）⑭
	15	記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	基礎知識の定着度確認を目的とする演習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	基礎演習①
	2	基礎演習②
	3	基礎演習③
	4	個別基礎問題（中級編）①
	5	個別基礎問題（中級編）②
	6	個別基礎問題（中級編）③
	7	個別基礎問題（中級編）④
	8	個別基礎問題（中級編）⑤
	9	個別基礎問題（中級編）⑥
	10	個別基礎問題（中級編）⑦
	11	個別基礎問題（中級編）⑧
	12	個別基礎問題（中級編）⑨
	13	個別基礎問題（中級編）⑩
	14	個別基礎問題（中級編）⑪
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記上級演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	計算基礎問題（中級編）①
	2	計算基礎問題（中級編）②
	3	計算基礎問題（中級編）③
	4	計算基礎問題（中級編）④
	5	計算基礎問題（中級編）⑤
	6	計算基礎問題（中級編）⑥
	7	計算基礎問題（中級編）⑦
	8	計算基礎問題（中級編）⑧
	9	計算基礎問題（中級編）⑨
	10	計算基礎問題（中級編）⑩
	11	計算基礎問題（中級編）⑪
	12	計算基礎問題（中級編）⑫
	13	計算基礎問題（中級編）⑬
	14	計算基礎問題（中級編）⑭
	15	計算基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論基礎演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（中級編）①
	2	記述式基礎問題（中級編）②
	3	記述式基礎問題（中級編）③
	4	記述式基礎問題（中級編）④
	5	記述式基礎問題（中級編）⑤
	6	記述式基礎問題（中級編）⑥
	7	記述式基礎問題（中級編）⑦
	8	記述式基礎問題（中級編）⑧
	9	記述式基礎問題（中級編）⑨
	10	記述式基礎問題（中級編）⑩
	11	記述式基礎問題（中級編）⑪
	12	記述式基礎問題（中級編）⑫
	13	記述式基礎問題（中級編）⑬
	14	記述式基礎問題（中級編）⑭
	15	記述式基礎問題（中級編）⑮
	16	記述式基礎問題（中級編）⑯
	17	記述式基礎問題（中級編）⑰
	18	記述式基礎問題（中級編）⑱
	19	記述式基礎問題（中級編）⑲
	20	記述式基礎問題（中級編）⑳
	21	記述式基礎問題（中級編）㉑
	22	記述式基礎問題（中級編）㉒
	23	記述式基礎問題（中級編）㉓
	24	記述式基礎問題（中級編）㉔
	25	記述式基礎問題（中級編）㉕
	26	記述式基礎問題（中級編）㉖
	27	記述式基礎問題（中級編）㉗
	28	記述式基礎問題（中級編）㉘
	29	記述式基礎問題（中級編）㉙
	30	記述式基礎問題（中級編）㉚
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論財表基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	財務諸表の表示及び注記に関する基礎概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	財務諸表の表示及び注記に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	株主資本等変動計算書の目的
	2	株主資本等変動計算書に記載すべき項目の範囲
	3	株主資本等変動計算書の表示方法
	4	株主資本等変動計算書の注記事項
	5	キャッシュ・フロー計算書の作成目的
	6	利益とキャッシュ・フロー
	7	資金概念
	8	キャッシュ・フロー計算書の区分
	9	直接法と間接法
	10	キャッシュ・フロー計算書の注記事項
	11	会計方針
	12	後発事象
	13	偶発事象
	14	時価情報
	15	継続企業情報
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位数	3単位
授業回数	45回
授業概要	連結会計に関する基礎的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	連結会計に関する基礎的な問題の解答を正確に導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）
特記	
授業計画	1 連結財務諸表総論
	2 支配獲得日における連結貸借対照表の作成
	3 支配獲得日以降における連結貸借対照表の作成
	4 段階取得（その他投資先から子会社）
	5 段階取得（関連会社から子会社）
	6 子会社株式の追加取得
	7 子会社株式の一部売却
	8 連結除外（関連会社になった場合）
	9 連結除外（関連会社にも該当しなくなった場合）
	10 子会社の増資（株主割当有償増資）
	11 子会社の増資（第三者割当有償増資）
	12 子会社の新株予約権の取扱い
	13 子会社が保有する自己株式
	14 評価差額の実現（非償却性資産）
	15 評価差額の実現（償却性資産）
	16 成果連結総論
	17 未実現利益の消去（棚卸資産）
	18 債権債務の相殺及び貸倒引当金の調整
	19 未達取引（未達商品）
	20 未達取引（決済未達）
	21 手形取引
	22 未実現利益の消去（非償却性資産）
	23 未実現利益の消去（償却性資産）
	24 社債取引（発行時取得）
	25 社債取引（発行後取得）
	26 持分法総論
	27 持分法（追加取得）
	28 持分法（一部売却）
	29 持分法（持分法除外）
	30 持分法（未実現利益の消去）
	31 連結税効果（未実現利益：棚卸資産）
	32 連結税効果（未実現利益：非償却性資産）
	33 連結税効果（未実現利益：償却性資産）
	34 連結税効果（未実現利益：持分法適用会社）
	35 連結税効果（貸倒引当金）
	36 連結税効果（子会社の評価差額：非償却性資産）
	37 連結税効果（子会社の評価差額：償却性資産）
	38 連結税効果（関連会社の評価差額）
	39 連結税効果（財務諸表表示）
	40 連結税効果（税率の変更）
	41 包括利益総論
	42 巻末総合問題演習①
	43 巻末総合問題演習②
	44 巻末総合問題演習③
	45 巻末総合問題演習④
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	短答式対策上級総合 I	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	模擬試験形式による効果測定	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記	公認会計士事務所における実務経験に基づき、公認会計士試験で学習する各科目の実務的な内容を具体的事例を交えて演習を行う	
授業計画	1	財務会計（計算） 択一式応用問題（中級編）①
	2	財務会計（理論） 択一式応用問題（中級編）①
	3	管理会計 択一式応用問題（中級編）①
	4	企業法 択一式応用問題（中級編）①
	5	監査論 択一式応用問題（中級編）①
	6	財務会計（計算） 択一式応用問題（中級編）②
	7	財務会計（理論） 択一式応用問題（中級編）②
	8	管理会計 択一式応用問題（中級編）②
	9	企業法 択一式応用問題（中級編）②
	10	監査論 択一式応用問題（中級編）②
	11	財務会計（計算） 択一式応用問題（中級編）③
	12	財務会計（理論） 択一式応用問題（中級編）③
	13	管理会計 択一式応用問題（中級編）③
	14	企業法 択一式応用問題（中級編）③
	15	監査論 択一式応用問題（中級編）③
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営学基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	組織論を中心に時代に沿って経営学を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	学習した知識を基に経営分析することができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	バランスト・スコアカード（BSC）
	2	デリバティブ
	3	先物取引
	4	オプション取引
	5	オプション取引を用いたポートフォリオ（オプションの合成）
	6	金利オプション
	7	スワップ取引
	8	テイラーの科学的管理法
	9	ファヨールの管理論
	10	人間関係論と近代モチベーション論
	11	バーナード理論
	12	サイモン、マーチの理論
	13	管理原則論
	14	組織構造論（各論）
	15	組織文化論
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営学基礎演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	簡易的な記述式問題により組織論に関する知識のインプットを図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（中級編）①
	2	記述式基礎問題（中級編）②
	3	記述式基礎問題（中級編）③
	4	記述式基礎問題（中級編）④
	5	記述式基礎問題（中級編）⑤
	6	記述式基礎問題（中級編）⑥
	7	記述式基礎問題（中級編）⑦
	8	記述式基礎問題（中級編）⑧
	9	記述式基礎問題（中級編）⑨
	10	記述式基礎問題（中級編）⑩
	11	記述式基礎問題（中級編）⑪
	12	記述式基礎問題（中級編）⑫
	13	記述式基礎問題（中級編）⑬
	14	記述式基礎問題（中級編）⑭
	15	記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	計算項目を理論的側面から捉える	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	申告書の作成手続きを理解できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	法人税法総則・課税標準
	2	法人税額の計算の基礎
	3	使途秘匿金（追加課税される金額）
	4	外国税額控除
	5	貸倒損失（貸倒損失の計上が認められる場合）
	6	欠損金の繰越控除・繰戻し還付
	7	収用等の特別控除（特別控除の適用要件）
	8	圧縮記帳
	9	役員・使用人兼務役員の判定
	10	役員給与（1項基準額）
	11	使用人給与
	12	外国子会社から受ける配当等の益金不算入
	13	みなし配当
	14	グループ法人税制（概要）
	15	講義内演習・確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	計算項目を理論的側面から捉える	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	申告書の作成手続きを理解できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	所得税法の概要
	2	各種所得と各種所得の金額の計算（不動産所得・譲渡所得）
	3	減価償却
	4	課税標準・課税所得金額の計算
	5	所得控除額の計算
	6	納税税額の計算（報酬・料金等に係る源泉徴収）
	7	申告・納付
	8	源泉徴収
	9	有価証券に係る課税の特例
	10	消費税法の概要
	11	仕入に係る消費税額
	12	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整
	13	仕入に係る対価の返還等
	14	売上げに係る対価の返還等
	15	講義内演習・確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法基礎演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	計算問題を中心に所得税法に関する重要論点のインプットを図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（中級編）①
	2	記述式基礎問題（中級編）②
	3	記述式基礎問題（中級編）③
	4	記述式基礎問題（中級編）④
	5	記述式基礎問題（中級編）⑤
	6	記述式基礎問題（中級編）⑥
	7	記述式基礎問題（中級編）⑦
	8	記述式基礎問題（中級編）⑧
	9	記述式基礎問題（中級編）⑨
	10	記述式基礎問題（中級編）⑩
	11	記述式基礎問題（中級編）⑪
	12	記述式基礎問題（中級編）⑫
	13	記述式基礎問題（中級編）⑬
	14	記述式基礎問題（中級編）⑭
	15	記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会計士キャリアデザインⅡ	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	オフィスツアーや会計・監査の実務家の講演により、会計専門職としての職業観を身につける	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	会計・監査の実務に必要な知識を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	公認会計士事務所における実務経験に基づき、会計・監査実務に関する具体的及び実践的な業務内容等について演習を行う	
授業計画	1	実務家講演 1 短答式試験受験の心得
	2	実務家講演 2 論文式試験受験の心得
	3	実務家講演 3 監査法人の仕事
	4	実務家講演 4 （個人事務所設立）独立後の仕事
	5	監査法人理解 3 オフィスツアー 1
	6	監査法人理解 4 オフィスツアー 2
	7	監査法人理解 5 監査法人合同説明会
	8	監査法人理解 6 職種研究 1 （監査）
	9	監査法人理解 7 職業研究 2 （金融）
	10	監査法人理解 8 職業研究 3 （パブリック）
	11	監査法人理解 9 職業研究 4 （IT）
	12	監査法人理解 10 職業研究 5 （海外）
	13	監査法人理解 11 職業研究 6 （コンサルティング）
	14	監査法人理解 12 職業研究 7 （その他）
	15	実務家講演 5 公認会計士の将来像について
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記入門 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原則を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記の基本原則の理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の目的（基礎編）
	2	簿記一巡（基礎編）
	3	商品売買Ⅰ（基礎編）
	4	商品売買Ⅱ（基礎編）
	5	決算整理（基礎編）
	6	精算表（基礎編）
	7	現金および預金（基礎編）
	8	手形（基礎編）
	9	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	10	その他の債権および債務（基礎編）
	11	その他の勘定および訂正仕訳（基礎編）
	12	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	13	費用および収益の決算整理（基礎編）
	14	株式会社の純資産（基礎編）
	15	英米式決算法（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級商業簿記基礎 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総論（基礎編）	31	株主資本等変動計算書①（基礎編）
	2	収益と費用①（基礎編）	32	株主資本等変動計算書②（基礎編）
	3	収益と費用②（基礎編）	33	株主資本等変動計算書③（基礎編）
	4	棚卸資産①（基礎編）	34	連結会計①（基礎編）
	5	棚卸資産②（基礎編）	35	連結会計②（基礎編）
	6	現金預金（基礎編）	36	連結会計③（基礎編）
	7	債権・債務等①（基礎編）	37	連結会計④（基礎編）
	8	債権・債務等②（基礎編）	38	連結会計⑤（基礎編）
	9	有価証券①（基礎編）	39	連結会計⑥（基礎編）
	10	有価証券②（基礎編）	40	連結会計⑦（基礎編）
	11	有価証券③（基礎編）	41	連結会計⑧（基礎編）
	12	固定資産①（基礎編）	42	本支店会計①（基礎編）
	13	固定資産②（基礎編）	43	本支店会計②（基礎編）
	14	固定資産③（基礎編）	44	本支店会計③（基礎編）
	15	固定資産④（基礎編）	45	伝票と帳簿（基礎編）
	16	固定資産⑤（基礎編）		
	17	固定資産⑥（基礎編）		
	18	為替換算会計①（基礎編）		
	19	為替換算会計②（基礎編）		
	20	引当金①（基礎編）		
	21	引当金②（基礎編）		
	22	法人税等①（基礎編）		
	23	法人税等②（基礎編）		
	24	法人税等③（基礎編）		
	25	法人税等④（基礎編）		
	26	株式会社の純資産①（基礎編）		
	27	株式会社の純資産②（基礎編）		
	28	企業結合①（基礎編）		
	29	企業結合②（基礎編）		
	30	確認テスト		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級工業簿記基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	工業簿記の基礎（基礎編）
	2	個別原価計算の手続き（基礎編）
	3	材料費会計（基礎編）
	4	労務費会計（基礎編）
	5	経費会計（基礎編）
	6	製造間接費会計（基礎編）
	7	製造間接費差異の原因別分析（基礎編）
	8	単純個別原価計算Ⅰ（基礎編）
	9	単純個別原価計算Ⅱ（基礎編）
	10	工企業の財務諸表（基礎編）
	11	工業簿記総まとめ①（基礎編）
	12	部門別計算Ⅰ（基礎編）
	13	部門別計算Ⅱ（基礎編）
	14	確認テスト（第1回）
	15	工業簿記総まとめ②（基礎編）
	16	総合原価計算の手続き（基礎編）
	17	単純総合原価計算（基礎編）
	18	減損および仕損（基礎編）
	19	工程別総合原価計算（基礎編）
	20	組別総合原価計算（基礎編）
	21	等級別総合原価計算（基礎編）
	22	標準原価計算Ⅰ（基礎編）
	23	標準原価計算Ⅱ（基礎編）
	24	標準原価計算Ⅲ（基礎編）
	25	工業簿記総まとめ③（基礎編）
	26	CVP分析Ⅰ（基礎編）
	27	CVP分析Ⅱ（基礎編）
	28	直接原価計算（基礎編）
	29	工業簿記総まとめ④（基礎編）
	30	確認テスト（第2回）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級簿記総合 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（基礎編）	31	工業簿記総まとめ⑪（基礎編）
	2	商業簿記総まとめ②（基礎編）	32	工業簿記総まとめ⑫（基礎編）
	3	商業簿記総まとめ③（基礎編）	33	工業簿記総まとめ⑬（基礎編）
	4	商業簿記総まとめ④（基礎編）	34	工業簿記総まとめ⑭（基礎編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（基礎編）	35	工業簿記総まとめ⑮（基礎編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（基礎編）	36	工業簿記総まとめ⑯（基礎編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（基礎編）	37	工業簿記総まとめ⑰（基礎編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（基礎編）	38	工業簿記総まとめ⑱（基礎編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（基礎編）	39	工業簿記総まとめ⑲（基礎編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（基礎編）	40	工業簿記総まとめ⑳（基礎編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（基礎編）	41	総合問題演習①（テスト形式）
	12	商業簿記総まとめ⑫（基礎編）	42	総合問題演習②（テスト形式）
	13	商業簿記総まとめ⑬（基礎編）	43	総合問題演習③（テスト形式）
	14	商業簿記総まとめ⑭（基礎編）	44	総合問題演習④（テスト形式）
	15	商業簿記総まとめ⑮（基礎編）	45	総合問題演習⑤（テスト形式）
	16	商業簿記総まとめ⑯（基礎編）	46	総合問題演習⑥（テスト形式）
	17	商業簿記総まとめ⑰（基礎編）	47	総合問題演習⑦（テスト形式）
	18	商業簿記総まとめ⑱（基礎編）	48	総合問題演習⑧（テスト形式）
	19	商業簿記総まとめ⑲（基礎編）	49	総合問題演習⑨（テスト形式）
	20	商業簿記総まとめ⑳（基礎編）	50	総合問題演習⑩（テスト形式）
	21	工業簿記総まとめ①（基礎編）	51	総合問題演習⑪（テスト形式）
	22	工業簿記総まとめ②（基礎編）	52	総合問題演習⑫（テスト形式）
	23	工業簿記総まとめ③（基礎編）	53	総合問題演習⑬（テスト形式）
	24	工業簿記総まとめ④（基礎編）	54	総合問題演習⑭（テスト形式）
	25	工業簿記総まとめ⑤（基礎編）	55	総合問題演習⑮（テスト形式）
	26	工業簿記総まとめ⑥（基礎編）	56	総合問題演習⑯（テスト形式）
	27	工業簿記総まとめ⑦（基礎編）	57	総合問題演習⑰（テスト形式）
	28	工業簿記総まとめ⑧（基礎編）	58	総合問題演習⑱（テスト形式）
	29	工業簿記総まとめ⑨（基礎編）	59	総合問題演習⑲（テスト形式）
	30	工業簿記総まとめ⑩（基礎編）	60	総合問題演習⑳（テスト形式）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総論①（基礎編）	31	株式会社の純資産①（基礎編）
	2	総論②（基礎編）	32	株式会社の純資産②（基礎編）
	3	収益と費用（基礎編）	33	株式会社の純資産③（基礎編）
	4	棚卸資産①（基礎編）	34	企業結合（基礎編）
	5	棚卸資産②（基礎編）	35	株主資本等変動計算書①（基礎編）
	6	棚卸資産③（基礎編）	36	株主資本等変動計算書②（基礎編）
	7	現金預金①（基礎編）	37	連結会計①（基礎編）
	8	現金預金②（基礎編）	38	連結会計②（基礎編）
	9	債権・債務等（基礎編）	39	連結会計③（基礎編）
	10	有価証券①（基礎編）	40	連結会計④（基礎編）
	11	有価証券②（基礎編）	41	連結会計⑤（基礎編）
	12	有価証券③（基礎編）	42	連結会計⑥（基礎編）
	13	有価証券④（基礎編）	43	連結会計⑦（基礎編）
	14	有価証券⑤（基礎編）	44	連結会計⑧（基礎編）
	15	有価証券⑥（基礎編）	45	連結会計⑨（基礎編）
	16	固定資産①（基礎編）		
	17	固定資産②（基礎編）		
	18	固定資産③（基礎編）		
	19	固定資産④（基礎編）		
	20	固定資産⑤（基礎編）		
	21	固定資産⑥（基礎編）		
	22	為替換算会計①（基礎編）		
	23	為替換算会計②（基礎編）		
	24	為替換算会計③（基礎編）		
	25	引当金①（基礎編）		
	26	引当金②（基礎編）		
	27	引当金③（基礎編）		
	28	法人税等①（基礎編）		
	29	法人税等②（基礎編）		
	30	法人税等③（基礎編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	工業簿記の基礎	31	標準原価計算①
	2	工業簿記の記帳体系（個別原価計算）	32	標準原価計算②
	3	材料費会計①	33	標準原価計算③
	4	材料費会計②	34	原価・営業量・利益関係の分析①
	5	労務費会計①	35	原価・営業量・利益関係の分析②
	6	労務費会計②	36	工場会計の独立
	7	経費会計	37	直接原価計算①
	8	製造間接費会計①	38	直接原価計算②
	9	製造間接費会計②	39	確認テスト（第2回）
	10	単純個別原価計算①	40	工業簿記総まとめ①
	11	単純個別原価計算②	41	工業簿記総まとめ②
	12	単純個別原価計算③	42	工業簿記総まとめ③
	13	部門別計算①	43	工業簿記総まとめ④
	14	部門別計算②	44	工業簿記総まとめ⑤
	15	部門別計算③	45	工業簿記総まとめ⑥
	16	確認テスト（第1回）		
	17	工企業の財務諸表①		
	18	工企業の財務諸表②		
	19	工業簿記の記帳体系（総合原価計算）		
	20	総合原価計算①		
	21	総合原価計算②		
	22	総合原価計算③		
	23	総合原価計算④		
	24	総合原価計算⑤		
	25	総合原価計算⑥		
	26	工程別総合原価計算①		
	27	工程別総合原価計算②		
	28	組別総合原価計算		
	29	等級別総合原価計算①		
	30	等級別総合原価計算②		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級商業簿記応用 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	商企業の会計処理に関する全体の関連性について体系的に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	日々の取引、決算整理に関する一連の流れおよび財務諸表の作成について、上場企業レベルの資料を作成することができることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	本支店会計①（応用編）
	2	本支店会計②（応用編）
	3	本支店会計③（応用編）
	4	製造業を営む会社の決算処理①（応用編）
	5	製造業を営む会社の決算処理②（応用編）
	6	製造業を営む会社の決算処理③（応用編）
	7	伝票①（応用編）
	8	伝票②（応用編）
	9	伝票③（応用編）
	10	商業簿記総まとめ①
	11	商業簿記総まとめ②
	12	商業簿記総まとめ③
	13	商業簿記総まとめ④
	14	商業簿記総まとめ⑤
	15	商業簿記総まとめ⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級工業簿記応用 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	費目別計算①（応用編）
	2	費目別計算②（応用編）
	3	単純個別原価計算①（応用編）
	4	単純個別原価計算②（応用編）
	5	部門別計算①（応用編）
	6	部門別計算②（応用編）
	7	工企業の財務諸表（応用編）
	8	単純総合原価計算①（応用編）
	9	単純総合原価計算②（応用編）
	10	工程別総合原価計算（応用編）
	11	組別総合原価計算、等級別総合原価計算（応用編）
	12	標準原価計算①（応用編）
	13	標準原価計算②（応用編）
	14	原価・営業量・利益関係の分析（応用編）
	15	直接原価計算（応用編）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級簿記総合Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記2級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（中級編）	31	総合問題演習②（テスト形式_中級編）
	2	商業簿記総まとめ②（中級編）	32	総合問題演習②（テスト形式_中級編）
	3	商業簿記総まとめ③（中級編）	33	総合問題演習②（テスト形式_中級編）
	4	商業簿記総まとめ④（中級編）	34	総合問題演習③（テスト形式_中級編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（中級編）	35	総合問題演習③（テスト形式_中級編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（中級編）	36	総合問題演習③（テスト形式_中級編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（中級編）	37	総合問題演習④（テスト形式_中級編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（中級編）	38	総合問題演習④（テスト形式_中級編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（中級編）	39	総合問題演習④（テスト形式_中級編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（中級編）	40	総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（中級編）	41	総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
	12	商業簿記総まとめ⑫（中級編）	42	総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
	13	商業簿記総まとめ⑬（中級編）	43	総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
	14	商業簿記総まとめ⑭（中級編）	44	総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
	15	商業簿記総まとめ⑮（中級編）	45	総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
	16	工業簿記総まとめ①（中級編）		
	17	工業簿記総まとめ②（中級編）		
	18	工業簿記総まとめ③（中級編）		
	19	工業簿記総まとめ④（中級編）		
	20	工業簿記総まとめ⑤（中級編）		
	21	工業簿記総まとめ⑥（中級編）		
	22	工業簿記総まとめ⑦（中級編）		
	23	工業簿記総まとめ⑧（中級編）		
	24	工業簿記総まとめ⑨（中級編）		
	25	工業簿記総まとめ⑩（中級編）		
	26	工業簿記総まとめ⑪（中級編）		
	27	工業簿記総まとめ⑫（中級編）		
	28	総合問題演習①（テスト形式_中級編）		
	29	総合問題演習①（テスト形式_中級編）		
	30	総合問題演習①（テスト形式_中級編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級簿記総合Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の演習を通じて学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記2級の応用的な会計知識と計算技術の習得を目的とし、かつ、有価証券報告書を読み取ることができることを目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（応用編）	31	総合問題演習②（テスト形式_応用編）
	2	商業簿記総まとめ②（応用編）	32	総合問題演習②（テスト形式_応用編）
	3	商業簿記総まとめ③（応用編）	33	総合問題演習②（テスト形式_応用編）
	4	商業簿記総まとめ④（応用編）	34	総合問題演習③（テスト形式_応用編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（応用編）	35	総合問題演習③（テスト形式_応用編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（応用編）	36	総合問題演習③（テスト形式_応用編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（応用編）	37	総合問題演習④（テスト形式_応用編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（応用編）	38	総合問題演習④（テスト形式_応用編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（応用編）	39	総合問題演習④（テスト形式_応用編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（応用編）	40	総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（応用編）	41	総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
	12	商業簿記総まとめ⑫（応用編）	42	総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
	13	商業簿記総まとめ⑬（応用編）	43	総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
	14	商業簿記総まとめ⑭（応用編）	44	総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
	15	商業簿記総まとめ⑮（応用編）	45	総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
	16	工業簿記総まとめ①（応用編）		
	17	工業簿記総まとめ②（応用編）		
	18	工業簿記総まとめ③（応用編）		
	19	工業簿記総まとめ④（応用編）		
	20	工業簿記総まとめ⑤（応用編）		
	21	工業簿記総まとめ⑥（応用編）		
	22	工業簿記総まとめ⑦（応用編）		
	23	工業簿記総まとめ⑧（応用編）		
	24	工業簿記総まとめ⑨（応用編）		
	25	工業簿記総まとめ⑩（応用編）		
	26	工業簿記総まとめ⑪（応用編）		
	27	工業簿記総まとめ⑫（応用編）		
	28	総合問題演習①（テスト形式_応用編）		
	29	総合問題演習①（テスト形式_応用編）		
	30	総合問題演習①（テスト形式_応用編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級会計学速習基礎			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	会計基準および適用指針など実務に直結する会計の基礎について短期間で学習し、問題演習は各自で行うことを原則とする			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	会計知識の習得および計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	財務諸表、有価証券（速習編）	31	在外子会社（速習編）
	2	デリバティブ取引・ヘッジ会計等（速習編）	32	企業結合①（速習編）
	3	有形固定資産（速習編）	33	企業結合②（速習編）
	4	割引現在価値（速習編）	34	事業分離（速習編）
	5	リース取引①（速習編）	35	本支店会計①（速習編）
	6	リース取引②（速習編）	36	本支店会計②（速習編）
	7	研究開発費とソフトウェア（速習編）	37	本支店会計③（速習編）
	8	固定資産の減損（速習編）	38	キャッシュ・フロー計算書①（速習編）
	9	繰延資産（速習編）	39	キャッシュ・フロー計算書②（速習編）
	10	社債①（速習編）	40	キャッシュ・フロー計算書③（速習編）
	11	社債②（速習編）	41	連結キャッシュ・フロー計算書①（速習編）
	12	引当金（速習編）	42	連結キャッシュ・フロー計算書②（速習編）
	13	退職給付①（速習編）	43	会計上の変更及び誤謬の訂正（速習編）
	14	退職給付②（速習編）	44	収益認識①（速習編）
	15	資産除去債務（速習編）	45	収益認識②（速習編）
	16	純資産（速習編）		
	17	新株予約権と新株予約権付社債（速習編）		
	18	ストック・オプション（速習編）		
	19	税効果会計①（速習編）		
	20	税効果会計②（速習編）		
	21	外貨建取引①（速習編）		
	22	外貨建取引②（速習編）		
	23	商品売買等（速習編）		
	24	連結財務諸表総論（速習編）		
	25	資本連結（速習編）		
	26	成果連結①（速習編）		
	27	成果連結②（速習編）		
	28	連結税効果会計（速習編）		
	29	持分法（速習編）		
	30	包括利益（速習編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算速習基礎	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容について短期間で学習し、問題演習は各自で行うことを原則とする	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総論（速習編）
	2	費目別計算（速習編）
	3	個別原価計算Ⅰ（速習編）
	4	部門別計算Ⅰ（速習編）
	5	部門別計算Ⅱ（速習編）
	6	個別原価計算Ⅱ（速習編）
	7	総合原価計算Ⅰ（速習編）
	8	総合原価計算Ⅱ（速習編）
	9	総合原価計算Ⅲ（速習編）
	10	総合原価計算Ⅳ（速習編）
	11	総合原価計算Ⅴ（速習編）
	12	総合原価計算Ⅵ（速習編）
	13	標準原価計算Ⅰ（速習編）
	14	標準原価計算Ⅱ（速習編）
	15	標準原価計算Ⅲ（速習編）
	16	標準原価計算Ⅳ（速習編）
	17	直接原価計算（速習編）
	18	短期利益計画（速習編）
	19	予算管理Ⅰ（速習編）
	20	予算管理Ⅱ（速習編）
	21	意思決定会計総論（速習編）
	22	業務的意思決定Ⅰ（速習編）
	23	業務的意思決定Ⅱ（速習編）
	24	構造的意決定Ⅰ（速習編）
	25	構造的意決定Ⅱ（速習編）
	26	構造的意決定Ⅲ（速習編）
	27	事業部制Ⅰ（速習編）
	28	事業部制Ⅱ（速習編）
	29	戦略的原価計算Ⅰ（速習編）
	30	戦略的原価計算Ⅱ（速習編）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級簿記速習総合			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	大企業を前提とした会計制度を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	より深い会計制度の知識習得および問題演習を通じて計算技術を習得することを目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記・会計学総まとめ①（速習編）	31	工業簿記・原価計算総まとめ⑥（速習編）
	2	商業簿記・会計学総まとめ②（速習編）	32	工業簿記・原価計算総まとめ⑦（速習編）
	3	商業簿記・会計学総まとめ③（速習編）	33	工業簿記・原価計算総まとめ⑧（速習編）
	4	商業簿記・会計学総まとめ④（速習編）	34	工業簿記・原価計算総まとめ⑨（速習編）
	5	商業簿記・会計学総まとめ⑤（速習編）	35	工業簿記・原価計算総まとめ⑩（速習編）
	6	商業簿記・会計学総まとめ⑥（速習編）	36	工業簿記・原価計算総まとめ⑪（速習編）
	7	商業簿記・会計学総まとめ⑦（速習編）	37	工業簿記・原価計算総まとめ⑫（速習編）
	8	商業簿記・会計学総まとめ⑧（速習編）	38	工業簿記・原価計算総まとめ⑬（速習編）
	9	商業簿記・会計学総まとめ⑨（速習編）	39	工業簿記・原価計算総まとめ⑭（速習編）
	10	商業簿記・会計学総まとめ⑩（速習編）	40	工業簿記・原価計算総まとめ⑮（速習編）
	11	商業簿記・会計学総まとめ⑪（速習編）	41	工業簿記・原価計算総まとめ⑯（速習編）
	12	商業簿記・会計学総まとめ⑫（速習編）	42	工業簿記・原価計算総まとめ⑰（速習編）
	13	商業簿記・会計学総まとめ⑬（速習編）	43	工業簿記・原価計算総まとめ⑱（速習編）
	14	商業簿記・会計学総まとめ⑭（速習編）	44	工業簿記・原価計算総まとめ⑲（速習編）
	15	商業簿記・会計学総まとめ⑮（速習編）	45	工業簿記・原価計算総まとめ⑳（速習編）
	16	商業簿記・会計学総まとめ⑯（速習編）	46	総合問題演習①（テスト形式）
	17	商業簿記・会計学総まとめ⑰（速習編）	47	総合問題演習②（テスト形式）
	18	商業簿記・会計学総まとめ⑱（速習編）	48	総合問題演習③（テスト形式）
	19	商業簿記・会計学総まとめ⑲（速習編）	49	総合問題演習④（テスト形式）
	20	商業簿記・会計学総まとめ⑳（速習編）	50	総合問題演習⑤（テスト形式）
	21	商業簿記・会計学総まとめ㉑（速習編）	51	総合問題演習⑥（テスト形式）
	22	商業簿記・会計学総まとめ㉒（速習編）	52	総合問題演習⑦（テスト形式）
	23	商業簿記・会計学総まとめ㉓（速習編）	53	総合問題演習⑧（テスト形式）
	24	商業簿記・会計学総まとめ㉔（速習編）	54	総合問題演習⑨（テスト形式）
	25	商業簿記・会計学総まとめ㉕（速習編）	55	総合問題演習⑩（テスト形式）
	26	工業簿記・原価計算総まとめ①（速習編）	56	総合問題演習⑪（テスト形式）
	27	工業簿記・原価計算総まとめ②（速習編）	57	総合問題演習⑫（テスト形式）
	28	工業簿記・原価計算総まとめ③（速習編）	58	総合問題演習⑬（テスト形式）
	29	工業簿記・原価計算総まとめ④（速習編）	59	総合問題演習⑭（テスト形式）
	30	工業簿記・原価計算総まとめ⑤（速習編）	60	総合問題演習⑮（テスト形式）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級会計学入門 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	財務諸表（入門編）	31	商品売買等①（入門編）
	2	有価証券（入門編）	32	商品売買等②（入門編）
	3	デリバティブ取引・ヘッジ会計（入門編）	33	商品売買等③（入門編）
	4	有形固定資産①（入門編）	34	本支店会計①（入門編）
	5	有形固定資産②（入門編）	35	本支店会計②（入門編）
	6	割引現在価値（入門編）	36	本支店会計③（入門編）
	7	リース取引①（入門編）	37	連結財務諸表総論①（入門編）
	8	リース取引②（入門編）	38	連結財務諸表総論②（入門編）
	9	研究開発費とソフトウェア（入門編）	39	資本連結①（入門編）
	10	固定資産の減損①（入門編）	40	資本連結②（入門編）
	11	固定資産の減損②（入門編）	41	資本連結③（入門編）
	12	繰延資産（入門編）	42	資本連結④（入門編）
	13	社債（入門編）	43	成果連結①（入門編）
	14	貸倒引当金（入門編）	44	成果連結②（入門編）
	15	退職給付①（入門編）	45	成果連結③（入門編）
	16	退職給付②（入門編）		
	17	資産除去債務①（入門編）		
	18	資産除去債務②（入門編）		
	19	純資産①（入門編）		
	20	純資産②（入門編）		
	21	純資産③（入門編）		
	22	新株予約権と新株予約権付社債（入門編）		
	23	ストック・オプション①（入門編）		
	24	ストック・オプション②（入門編）		
	25	税効果会計①（入門編）		
	26	税効果会計②（入門編）		
	27	税効果会計③（入門編）		
	28	外貨建取引①（入門編）		
	29	外貨建取引②（入門編）		
	30	外貨建取引③（入門編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級原価計算入門 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な内容を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	工業簿記と原価計算（入門編）	31	業務的意思決定②（入門編）
	2	費目別計算①（入門編）	32	業務的意思決定③（入門編）
	3	費目別計算②（入門編）	33	業務的意思決定④（入門編）
	4	部門別計算①（入門編）	34	業務的意思決定⑤（入門編）
	5	部門別計算②（入門編）	35	業務的意思決定⑥（入門編）
	6	部門別計算③（入門編）	36	構造的意決定①（入門編）
	7	部門別計算④（入門編）	37	構造的意決定②（入門編）
	8	部門別計算⑤（入門編）	38	構造的意決定③（入門編）
	9	部門別計算⑥（入門編）	39	構造的意決定④（入門編）
	10	個別原価計算①（入門編）	40	構造的意決定⑤（入門編）
	11	個別原価計算②（入門編）	41	構造的意決定⑥（入門編）
	12	個別原価計算③（入門編）	42	戦略的原価計算①（入門編）
	13	総合原価計算④（入門編）	43	戦略的原価計算②（入門編）
	14	総合原価計算⑤（入門編）	44	戦略的原価計算③（入門編）
	15	総合原価計算⑥（入門編）	45	戦略的原価計算④（入門編）
	16	総合原価計算⑦（入門編）		
	17	総合原価計算⑧（入門編）		
	18	標準原価計算①（入門編）		
	19	標準原価計算②（入門編）		
	20	標準原価計算③（入門編）		
	21	標準原価計算④（入門編）		
	22	標準原価計算⑤（入門編）		
	23	直接原価計算（入門編）		
	24	短期利益計画①（入門編）		
	25	短期利益計画②（入門編）		
	26	短期利益計画③（入門編）		
	27	予算管理①（入門編）		
	28	予算管理②（入門編）		
	29	予算管理③（入門編）		
	30	業務的意思決定①（入門編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の基礎について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	持分法①（基礎編）
	2	持分法②（基礎編）
	3	連結税効果①（基礎編）
	4	連結税効果②（基礎編）
	5	包括利益（基礎編）
	6	在外子会社（基礎編）
	7	企業結合①（基礎編）
	8	企業結合②（基礎編）
	9	事業分離①（基礎編）
	10	事業分離②（基礎編）
	11	キャッシュフロー計算書①（基礎編）
	12	キャッシュフロー計算書②（基礎編）
	13	連結キャッシュフロー計算書①（基礎編）
	14	連結キャッシュフロー計算書②（基礎編）
	15	会計上の変更及び誤謬の訂正（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	個別原価計算（基礎編）
	2	部門別計算（基礎編）
	3	総合原価計算①（基礎編）
	4	総合原価計算②（基礎編）
	5	標準原価計算①（基礎編）
	6	標準原価計算②（基礎編）
	7	標準原価計算③（基礎編）
	8	予算管理（基礎編）
	9	業務的意思決定①（基礎編）
	10	業務的意思決定②（基礎編）
	11	構造的意意思決定①（基礎編）
	12	構造的意意思決定②（基礎編）
	13	戦略的原価計算（基礎編）
	14	事業部制①（基礎編）
	15	事業部制②（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級会計学総合 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記検定1級合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記・会計学総まとめ①	31	総合問題対策⑥（テスト形式の問題解説）
	2	商業簿記・会計学総まとめ②	32	総合問題対策⑦（テスト形式の問題解説）
	3	商業簿記・会計学総まとめ③	33	総合問題対策⑧（テスト形式の問題解説）
	4	商業簿記・会計学総まとめ④	34	総合問題対策⑨（テスト形式の問題解説）
	5	商業簿記・会計学総まとめ⑤	35	総合問題対策⑩（テスト形式の問題解説）
	6	商業簿記・会計学総まとめ⑥	36	総合問題対策⑪（テスト形式の問題解説）
	7	商業簿記・会計学総まとめ⑦	37	総合問題対策⑫（テスト形式の問題解説）
	8	商業簿記・会計学総まとめ⑧	38	総合問題対策⑬（テスト形式の問題解説）
	9	商業簿記・会計学総まとめ⑨	39	総合問題対策⑭（テスト形式の問題解説）
	10	商業簿記・会計学総まとめ⑩	40	総合問題対策⑮（テスト形式の問題解説）
	11	商業簿記・会計学総まとめ⑪	41	総合問題対策⑯（テスト形式の問題解説）
	12	商業簿記・会計学総まとめ⑫	42	総合問題対策⑰（テスト形式の問題解説）
	13	商業簿記・会計学総まとめ⑬	43	総合問題対策⑱（テスト形式の問題解説）
	14	商業簿記・会計学総まとめ⑭	44	総合問題対策⑲（テスト形式の問題解説）
	15	商業簿記・会計学総まとめ⑮	45	総合問題対策⑳（テスト形式の問題解説）
	16	商業簿記・会計学総まとめ⑯		
	17	商業簿記・会計学総まとめ⑰		
	18	商業簿記・会計学総まとめ⑱		
	19	商業簿記・会計学総まとめ⑲		
	20	商業簿記・会計学総まとめ⑳		
	21	商業簿記・会計学総まとめ㉑		
	22	商業簿記・会計学総まとめ㉒		
	23	商業簿記・会計学総まとめ㉓		
	24	商業簿記・会計学総まとめ㉔		
	25	商業簿記・会計学総まとめ㉕		
	26	総合問題対策①（テスト形式の問題解説）		
	27	総合問題対策②（テスト形式の問題解説）		
	28	総合問題対策③（テスト形式の問題解説）		
	29	総合問題対策④（テスト形式の問題解説）		
	30	総合問題対策⑤（テスト形式の問題解説）		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級原価計算総合 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記検定1級合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	工業簿記・原価計算総まとめ①	31	総合問題対策⑥（テスト形式の問題解説）
	2	工業簿記・原価計算総まとめ②	32	総合問題対策⑦（テスト形式の問題解説）
	3	工業簿記・原価計算総まとめ③	33	総合問題対策⑧（テスト形式の問題解説）
	4	工業簿記・原価計算総まとめ④	34	総合問題対策⑨（テスト形式の問題解説）
	5	工業簿記・原価計算総まとめ⑤	35	総合問題対策⑩（テスト形式の問題解説）
	6	工業簿記・原価計算総まとめ⑥	36	総合問題対策⑪（テスト形式の問題解説）
	7	工業簿記・原価計算総まとめ⑦	37	総合問題対策⑫（テスト形式の問題解説）
	8	工業簿記・原価計算総まとめ⑧	38	総合問題対策⑬（テスト形式の問題解説）
	9	工業簿記・原価計算総まとめ⑨	39	総合問題対策⑭（テスト形式の問題解説）
	10	工業簿記・原価計算総まとめ⑩	40	総合問題対策⑮（テスト形式の問題解説）
	11	工業簿記・原価計算総まとめ⑪	41	総合問題対策⑯（テスト形式の問題解説）
	12	工業簿記・原価計算総まとめ⑫	42	総合問題対策⑰（テスト形式の問題解説）
	13	工業簿記・原価計算総まとめ⑬	43	総合問題対策⑱（テスト形式の問題解説）
	14	工業簿記・原価計算総まとめ⑭	44	総合問題対策⑲（テスト形式の問題解説）
	15	工業簿記・原価計算総まとめ⑮	45	総合問題対策⑳（テスト形式の問題解説）
	16	工業簿記・原価計算総まとめ⑯		
	17	工業簿記・原価計算総まとめ⑰		
	18	工業簿記・原価計算総まとめ⑱		
	19	工業簿記・原価計算総まとめ⑲		
	20	工業簿記・原価計算総まとめ⑳		
	21	工業簿記・原価計算総まとめ㉑		
	22	工業簿記・原価計算総まとめ㉒		
	23	工業簿記・原価計算総まとめ㉓		
	24	工業簿記・原価計算総まとめ㉔		
	25	工業簿記・原価計算総まとめ㉕		
	26	総合問題対策①（テスト形式の問題解説）		
	27	総合問題対策②（テスト形式の問題解説）		
	28	総合問題対策③（テスト形式の問題解説）		
	29	総合問題対策④（テスト形式の問題解説）		
	30	総合問題対策⑤（テスト形式の問題解説）		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学 I 地理	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	気候、地形、世界各国の産業など地理の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な地理の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	世界の地形（山地と平野）
	2	世界の地形（様々な地形）
	3	世界の気候（熱帯、乾燥帯、冷帯、寒帯）
	4	世界の気候（温帯）
	5	地理演習
	6	世界の農業（アジア、ヨーロッパ）
	7	世界の農業（アメリカ、オセアニア）
	8	世界の資源
	9	世界の工業
	10	地理演習
	11	世界地誌（アジア、アフリカ）
	12	世界地誌（ヨーロッパ、アメリカ、オセアニア）
	13	生活と地域
	14	日本地誌
	15	地理演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学Ⅱ 日本史	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	大和政権から昭和までの日本史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な日本史の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	古代史
	2	中世史①（鎌倉時代）
	3	中世史②（室町時代）
	4	近世史①（安土桃山時代、江戸時代初期）
	5	近世史②（三大改革）
	6	近世史③（三大改革）
	7	近代史①（幕末、明治維新と文明開化）
	8	近代史②（立憲体制の成立）
	9	近代史③（日清・日露戦争と資本主義の発展）
	10	近代史④（第一次世界大戦と戦後の外交）
	11	近代史⑤（第二次世界大戦と日本）
	12	現代史①（GHQの統治時代、1950年代の日本）
	13	現代史②（1960年代以降の日本）
	14	文化史①（古代、中世）
	15	文化史②（近世、近代、現代）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学Ⅲ 世界史	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	中国の歴代王朝と、ヨーロッパ世界を中心とした世界の歴史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な近隣国および近代歴史の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	四大文明、オリエント世界の動向、殷、周、秦、漢
	2	魏晋南北朝、隋、唐
	3	宋、元
	4	明、清
	5	清の崩壊
	6	ヴェルサイユ体制
	7	第二次世界大戦
	8	第二次世界大戦後の世界
	9	中世ヨーロッパ、ルネサンス、大航海時代、宗教改革
	10	絶対主義
	11	イギリス市民革命、アメリカ独立革命
	12	フランス革命
	13	ウィーン体制
	14	19世紀のヨーロッパ
	15	第一次世界大戦
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅱ 地学	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	地球の内部構造から宇宙まで、幅広い地学分野を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	地球を中心とした、自然環境を理解し知識を広げる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	地球の姿と動く大地
	2	地震
	3	岩石
	4	大気と海洋
	5	気象現象、日本の四季
	6	太陽系と宇宙の構造
	7	太陽系と惑星
	8	恒星の世界
	9	地学演習
	10	地学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅲ 物理	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	電気や力学など物理分野の基礎的な知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	運動の表現
	2	力1
	3	力2、運動方程式
	4	エネルギー
	5	運動量、熱
	6	波動
	7	電気
	8	電気と磁力、原子
	9	物理演習
	10	物理演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅳ 化学	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	原子や化学反応など化学分野の基礎的な知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	化学反応現象を、反応式で捉えられるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	物質の構造 1
	2	物質の構造 2
	3	物質の状態
	4	物質の変化 1
	5	物質の変化 2
	6	物質の変化 3、有機化合物
	7	無機化合物 1
	8	無機化合物 2
	9	化学演習
	10	化学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習 I 数的処理	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	数的処理の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	オリジナルテキスト・スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	論理、集合の要素
	2	順序
	3	対応
	4	位置と方位
	5	勝ち負け、カード・ゲーム
	6	ウソの発言、推理・手順
	7	折り紙、回転の軌跡
	8	正多面体・展開図
	9	平面図形の構成、サイコロ
	10	見取図と投影図・積木
	11	立体の切断・回転体、一筆書き
	12	平面図形の計量①
	13	平面図形の計量②
	14	立体図形の計量
	15	方程式・不等式
	16	整数・計算、パズル
	17	割合と比
	18	速さ
	19	仕事算
	20	場合の数、確率
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅱ 社会科学	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	政治・経済の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	公務に必要な社会科学分野の基礎知識を定着させる	
教科書	オリジナルテキスト、スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	政治の基本理念、政治制度論
	2	基本的人権①
	3	基本的人権②
	4	基本的人権③
	5	国会の機構と運営
	6	内閣の機構と運営
	7	裁判所の機構と運営
	8	地方自治、選挙制度
	9	現代の企業、現代の市場
	10	国民所得
	11	通貨制度と金融政策
	12	通貨制度と金融政策
	13	財政制度と財政政策
	14	貿易と外国為替
	15	国際経済の動向
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅲ 人文科学	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	地理・歴史の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な人文科学分野の基礎知識を定着させる	
教科書	オリジナルテキスト、スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	平安時代・鎌倉時代・室町時代
	2	江戸時代
	3	明治時代・大正時代
	4	現代
	5	通史
	6	世界の地形・世界の気候
	7	世界の農業
	8	世界の工業・資源
	9	日本地誌
	10	世界地誌
	11	東洋史（前半）
	12	東洋史（後半）
	13	第二次世界大戦と戦後世界
	14	中世ヨーロッパから近世ヨーロッパ
	15	近代ヨーロッパと第一次世界大戦
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅳ 自然科学	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	生物・地学の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識を定着させる	
教科書	オリジナルテキスト、スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	生体の構造、生体内の代謝
	2	生体内の代謝
	3	生体内の代謝、生殖と発生、遺伝と変異
	4	遺伝と変異、刺激の受容と反応
	5	刺激の受容と反応、内部環境の恒常性と調整
	6	内部環境の恒常性と調整、生物の集団、生物の進化と系統
	7	地球の姿と動く大地
	8	岩石、大気と海洋
	9	大気と海洋、太陽系と宇宙の構造
	10	太陽系と宇宙の構造、地球と人類
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎答案練習	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	基礎的な内容に一部実践的な問題を加えた50題の模擬試験で30点以上を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	基礎的なレベルの模擬試験 1
	2	基礎的なレベルの模擬試験 1 の復習
	3	基礎的なレベルの模擬試験 2
	4	基礎的なレベルの模擬試験 2 の復習
	5	基礎的なレベルの模擬試験 3
	6	基礎的なレベルの模擬試験 3 の復習
	7	基礎的なレベルの模擬試験 4
	8	基礎的なレベルの模擬試験 4 の復習
	9	基礎的なレベルの模擬試験 5
	10	基礎的なレベルの模擬試験 5 の復習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	憲法	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	憲法総論
	2	基本的人権総論
	3	基本的人権総論
	4	包括的基本権
	5	法の下での平等
	6	思想及び良心の自由、学問の自由
	7	信教の自由
	8	表現の自由
	9	表現の自由
	10	表現の自由
	11	職業選択の自由
	12	財産権
	13	人身の自由
	14	社会権、参政権、受益権
	15	国会
	16	国会
	17	内閣
	18	裁判所
	19	裁判所
	20	財政、地方自治、憲法改正、天皇、平和主義
	21	総合演習 1
	22	総合演習 2
	23	総合演習 3
	24	総合演習 4
	25	総合演習 5
	26	総合演習 6
	27	総合演習 7
	28	総合演習 8
	29	総合演習 9
	30	総合演習 10
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	民法
実務家教員	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	通年
科目区分	選択A
授業方法	講義
単位数	3単位
授業回数	35回
授業概要	総則や物権、債権など民法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な民法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 権利能力、意思能力と行為能力
	2 無効・取消し
	3 意思の不存在、瑕疵ある意思表示
	4 代理権
	5 代理行為、無権代理
	6 無権代理と相続、表見代理
	7 時効総説、時効の完成猶予・更新
	8 取得時効、消滅時効、物権の効力
	9 物権変動の一般理論、177条（対抗要件主義）
	10 物権変動と登記の要否
	11 即時取得制度、占有の効力
	12 共有、地役権
	13 担保物権総論、留置権
	14 抵当権
	15 復代理、質権
	16 法定地上権、譲渡担保
	17 債務不履行、債務不履行に基づく損害賠償
	18 債権者代位権
	19 詐害行為取消権（債権者取消権）
	20 連帯債務、保証債務
	21 債権譲渡
	22 弁済、相殺
	23 契約の効力（双務契約の特則）、契約の解除
	24 売買（1）
	25 売買（2）
	26 賃貸借
	27 不当利得
	28 不法行為
	29 婚姻、親子関係
	30 相続、遺留分
	31 弁済の提供、受領遅滞、解除の効果など
	32 贈与、請負、委任など
	33 民法演習 1
	34 民法演習 2
	35 民法演習 3
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政法	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	行政法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な行政法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	行政法の一般的な法理論
	2	行政法の一般的な法理論
	3	行政上の法律関係、行政行為の意義・分類
	4	行政行為の効力
	5	行政行為の瑕疵
	6	行政行為の裁量、行政行為の成立・消滅
	7	行政行為の附款、行政強制
	8	行政罰、行政調査
	9	行政契約、行政計画
	10	行政立法
	11	行政手続法総則
	12	申請に対する処分、不利益処分
	13	行政指導、処分等の求め
	14	意見公募手続等、手続の瑕疵
	15	行政機関情報公開法
	16	行政救済法一般・行政不服審査法
	17	行政不服審査法
	18	行政不服審査法・行政事件訴訟法総則行政事件訴訟法総則
	19	取消訴訟（訴訟要件）
	20	取消訴訟（訴訟要件）
	21	取消訴訟（訴訟要件）
	22	取消訴訟（審理等）
	23	取消訴訟（審理等）
	24	国家補償
	25	国家補償
	26	国家補償
	27	行政組織法
	28	公物法・地方自治法
	29	地方自治法
	30	総合演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	政治学	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	政治学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な政治学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	政治学の基礎概念、政治の概念、近代国家、国家論と政治体制
	2	政治権力、政治的イデオロギー
	3	現代社会と政治、エリート論と大衆社会論、リーダーシップ論
	4	イデオロギーと政治意識、政治文化
	5	マス・メディア、政治過程論、政党
	6	選挙制度、投票行動
	7	圧力団体、立法過程
	8	政策過程
	9	政治制度論、権力分立論、議院内閣制
	10	大統領制、政治思想と政治理論、近代政治思想の誕生、社会契約説、保守主義、功利主義、行動論政治学、現代政治思想
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政学	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	行政学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な行政学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	行政国家と福祉国家、官房学とシュタイン行政学
	2	アメリカ行政学形成の背景、政治行政二分論、正統派行政学への批判
	3	科学的管理法と古典的組織理論、人間関係論、現代組織理論
	4	日本の行政組織、日本の行政組織の作動様式、行政改革
	5	官僚制論
	6	公務員制度
	7	政策過程概要、政策形成、政策決定
	8	政策評価、予算・決算制度
	9	行政責任・行政統制、オンブズマン制度
	10	行政と情報管理、中央地方関係、日本の地方自治制度の歴史、日本の地方自治制度、地方自治の諸問題
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ミクロ経済学	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	ミクロ経済学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要なミクロ経済学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	市場の働き①
	2	市場の働き②
	3	市場の働き③
	4	市場の働き④
	5	市場の働き⑤
	6	市場の働き⑥
	7	家計の行動①
	8	家計の行動②
	9	家計の行動③
	10	家計の行動④
	11	家計の行動⑤
	12	家計の行動⑥
	13	企業の行動①
	14	企業の行動②
	15	企業の行動③
	16	不完全競争市場①
	17	不完全競争市場②
	18	不完全競争市場③
	19	公共経済学①
	20	公共経済学②
	21	公共経済学③
	22	国際貿易①
	23	国際貿易②
	24	リスクの経済学とゲーム理論
	25	総合演習 1
	26	総合演習 2
	27	総合演習 3
	28	総合演習 4
	29	総合演習 5
	30	総合演習 6
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マクロ経済学	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	マクロ経済学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要なマクロ経済学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	第1章 マクロ経済の測定①
	2	第1章 マクロ経済の測定②
	3	第1章 マクロ経済の測定③
	4	第1章 マクロ経済の測定④
	5	第2章 短期① 経済規模①
	6	第2章 短期① 経済規模②
	7	第2章 短期① 経済規模③
	8	第2章 短期① 経済規模④
	9	第3章 短期② 貨幣と利子率①
	10	第3章 短期② 貨幣と利子率②
	11	第3章 短期② 貨幣と利子率③
	12	第4章 短期③ 政策効果
	13	第5章 短期④ 国際マクロ経済①
	14	第5章 短期④ 国際マクロ経済②
	15	第5章 短期④ 国際マクロ経済③
	16	第5章 短期④ 国際マクロ経済④
	17	第6章 長期① 消費と貯蓄・投資①
	18	第6章 長期① 消費と貯蓄・投資②
	19	第6章 長期① 消費と貯蓄・投資③
	20	第7章 長期② 経済成長①
	21	第7章 長期② 経済成長②
	22	第7章 長期② 経済成長③
	23	第8章 長期③ 物価と失業率
	24	第9章 長期④ 物価と資産①
	25	第9章 長期④ 物価と資産②
	26	第10章 マクロ経済政策
	27	総合演習1
	28	総合演習2
	29	総合演習3
	30	総合演習4
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財政学	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	財政学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な財政学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	財政の基礎
	2	財政制度
	3	租税
	4	租税
	5	公債
	6	公債
	7	日本財政史
	8	地方財政
	9	地方財政
	10	財政事情の国際比較
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	社会学	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	社会学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な社会学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	社会学史
	2	社会学史
	3	社会学史
	4	社会学史
	5	社会学の基礎概念
	6	社会学の基礎概念
	7	社会学の基礎概念
	8	社会集団、地域社会
	9	経営と労働
	10	社会学の現代的課題、社会調査
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会計学	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	会計学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な会計学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の目的、取引・仕訳・勘定・試算表、等
	2	株式会社の資本、決算
	3	企業会計の基礎、一般原則、損益会計
	4	資産会計
	5	負債会計、純資産、財務諸表
	6	財表分析、連結財務諸表、為替換算会計、税効果会計、企業結合会計
	7	会計学問題演習 1
	8	会計学問題演習 2
	9	会計学問題演習 3
	10	会計学問題演習 4
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	社会事情	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	社会事情の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な社会事情の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	教育、文化、科学、情報
	2	警察、消防、環境、防災
	3	食料農業、観光、交通
	4	労働、経済
	5	国際組織、国際会議
	6	世界情勢、各国動向
	7	社会事情問題演習 1
	8	社会事情問題演習 2
	9	社会事情問題演習 3
	10	社会事情問題演習 4
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経済事情	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	経済事情の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な経済事情の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	日本経済事情①
	2	日本経済事情②
	3	日本経済事情③
	4	日本経済事情④
	5	世界経済事情①
	6	世界経済事情②
	7	経済事情問題演習 1
	8	経済事情問題演習 2
	9	経済事情問題演習 3
	10	経済事情問題演習 4
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国際関係	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	国際関係の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な国際関係の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	国際関係理論
	2	国際機関1
	3	国際機関2
	4	戦後国際政治史
	5	各地域の政治情勢と紛争、国際経済
	6	地域機構、日本外交史
	7	国際関係問題演習 1
	8	国際関係問題演習 2
	9	国際関係問題演習 3
	10	国際関係問題演習 4
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営学	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	経営学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な経営学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	伝統的管理論、人間関係論
	2	モチベーション論、近代組織論
	3	現代企業論、経営組織論
	4	経営戦略論
	5	日本的経営、生産管理・品質管理
	6	イノベーション論・製品開発論、マーケティング、企業財務論
	7	経営学問題演習1
	8	経営学問題演習2
	9	経営学問題演習3
	10	経営学問題演習4
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員 基礎情報工学	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	情報処理に活用することを前提とした数学知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	IT基礎全般において基本的な理解を深める	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ハードウェア I
	2	基礎理論
	3	ハードウェア II
	4	ソフトウェア
	5	アルゴリズム
	6	データベース
	7	ネットワーク
	8	セキュリティ
	9	システム構成要素
	10	マルチメディア
	11	システム開発
	12	マネジメント
	13	ストラテジ
	14	問題演習・解説
	15	問題演習・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員 IT基礎知識	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	デジタル枠での採用試験への対応を前提としたIT知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	ITパスポートレベルの情報技術知識の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	システム戦略、システム開発技術
	2	ソフトウェア開発管理技術
	3	プロジェクトマネジメント
	4	システム監査
	5	基礎理論
	6	アルゴリズムとプログラミング
	7	コンピュータ構成要素
	8	システム構成要素
	9	ソフトウェア
	10	ハードウェア
	11	ヒューマンインターフェース
	12	マルチメディア
	13	データベース
	14	ネットワーク
	15	セキュリティ
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	専門科目総合演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	専門科目全般の問題演習による総合力の強化	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	専門試験で合格点を上回る知識の定着	
教科書	科目別答案練習、オリジナルテキスト、実戦問題集	
特記		
授業計画	1	専門科目総合演習 1
	2	専門科目総合演習 2
	3	専門科目総合演習 3
	4	専門科目総合演習 4
	5	専門科目総合演習 5
	6	専門科目総合演習 6
	7	専門科目総合演習 7
	8	専門科目総合演習 8
	9	専門科目総合演習 9
	10	専門科目総合演習 10
	11	専門科目総合演習 11
	12	専門科目総合演習 12
	13	専門科目総合演習 13
	14	専門科目総合演習 14
	15	専門科目総合演習 15
	16	専門科目総合演習 16
	17	専門科目総合演習 17
	18	専門科目総合演習 18
	19	専門科目総合演習 19
	20	専門科目総合演習 20
	21	専門科目総合演習 21
	22	専門科目総合演習 22
	23	専門科目総合演習 23
	24	専門科目総合演習 24
	25	専門科目総合演習 25
	26	専門科目総合演習 26
	27	専門科目総合演習 27
	28	専門科目総合演習 28
	29	専門科目総合演習 29
	30	専門科目総合演習 30
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公官庁講話	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める	
授業の進め方	現役公務員の話聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする	
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する	
教科書	なし	
特記	国家省庁、国家公安、地方行政、警察官、消防官など幅広い職種の現職公務員の実務経験に基づく講義	
授業計画	1	職種別の業務内容、試験内容に関する講義
	2	受験手続に関する講義
	3	職種別ガイダンス1
	4	職種別ガイダンス2
	5	職種別ガイダンス3
	6	日程別受験先選択の為の講義
	7	職種別ガイダンス4
	8	職種別ガイダンス5
	9	職種別ガイダンス6
	10	職種別ガイダンス7
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員就職試験数理分野対策 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
単位数	1 単位	
授業回数	1 5 回	
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	解法を理解し演習を繰り返すことで、早く正確に答えを導き出せるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	数理対策演習 1
	2	数理対策演習 2
	3	数理対策演習 3
	4	数理対策演習 4
	5	数理対策演習 5
	6	数理対策演習 6
	7	数理対策演習 7
	8	数理対策演習 8
	9	数理対策演習 9
	10	数理対策演習 1 0
	11	数理対策演習 1 1
	12	数理対策演習 1 2
	13	数理対策演習 1 3
	14	数理対策演習 1 4
	15	数理対策演習 1 5
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数学 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 A	
授業方法	講義	
単位数	1 単位	
授業回数	10 回	
授業概要	基本的な数学計算の能力を身に着け、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	数と式、二次方程式を中心に、基礎的な知識と計算技術を身に着ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	数と式
	2	方程式
	3	関数
	4	微分積分
	5	式と図形、不等式と領域
	6	指数、対数
	7	三角関数、ベクトル
	8	数と体系
	9	数学演習
	10	数学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎言語Ⅱ 英語	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	文法や熟語など英語分野の基礎的な知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務で求められる基礎的な英語力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	文の種類
	2	be動詞・動詞、熟語
	3	現在時制・過去時制
	4	未来表現
	5	完了形
	6	助動詞
	7	受動態
	8	不定詞
	9	動名詞
	10	関係詞
	11	仮定法
	12	接続詞
	13	話法、否定
	14	強調・倒置・省略
	15	前置詞・名詞・代名詞・冠詞
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学総合	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	西洋および東洋の倫理や芸術、文学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な倫理・芸術・文学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	古代ギリシャの思想家、経験論・合理論・観念論
	2	功利主義、プラグマティズム、実存主義
	3	日本の思想家、諸子百家
	4	西洋美術、西洋文学、西洋音楽、西洋建築
	5	江戸時代までの日本文学、明治時代以降の日本文学
	6	人文科学演習
	7	人文科学演習
	8	人文科学演習
	9	人文科学演習
	10	人文科学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 数的処理 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	問題演習を通じ、数的処理の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	スタンダード問題集、実戦問題集	
特記		
授業計画	1	論理、集合の要素の個数
	2	順序
	3	対応
	4	位置と方位
	5	折り紙、回転の軌跡
	6	正多面体・展開図
	7	平面図形の構成、サイコロ
	8	方程式・不等式、整数・計算パズル
	9	割合と比
	10	資料解釈
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 数的処理Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	問題演習を通じ、数的処理の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	スタンダード問題集、実戦問題集	
特記		
授業計画	1	勝ち負け、カード・ゲーム
	2	ウソの発言、推理・手順、暗号
	3	見取り図と投影図、積木
	4	立体の切断・回転体、一筆書き
	5	平面図形の軽量
	6	立体図形の軽量
	7	速さ
	8	仕事算
	9	場合の数、確率
	10	資料解釈
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 知識系科目総合 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	問題演習を通じ、知識系科目の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	社会科学分野に関するより幅広い知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト、実戦問題集	
特記		
授業計画	1	政治 基本理念、政治制度
	2	政治 基本的人権
	3	政治 国会と内閣と裁判所の機構と運営
	4	政治 地方自治制度、選挙制度
	5	経済 現代の企業と市場
	6	経済 国民所得と通貨制度
	7	経済 金融政策と財政政策
	8	経済 貿易と国際経済の動向
	9	社会 労働問題と社会保障
	10	社会 環境問題と国際関係
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 知識系科目総合Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	問題演習を通じ、知識系科目の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	人文科学分野に関するより幅広い知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト、実戦問題集	
特記		
授業計画	1	日本史 古代～中世
	2	日本史 近世～近代
	3	日本史 現代
	4	世界史 東洋史
	5	世界史 第二次世界大戦
	6	世界史 近代ヨーロッパ～第一次世界大戦
	7	地理 世界の地形・気候
	8	地理 世界の工業・資源
	9	地理 日本地誌
	10	地理 世界地誌
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 数的処理本試験対策	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	数的分野全般について、更なる問題演習による試験直前の応用力強化	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	実戦問題集	
特記		
授業計画	1	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策1
	2	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策2
	3	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策3
	4	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策4
	5	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策5
	6	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策6
	7	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策7
	8	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策8
	9	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策9
	10	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策10
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	総合答案練習 1
実務家教員	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択 A
授業方法	演習
単位数	5単位
授業回数	75回
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	基礎的な内容の50題の模擬試験で30点以上を取得する
教科書	模擬試験
特記	
	1 基礎的なレベルの模擬試験①
	2 模擬試験の解説（知能系科目）
	3 模擬試験の解説（知識系科目）
	4 基礎的なレベルの模擬試験②
	5 模擬試験の解説（知能系科目）
	6 模擬試験の解説（知識系科目）
	7 基礎的なレベルの模擬試験③
	8 模擬試験の解説（知能系科目）
	9 模擬試験の解説（知識系科目）
	10 基礎的なレベルの模擬試験④
	11 模擬試験の解説（知能系科目）
	12 模擬試験の解説（知識系科目）
	13 基礎的なレベルの模擬試験⑤
	14 模擬試験の解説（知能系科目）
	15 模擬試験の解説（知識系科目）
	16 基礎的なレベルの模擬試験⑥
	17 模擬試験の解説（知能系科目）
	18 模擬試験の解説（知識系科目）
	19 基礎的なレベルの模擬試験⑦
	20 模擬試験の解説（知能系科目）
	21 模擬試験の解説（知識系科目）
	22 基礎的なレベルの模擬試験⑧
	23 模擬試験の解説（知能系科目）
	24 模擬試験の解説（知識系科目）
	25 基礎的なレベルの模擬試験⑨
	26 模擬試験の解説（知能系科目）
	27 模擬試験の解説（知識系科目）
	28 基礎的なレベルの模擬試験⑩
	29 模擬試験の解説（知能系科目）
	30 模擬試験の解説（知識系科目）
	31 基礎的なレベルの模擬試験⑪
	32 模擬試験の解説（知能系科目）
	33 模擬試験の解説（知識系科目）
	34 基礎的なレベルの模擬試験⑫
	35 模擬試験の解説（知能系科目）
	36 模擬試験の解説（知識系科目）
	37 一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑬
	38 模擬試験の解説（知能系科目）
	39 模擬試験の解説（知識系科目）
	40 一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑭
	41 模擬試験の解説（知能系科目）
	42 模擬試験の解説（知識系科目）
	43 一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑮
	44 模擬試験の解説（知能系科目）
	45 模擬試験の解説（知識系科目）
	46 一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑯
	47 模擬試験の解説（知能系科目）
	48 模擬試験の解説（知識系科目）
	49 一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑰
	50 模擬試験の解説（知能系科目）
	51 模擬試験の解説（知識系科目）
	52 一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑱
	53 模擬試験の解説（知能系科目）
	54 模擬試験の解説（知識系科目）
	55 一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑲
	56 模擬試験の解説（知能系科目）
	57 模擬試験の解説（知識系科目）
	58 一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑳
	59 模擬試験の解説（知能系科目）
	60 模擬試験の解説（知識系科目）
	61 一部応用レベルの問題も含む模擬試験㉑
	62 模擬試験の解説（知能系科目）
	63 模擬試験の解説（知識系科目）
	64 一部応用レベルの問題も含む模擬試験㉒
	65 模擬試験の解説（知能系科目）
	66 模擬試験の解説（知識系科目）
	67 一部応用レベルの問題も含む模擬試験㉓
	68 模擬試験の解説（知能系科目）
	69 模擬試験の解説（知識系科目）
	70 一部応用レベルの問題も含む模擬試験㉔
	71 模擬試験の解説（知能系科目）
	72 模擬試験の解説（知識系科目）
	73 一部応用レベルの問題も含む模擬試験㉕
	74 模擬試験の解説（知能系科目）
	75 模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験形態方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を否め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	総合答案練習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する	
達成目標	基礎レベルから一部応用問題を含む模擬試験において全問題の7割以上の正解を目標とする	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	国家公務員タイプの模擬試験1
	2	地方公務員タイプの模擬試験1
	3	地方公務員タイプの模擬試験2
	4	地方公務員タイプの模擬試験2 解説・復習
	5	地方公務員タイプの模擬試験3
	6	地方公務員タイプの模擬試験3 解説・復習
	7	国家公務員タイプの模擬試験2
	8	国家公務員タイプの模擬試験2 解説・復習
	9	地方公務員タイプの模擬試験4
	10	地方公務員タイプの模擬試験4 解説・復習
	11	国家公務員タイプの模擬試験3
	12	国家公務員タイプの模擬試験3 解説・復習
	13	国家公務員タイプの模擬試験4
	14	国家公務員タイプの模擬試験4 解説・復習
	15	国家公務員タイプの模擬試験5
	16	国家公務員タイプの模擬試験5 解説・復習
	17	地方公務員タイプの模擬試験5
	18	地方公務員タイプの模擬試験5 解説・復習
	19	地方公務員タイプの模擬試験6
	20	地方公務員タイプの模擬試験6 解説・復習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	県庁等実務練習Ⅰ
実務者教員	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	演習
単位数	6単位
授業回数	9回
授業概要	模擬試験と解説を通じて、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点グラフを提示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに相当した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
	1 国家公務員タイプの模擬試験1
	2 模擬試験の解説（知能系科目）
	3 模擬試験の解説（知能系科目）
	4 国家公務員タイプの模擬試験2
	5 模擬試験の解説（知能系科目）
	6 模擬試験の解説（知能系科目）
	7 国家公務員タイプの模擬試験3
	8 模擬試験の解説（知能系科目）
	9 模擬試験の解説（知能系科目）
	10 国家公務員タイプの模擬試験4
	11 模擬試験の解説（知能系科目）
	12 模擬試験の解説（知能系科目）
	13 国家公務員タイプの模擬試験5
	14 模擬試験の解説（知能系科目）
	15 模擬試験の解説（知能系科目）
	16 国家公務員タイプの模擬試験6
	17 模擬試験の解説（知能系科目）
	18 模擬試験の解説（知能系科目）
	19 国家公務員タイプの模擬試験7
	20 模擬試験の解説（知能系科目）
	21 模擬試験の解説（知能系科目）
	22 国家公務員タイプの模擬試験8
	23 模擬試験の解説（知能系科目）
	24 模擬試験の解説（知能系科目）
	25 国家公務員タイプの模擬試験9
	26 模擬試験の解説（知能系科目）
	27 模擬試験の解説（知能系科目）
	28 国家公務員タイプの模擬試験10
	29 模擬試験の解説（知能系科目）
	30 模擬試験の解説（知能系科目）
	31 国家公務員タイプの模擬試験11
	32 模擬試験の解説（知能系科目）
	33 模擬試験の解説（知能系科目）
	34 国家公務員タイプの模擬試験12
	35 模擬試験の解説（知能系科目）
	36 模擬試験の解説（知能系科目）
	37 国家公務員タイプの模擬試験13
	38 模擬試験の解説（知能系科目）
	39 模擬試験の解説（知能系科目）
	40 地方公務員タイプの模擬試験1
	41 模擬試験の解説（知能系科目）
	42 模擬試験の解説（知能系科目）
	43 地方公務員タイプの模擬試験2
	44 模擬試験の解説（知能系科目）
	45 模擬試験の解説（知能系科目）
	46 地方公務員タイプの模擬試験3
	47 模擬試験の解説（知能系科目）
	48 模擬試験の解説（知能系科目）
	49 地方公務員タイプの模擬試験4
	50 模擬試験の解説（知能系科目）
	51 模擬試験の解説（知能系科目）
	52 地方公務員タイプの模擬試験5
	53 模擬試験の解説（知能系科目）
	54 模擬試験の解説（知能系科目）
	55 地方公務員タイプの模擬試験6
	56 模擬試験の解説（知能系科目）
	57 模擬試験の解説（知能系科目）
	58 地方公務員タイプの模擬試験7
	59 模擬試験の解説（知能系科目）
	60 模擬試験の解説（知能系科目）
	61 地方公務員タイプの模擬試験8
	62 模擬試験の解説（知能系科目）
	63 模擬試験の解説（知能系科目）
	64 地方公務員タイプの模擬試験9
	65 模擬試験の解説（知能系科目）
	66 模擬試験の解説（知能系科目）
	67 地方公務員タイプの模擬試験10
	68 模擬試験の解説（知能系科目）
	69 模擬試験の解説（知能系科目）
	70 地方公務員タイプの模擬試験11
	71 模擬試験の解説（知能系科目）
	72 模擬試験の解説（知能系科目）
	73 地方公務員タイプの模擬試験12
	74 模擬試験の解説（知能系科目）
	75 模擬試験の解説（知能系科目）
	76 地方公務員タイプの模擬試験13
	77 模擬試験の解説（知能系科目）
	78 模擬試験の解説（知能系科目）
	79 地方公務員タイプの模擬試験14
	80 模擬試験の解説（知能系科目）
	81 模擬試験の解説（知能系科目）
	82 地方公務員タイプの模擬試験15
	83 模擬試験の解説（知能系科目）
	84 模擬試験の解説（知能系科目）
	85 地方公務員タイプの模擬試験16
	86 模擬試験の解説（知能系科目）
	87 模擬試験の解説（知能系科目）
	88 地方公務員タイプの模擬試験17
	89 模擬試験の解説（知能系科目）
	90 模擬試験の解説（知能系科目）
成績評価方法 （試験方法）	講義内容や実務等を決定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	演習
単位数	4単位
授業回数	60回
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 地方公務員タイプの模擬試験1
	2 模擬試験の解説（知能系科目）
	3 模擬試験の解説（知識系科目）
	4 地方公務員タイプの模擬試験2
	5 模擬試験の解説（知能系科目）
	6 模擬試験の解説（知識系科目）
	7 地方公務員タイプの模擬試験3
	8 模擬試験の解説（知能系科目）
	9 模擬試験の解説（知識系科目）
	10 地方公務員タイプの模擬試験4
	11 模擬試験の解説（知能系科目）
	12 模擬試験の解説（知識系科目）
	13 地方公務員タイプの模擬試験5
	14 模擬試験の解説（知能系科目）
	15 模擬試験の解説（知識系科目）
	16 地方公務員タイプの模擬試験6
	17 模擬試験の解説（知能系科目）
	18 模擬試験の解説（知識系科目）
	19 地方公務員タイプの模擬試験7
	20 模擬試験の解説（知能系科目）
	21 模擬試験の解説（知識系科目）
	22 地方公務員タイプの模擬試験8
	23 模擬試験の解説（知能系科目）
	24 模擬試験の解説（知識系科目）
	25 地方公務員タイプの模擬試験9
	26 模擬試験の解説（知能系科目）
	27 模擬試験の解説（知識系科目）
	28 地方公務員タイプの模擬試験10
	29 模擬試験の解説（知能系科目）
	30 模擬試験の解説（知識系科目）
	31 地方公務員タイプの模擬試験11
	32 模擬試験の解説（知能系科目）
	33 模擬試験の解説（知識系科目）
	34 地方公務員タイプの模擬試験12
	35 模擬試験の解説（知能系科目）
	36 模擬試験の解説（知識系科目）
	37 地方公務員タイプの模擬試験13
	38 模擬試験の解説（知能系科目）
	39 模擬試験の解説（知識系科目）
	40 地方公務員タイプの模擬試験14
	41 模擬試験の解説（知能系科目）
	42 模擬試験の解説（知識系科目）
	43 地方公務員タイプの模擬試験15
	44 模擬試験の解説（知能系科目）
	45 模擬試験の解説（知識系科目）
	46 地方公務員タイプの模擬試験16
	47 模擬試験の解説（知能系科目）
	48 模擬試験の解説（知識系科目）
	49 地方公務員タイプの模擬試験17
	50 模擬試験の解説（知能系科目）
	51 模擬試験の解説（知識系科目）
	52 地方公務員タイプの模擬試験18
	53 模擬試験の解説（知能系科目）
	54 模擬試験の解説（知識系科目）
	55 地方公務員タイプの模擬試験19
	56 模擬試験の解説（知能系科目）
	57 模擬試験の解説（知識系科目）
	58 地方公務員タイプの模擬試験20
	59 模擬試験の解説（知能系科目）
	60 模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	上級答案練習 I 専門科目	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、専門科目の知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	専門模擬試験 1
	2	専門模擬試験 2
	3	専門模擬試験 3
	4	専門模擬試験 4
	5	専門模擬試験 5
	6	専門模擬試験 6
	7	専門模擬試験 7
	8	専門模擬試験 8
	9	専門模擬試験 9
	10	専門模擬試験 10
	11	専門模擬試験 11
	12	専門模擬試験 12
	13	専門模擬試験 13
	14	専門模擬試験 14
	15	専門模擬試験 15
	16	専門模擬試験 16
	17	専門模擬試験 17
	18	専門模擬試験 18
	19	専門模擬試験 19
	20	専門模擬試験 20
	21	専門模擬試験 21
	22	専門模擬試験 22
	23	専門模擬試験 23
	24	専門模擬試験 24
	25	専門模擬試験 25
	26	専門模擬試験 26
	27	専門模擬試験 27
	28	専門模擬試験 28
	29	専門模擬試験 29
	30	専門模擬試験 30
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	上級答案練習Ⅱ 専門科目	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、専門科目の知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	専門模擬試験 1
	2	専門模擬試験 2
	3	専門模擬試験 3
	4	専門模擬試験 4
	5	専門模擬試験 5
	6	専門模擬試験 6
	7	専門模擬試験 7
	8	専門模擬試験 8
	9	専門模擬試験 9
	10	専門模擬試験 10
	11	専門模擬試験 11
	12	専門模擬試験 12
	13	専門模擬試験 13
	14	専門模擬試験 14
	15	専門模擬試験 15
	16	専門模擬試験 16
	17	専門模擬試験 17
	18	専門模擬試験 18
	19	専門模擬試験 19
	20	専門模擬試験 20
	21	専門模擬試験 21
	22	専門模擬試験 22
	23	専門模擬試験 23
	24	専門模擬試験 24
	25	専門模擬試験 25
	26	専門模擬試験 26
	27	専門模擬試験 27
	28	専門模擬試験 28
	29	専門模擬試験 29
	30	専門模擬試験 30
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	上級答案練習Ⅲ 教養科目	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科目の知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	教養模擬試験 1
	2	教養模擬試験 2
	3	教養模擬試験 3
	4	教養模擬試験 4
	5	教養模擬試験 5
	6	教養模擬試験 6
	7	教養模擬試験 7
	8	教養模擬試験 8
	9	教養模擬試験 9
	10	教養模擬試験 1 0
	11	教養模擬試験 1 1
	12	教養模擬試験 1 2
	13	教養模擬試験 1 3
	14	教養模擬試験 1 4
	15	教養模擬試験 1 5
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	上級答案練習Ⅳ 教養科目	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科目の知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	教養模擬試験 1
	2	教養模擬試験 2
	3	教養模擬試験 3
	4	教養模擬試験 4
	5	教養模擬試験 5
	6	教養模擬試験 6
	7	教養模擬試験 7
	8	教養模擬試験 8
	9	教養模擬試験 9
	10	教養模擬試験 10
	11	教養模擬試験 11
	12	教養模擬試験 12
	13	教養模擬試験 13
	14	教養模擬試験 14
	15	教養模擬試験 15
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	上級答案練習Ⅴ 公安職対策	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科目の知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる	
教科書	公安系模擬試験	
特記		
授業計画	1	公安系模擬試験 1
	2	公安系模擬試験 2
	3	公安系模擬試験 3
	4	公安系模擬試験 4
	5	公安系模擬試験 5
	6	公安系模擬試験 6
	7	公安系模擬試験 7
	8	公安系模擬試験 8
	9	公安系模擬試験 9
	10	公安系模擬試験 10
	11	公安系模擬試験 11
	12	公安系模擬試験 12
	13	公安系模擬試験 13
	14	公安系模擬試験 14
	15	公安系模擬試験 15
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員時事研究	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する	
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる	
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身につける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	情報収集と考察 テーマ1
	2	情報収集と考察 テーマ2
	3	情報収集と考察 テーマ3
	4	情報収集と考察 テーマ4
	5	情報収集と考察 テーマ5
	6	情報収集と考察 テーマ6
	7	情報収集と考察 テーマ7
	8	情報収集と考察 テーマ8
	9	情報収集と考察 テーマ9
	10	情報収集と考察 テーマ10
	11	情報収集と考察 テーマ11
	12	情報収集と考察 テーマ12
	13	情報収集と考察 テーマ13
	14	情報収集と考察 テーマ14
	15	情報収集と考察 テーマ15
	16	情報収集と考察 テーマ16
	17	情報収集と考察 テーマ17
	18	情報収集と考察 テーマ18
	19	情報収集と考察 テーマ19
	20	情報収集と考察 テーマ20
	21	情報収集と考察 テーマ21
	22	情報収集と考察 テーマ22
	23	情報収集と考察 テーマ23
	24	情報収集と考察 テーマ24
	25	情報収集と考察 テーマ25
	26	情報収集と考察 テーマ26
	27	情報収集と考察 テーマ27
	28	情報収集と考察 テーマ28
	29	情報収集と考察 テーマ29
	30	情報収集と考察 テーマ30
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員キャリアデザイン 公務員春試験	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	公務員春試験の二次試験を踏まえた実践的な面接の練習	
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で個人面接を実施・見学、修正を行い反復する	
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	受験職種研究 1（職種①）
	2	受験職種研究 2（職種①）
	3	受験職種研究 3（職種①）
	4	模擬個人面接 1（職種①）
	5	模擬個人面接 2（職種①）
	6	模擬個人面接 3（職種①）
	7	受験職種研究 4（職種②）
	8	受験職種研究 5（職種②）
	9	受験職種研究 6（職種②）
	10	模擬個人面接 4（職種②）
	11	模擬個人面接 5（職種②）
	12	模擬個人面接 6（職種②）
	13	受験職種研究 7（職種③）
	14	模擬個人面接 7（職種③）
	15	模擬個人面接 8（職種③）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員キャリアデザイン 公務員秋試験	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	公務員春試験の二次試験を踏まえた実践的な面接の練習	
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で個人面接を実施・見学、修正を行い反復する	
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	受験職種研究1（職種①）
	2	受験職種研究2（職種①）
	3	受験職種研究3（職種①）
	4	模擬個人面接1（職種①）
	5	模擬個人面接2（職種①）
	6	模擬個人面接3（職種①）
	7	受験職種研究4（職種②）
	8	受験職種研究5（職種②）
	9	受験職種研究6（職種②）
	10	模擬個人面接4（職種②）
	11	模擬個人面接5（職種②）
	12	模擬個人面接6（職種②）
	13	受験職種研究7（職種③）
	14	受験職種研究8（職種③）
	15	受験職種研究9（職種③）
	16	模擬個人面接7（職種③）
	17	模擬個人面接8（職種③）
	18	模擬個人面接9（職種③）
	19	受験職種研究10（職種④）
	20	受験職種研究11（職種④）
	21	受験職種研究12（職種④）
	22	模擬個人面接10（職種④）
	23	模擬個人面接11（職種④）
	24	模擬個人面接12（職種④）
	25	受験職種研究13（職種⑤）
	26	受験職種研究14（職種⑤）
	27	受験職種研究15（職種⑤）
	28	模擬個人面接13（職種⑤）
	29	模擬個人面接14（職種⑤）
	30	模擬個人面接15（職種⑤）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員専門論作文対策	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	専門論文・論作文対策について学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	専門・教養の論作文対策から公務に必要な基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	専門論文・論作文演習と解説①
	2	専門論文・論作文演習と解説②
	3	専門論文・論作文演習と解説③
	4	専門論文・論作文演習と解説④
	5	専門論文・論作文演習と解説⑤
	6	専門論文・論作文演習と解説⑥
	7	専門論文・論作文演習と解説⑦
	8	専門論文・論作文演習と解説⑧
	9	専門論文・論作文演習と解説⑨
	10	専門論文・論作文演習と解説⑩
	11	専門論文・論作文演習と解説⑪
	12	専門論文・論作文演習と解説⑫
	13	専門論文・論作文演習と解説⑬
	14	専門論文・論作文演習と解説⑭
	15	専門論文・論作文演習と解説⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員就職試験数理分野対策Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	解法を理解し演習を繰り返すことで、早く正確に答えを導き出せるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	数理対策応用演習 1
	2	数理対策応用演習 2
	3	数理対策応用演習 3
	4	数理対策応用演習 4
	5	数理対策応用演習 5
	6	数理対策応用演習 6
	7	数理対策応用演習 7
	8	数理対策応用演習 8
	9	数理対策応用演習 9
	10	数理対策応用演習 10
	11	数理対策応用演習 11
	12	数理対策応用演習 12
	13	数理対策応用演習 13
	14	数理対策応用演習 14
	15	数理対策応用演習 15
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅱ	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択E	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	警察署から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	実務経験者（警察官）による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者（警察官）による講義を基にした演習	
授業計画	1	警察官の仕事内容
	2	警察官の組織
	3	警察学校の生活
	4	警察官に求められる資質
	5	研究レポートの作成1
	6	研究レポートの作成2
	7	研究レポートの作成3
	8	研究レポートの作成4
	9	研究レポートの作成5
	10	レポートの検証
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅲ	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択E	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	官公庁(国家省庁等)から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う。	
授業の進め方	実務経験者（国家省庁等）による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者（国家省庁）による講義を基にした演習	
授業計画	1	官庁訪問の仕組み
	2	省庁の仕事内容
	3	官公庁講義 1
	4	官公庁講義 2
	5	官公庁講義 3
	6	研究レポートの作成 1
	7	研究レポートの作成 2
	8	研究レポートの作成 3
	9	研究レポートの作成 4
	10	レポートの検証
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法律研究	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択E	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	法律に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ	
授業の進め方	講義で与えられた課題について研究し、研究レポートを作成する	
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記	トゥモロー法律事務所松本知朗弁護士による弁護士としての実践的知識を基にした講義と実習	
授業計画	1	法律概論
	2	民法①（講義）
	3	民法課題研究
	4	民法②（講義）
	5	民法課題研究
	6	憲法①（講義）
	7	憲法②（講義）
	8	憲法課題研究
	9	行政法①（講義）
	10	行政法②（講義）
	11	行政法課題研究
	12	刑法①（講義）
	13	刑法課題研究
	14	刑法②（講義）
	15	刑法課題研究
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政研究	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択E	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究・発表を通じて防災への理解を深める	
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	災害の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記	防衛省職員による防災に関する実務経験を基にした講義と実習	
授業計画	1	災害対策の枠組み（講義）
	2	災害対策の実例（講義）
	3	課題研究 1
	4	課題研究 2
	5	課題研究 3
	6	課題研究 4
	7	課題研究 5
	8	課題研究 6
	9	研究発表シナリオ作成 1
	10	研究発表シナリオ作成 2
	11	研究発表準備 1
	12	研究発表準備 2
	13	研究発表プレゼンテーション
	14	研究発表プレゼンテーション
	15	プレゼンテーションのフィードバック講義
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数的 I 数的推理	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修F	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	25回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	題意を理解し解答することで、論理的思考力と数的処理力を養う	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	方程式（方程式、不定方程式）
	2	方程式（不等式、過不足算）
	3	整数・計算パズル（約数と倍数）
	4	整数・計算パズル（割り算の余り、整数の性質）
	5	整数・計算パズル（数列、n進法）
	6	整数・計算パズル（その他、整数に関する問題）
	7	科目試験第1回
	8	割合と比（割合、比）
	9	割合と比（比）
	10	割合と比（売買算）
	11	割合と比（濃度）
	12	割合と比（濃度）
	13	速さ（速さ）
	14	速さ（旅人算）
	15	速さ（旅人算、通過算）
	16	速さ（流水算、時計算）
	17	科目試験第2回
	18	その他文章題（仕事算、給排水算）
	19	その他文章題（仕事算、給排水算、ニュートン算）
	20	その他文章題（年齢算）
	21	その他文章題（平均算）
	22	場合の数（場合の数）
	23	場合の数（順列、重複組合せ、円順列）、確率（事象と確率）
	24	確率（赤玉白玉・くじ引き、サイコロ・コイン、じゃんけん・期待値）
	25	科目試験第3回
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数的Ⅱ 判断推理	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修F	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	論理（対偶と三段論法）
	2	論理（ド・モルガンの法則、論理と集合）
	3	集合の要素（ベン図）
	4	集合の要素（キャロル表、交わりの最小値）、順序（順序の確定）
	5	順序（順序の変動）
	6	順序（順序の数値条件）
	7	順序（時計のずれ）、方位・位置（位置・座席表）
	8	方位・位置（位置・座席表、円卓・議長席・道をへだてて）
	9	科目試験1回目、方位・位置（円卓・議長席・道をへだてて）
	10	方位・位置（方位・作図）、対応（対応関係）
	11	対応（対応関係、スケジュール表）
	12	対応（スケジュール表、対応の数値条件、やりとり）
	13	勝敗（リーグ戦、トーナメント戦）
	14	うそつき
	15	暗号
	16	推理・手順（他人の判断から判断する1）、資料解釈（実数）
	17	推理・手順（他人の判断から判断する2、カードゲーム）、資料解釈（割合、指数、前年比）
	18	推理・手順（石取りゲーム、てんびん）、資料解釈（割合、指数、前年比）
	19	推理・手順（手順）、資料解釈（増加率）
	20	資料解釈（いろいろな資料）、科目試験2回目
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数的Ⅲ 空間把握	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択必修F	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	図形（平面・立体ともに）から物体の形状を正しく読み解く力を養う	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	回転と軌跡（直線図形の回転と軌跡、円弧を含む図形の回転と軌跡）
	2	道順・一筆書き・位相（道順、一筆書き・位相）、平面構成（折り紙）
	3	平面構成（図形中の図形の数、平面図形の分割、平面図形の合成）
	4	正多面体・展開図（正多面体、展開図）
	5	立体構成（サイコロ）
	6	立体構成（積木の問題、投影図）
	7	科目試験1回目
	8	立体構成（立体の切断、回転体）
	9	平面図形の計量（角度）
	10	平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理）
	11	平面図形の計量（相似比）
	12	平面図形の計量（面積比）
	13	平面図形の計量（面積比）
	14	科目試験2回目
	15	平面図形の計量（円）
	16	平面図形の計量（円、扇形と移動図形）
	17	立体図形の計量
	18	立体図形の計量
	19	立体図形の計量
	20	科目試験3回目
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学 I 生物	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択必修F	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	生体から自然環境まで、幅広い生物分野を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	生体における知識を身に着ける。自然環境や生態系への理解を深める	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	生体の構造 1
	2	生体の構造 2
	3	生体内の代謝 1
	4	生体内の代謝 2
	5	生殖と発生
	6	遺伝と変異
	7	刺激の受容と反応
	8	内部環境の恒常性と調節
	9	からだの防衛反応
	10	生物の集団・生物の進化と系統
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎言語Ⅰ 文理・国語	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修F	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	文法などの国語分野の基礎的な知識と文章読解力の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会人として求められる基礎的な読解力と国語力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	要旨把握1、文法1、四字熟語1、ことわざ1、文学史1
	2	要旨把握2、文法2、四字熟語2、ことわざ2、文学史2
	3	内容合致1、文法3、四字熟語3、ことわざ3、文学史3
	4	内容合致2、文法4、四字熟語4、ことわざ4、文学史4
	5	文章整序1、文法5、四字熟語5、ことわざ5、文学史5
	6	空欄補充2、文法6、四字熟語6、ことわざ6、文学史6
	7	空欄補充1、文法7、四字熟語7、ことわざ7、文学史7
	8	空欄補充2、文法8、四字熟語8、ことわざ8、文学史8
	9	文章理解・国語演習
	10	文章理解・国語演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員時事対策	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修F－1	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	自然科学から国際問題まで幅広いジャンルの社会時事を学ぶ	
授業の進め方	1項目15分程度で、重要ワードを軸にその内容を解説し、問題演習を行う	
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	時事（政治分野1）
	2	時事（政治分野2）
	3	時事（政治分野3）
	4	時事（経済分野1）
	5	時事（経済分野2）
	6	時事（文化1）
	7	時事（文化2）
	8	時事（文化3）
	9	時事（科学1）
	10	時事（科学2）
	11	時事（科学3）
	12	時事（科学4）
	13	時事（科学5）
	14	時事（国際問題1）
	15	時事（国際問題2）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	専門科目総合演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士本科（1年制昼間部）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	演習
単位数	4単位
授業回数	60回
授業概要	専門科目全般の問題演習による総合力の強化
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	専門試験で合格点を上回る知識の定着
教科書	科目別答案練習、オリジナルテキスト、実戦問題集
特記	
授業計画	1 専門科目総合演習 1
	2 専門科目総合演習 2
	3 専門科目総合演習 3
	4 専門科目総合演習 4
	5 専門科目総合演習 5
	6 専門科目総合演習 6
	7 専門科目総合演習 7
	8 専門科目総合演習 8
	9 専門科目総合演習 9
	10 専門科目総合演習 10
	11 専門科目総合演習 11
	12 専門科目総合演習 12
	13 専門科目総合演習 13
	14 専門科目総合演習 14
	15 専門科目総合演習 15
	16 専門科目総合演習 16
	17 専門科目総合演習 17
	18 専門科目総合演習 18
	19 専門科目総合演習 19
	20 専門科目総合演習 20
	21 専門科目総合演習 21
	22 専門科目総合演習 22
	23 専門科目総合演習 23
	24 専門科目総合演習 24
	25 専門科目総合演習 25
	26 専門科目総合演習 26
	27 専門科目総合演習 27
	28 専門科目総合演習 28
	29 専門科目総合演習 29
	30 専門科目総合演習 30
	31 専門科目総合演習 31
	32 専門科目総合演習 32
	33 専門科目総合演習 33
	34 専門科目総合演習 34
	35 専門科目総合演習 35
	36 専門科目総合演習 36
	37 専門科目総合演習 37
	38 専門科目総合演習 38
	39 専門科目総合演習 39
	40 専門科目総合演習 40
	41 専門科目総合演習 41
	42 専門科目総合演習 42
	43 専門科目総合演習 43
	44 専門科目総合演習 44
	45 専門科目総合演習 45
	46 専門科目総合演習 46
	47 専門科目総合演習 47
	48 専門科目総合演習 48
	49 専門科目総合演習 49
	50 専門科目総合演習 50
	51 専門科目総合演習 51
	52 専門科目総合演習 52
	53 専門科目総合演習 53
	54 専門科目総合演習 54
	55 専門科目総合演習 55
	56 専門科目総合演習 56
	57 専門科目総合演習 57
	58 専門科目総合演習 58
	59 専門科目総合演習 59
	60 専門科目総合演習 60
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	